

大館市都市再興基本計画

大館市都市計画マスタープラン
大館市立地適正化計画

資料編

2019 (平成31) 年3月
秋田県大館市

目次

【資料編】第1章	上位・関連計画の整理	3
■ 1-1	上位・関連計画	4
■ 1-2	公共交通に関する計画	22
【資料編】第2章	協議会・庁内検討委員会資料	23
■ 2-1	都市再興協議会・都市再興基本計画庁内検討委員会の協議事項	24
■ 2-2	大館市都市再興協議会委員名簿	25
【資料編】第3章	市民アンケート調査結果	27
■ 3-1	アンケートの回収状況	28
■ 3-2	一般市民アンケート	28
■ 3-3	高校生アンケート	44
■ 3-4	アンケート調査票	54
【資料編】第4章	市民ワークショップ開催結果	73
■ 4-1	第1回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」	75
■ 4-2	第2回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」	98
■ 4-3	第3回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」	117
■ 4-4	第4回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」	128
■ 4-5	第5回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」	135
【資料編】第5章	目標指標及び効果指標の設定根拠	143
■ 5-1	方針1 まちの賑わいと交流を促進する拠点づくり	144
■ 5-2	方針2 多世代が活躍できる場づくり	146
■ 5-3	方針3 安心して住み続けられる環境づくり	148

【資料編】

第1章

上位・関連計画の整理

第1章

上位・関連計画の整理

1-1 上位・関連計画

計 画 名	第2次新大館市総合計画
計 画 期 間	2016（平成28）年度～2023年度
位 置 づ け	総合計画は、市政の最上位計画に位置付けられ、本市の将来像や基本的な行政の取り組みを定める8年間の長期計画であり、市民と行政が互いに協力し、工夫しながら進めるまちづくりの指針となるものです。
計 画 の 体 系	<p><将来像></p> <p>匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく「未来創造都市」</p> <p><まちづくりの基本的な考え方（基本理念）></p> <p>大館の未来を紡ぐものがたりづくり</p> <p><都市像・行財政運営の指針（基本目標）></p> <ol style="list-style-type: none">1. まちや暮らしのなかで市民が活躍し、次代を育む“教育文化都市”2. 健康で、互いのつながりを大切に支え合う“健康福祉都市”3. 地域の特性を活かし、暮らしを支える活力を興す“産業創造都市”4. 暮らしやまちのなかに賑わいと交流を生む“多文化交流都市”5. 豊かな自然とともに快適に暮らせる“環境共生都市”6. 持続可能なまちづくりを支える“行財政運営”
重 点 プ ロ ジ ェ ク ト	<ol style="list-style-type: none">1：「ひと」づくり<ol style="list-style-type: none">①特色ある教育・文化の推進②地域全体で子育てを応援する仕組みづくり③安心できる子育て支援の推進2：「くらし」づくり<ol style="list-style-type: none">①互いのつながりを大切にする健康福祉の推進②協働によるまちづくり・快適な住環境の推進3：「もの」づくり<ol style="list-style-type: none">①暮らしを支える農林業の振興②雇用対策と新たな産業の育成4：「物語」づくり<ol style="list-style-type: none">①賑わいと交流を生む観光・物産の振興②恵まれた環境を活かしたAターン・定住促進

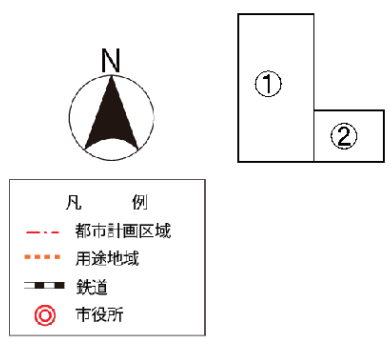
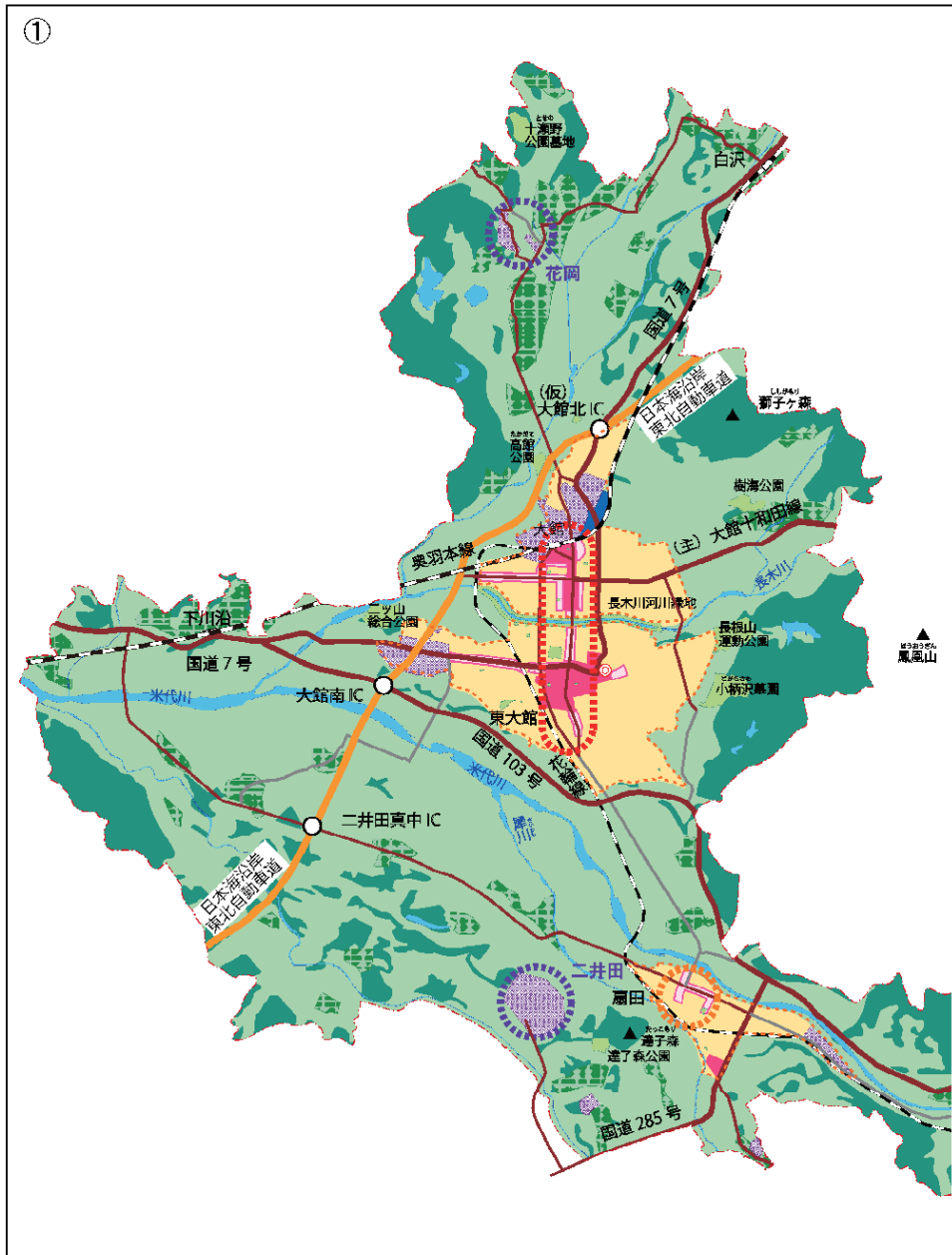
計 画 名	大館市総合戦略
計 画 期 間	2015（平成27）年～2019（平成31）年
計画の体系	<p><基本的視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ①「東京圏等への人口流出に歯止めをかける」 ②「東京圏等から大館への流れをつくる」 ③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 ④「時代に合った地域をつくり、くらしの安全を守る」 <p><基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ①健やかに次代を育む施策の推進（ひとづくり） ②支援連携と新たな地域社会の形成（暮らしづくり） ③地域の特性を活かした産業振興（ものづくり） ④交流人口の拡大とAターン・定住促進（物語づくり）
重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 1 安心できる子育て支援の推進 2 特色ある教育・文化の推進 3 互いのつながりを大切にする健康福祉の推進 4 協働によるまちづくり・快適な住環境の推進 5 暮らしを支える農林業の振興 6 雇用対策と新たな産業の育成 7 賑わいと交流を生む観光・物産の振興 8 恵まれた環境を活かしたAターン・定住促進
基本目標	<ul style="list-style-type: none"> 1 健やかに次代を育む施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 安心できる子育て支援の推進 ② 希望を持てる結婚支援の機能強化 ③ 特色ある教育・文化の推進 2 支援連携と新たな地域社会の形成 <ul style="list-style-type: none"> ① 互いのつながりを大切にする健康福祉の推進 ② 協働によるまちづくり・快適な住環境の推進 3 地域の特性を活かした産業振興 <ul style="list-style-type: none"> ① 暮らしを支える農林業の振興 ② 地域の資源・技術を活かした商工業の振興 ③ 雇用対策と新たな産業の育成 4 交流人口の拡大とAターン・定住促進 <ul style="list-style-type: none"> ① 賑わいと交流を生む観光・物産の振興 ② 恵まれた環境を活かしたAターン・定住促進 ③ 地域間交流の推進

計 画 名	大館市人口ビジョン																												
対 象 期 間	2060 年																												
<p>目指すべき 将来の方向性</p>	<p>(1) 自然減の抑制 若者の出会い・結婚に関する支援から、妊娠や出産時期を経て、子育て支援まで切れ目のない施策の充実を図るとともに、特に多子世帯への支援に着眼しながら、官民一体となった少子化対策を強化する必要があります。</p> <p>(2) 社会減の抑制 本市の人口減少の主な要因となっている進学や就職による若者の市外流出に歯止めをかけるためには、市内での雇用の確保が重要となります。そのためには、成長産業や本市の強みである農林業や製造業、交流人口の拡大を図る観光関連産業などの振興を支援することにより、雇用の受け皿づくりを進めるとともに、新規学卒者の市内就職率の向上や市外に就職した若者のUターンを促進する必要があります。</p> <p>(3) 持続可能な地域づくり 本市の高齢化率は、2040年には40%近くに到達すると予測されるため、既に高齢化が進む農業・林業など、主要産業の担い手がより一層高齢化することで、産業基盤の存続が難しくなる事態も懸念されます。 このため上述のように、人口の転入増加を図りつつ、新規産業だけでなく、現在の主要産業における人口構造の若返りを図る施策等が、持続可能な地域づくりに必要となると考えられます。</p>																												
<p>目指すべき 将来人口</p>	<p>2060年：45,498人</p> <table border="1"> <caption>人口推計データ (推定)</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>推計2:総人口</th> <th>パターン2 (民間機関推計準拠):総人口</th> <th>パターン1 (社人研推計準拠):総人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年 (2010年)</td> <td>78,000</td> <td>78,000</td> <td>78,000</td> </tr> <tr> <td>平成32年 (2020年)</td> <td>72,000</td> <td>72,000</td> <td>72,000</td> </tr> <tr> <td>平成42年 (2030年)</td> <td>66,000</td> <td>66,000</td> <td>66,000</td> </tr> <tr> <td>平成52年 (2040年)</td> <td>60,000</td> <td>56,043</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>平成62年 (2050年)</td> <td>54,000</td> <td>-</td> <td>54,000</td> </tr> <tr> <td>平成72年 (2060年)</td> <td>45,498</td> <td>-</td> <td>35,237</td> </tr> </tbody> </table> <p>差 10,261人</p>	年次	推計2:総人口	パターン2 (民間機関推計準拠):総人口	パターン1 (社人研推計準拠):総人口	平成22年 (2010年)	78,000	78,000	78,000	平成32年 (2020年)	72,000	72,000	72,000	平成42年 (2030年)	66,000	66,000	66,000	平成52年 (2040年)	60,000	56,043	60,000	平成62年 (2050年)	54,000	-	54,000	平成72年 (2060年)	45,498	-	35,237
年次	推計2:総人口	パターン2 (民間機関推計準拠):総人口	パターン1 (社人研推計準拠):総人口																										
平成22年 (2010年)	78,000	78,000	78,000																										
平成32年 (2020年)	72,000	72,000	72,000																										
平成42年 (2030年)	66,000	66,000	66,000																										
平成52年 (2040年)	60,000	56,043	60,000																										
平成62年 (2050年)	54,000	-	54,000																										
平成72年 (2060年)	45,498	-	35,237																										

計 画 名	大館市都市計画マスタープラン 2007（平成19）年策定
計 画 期 間	2007（平成19）年～2025年
理念と方針	<p><基本理念> 人・まち・自然が調和するまち育て 環境共生都市“おおだて”</p> <p><まちづくりの基本方針></p> <p>①人と人の力がまちを育てていく ②自然がまちをより魅力的に育てていく ③人と自然がともに育っていく</p>
まちづくり の 方 針	<p><まちづくりの方針></p> <p>○風土を活かす方針：人と風土がまちをより魅力的に育てる 古くから豊かな自然の恵みが産業や人を育て、まちを演出してきました。この風土を活かしたまちを目指します。</p> <p>（1）風土を活かすまちづくりの方針 （2）風土を活かす産業振興の方針 （3）人育ての方針</p> <p>○土地利用の方針：田園や山々を背景としたまち 人々は田園と山々を背景としたまちの中で暮らしてきました。この古くから続いたまち・田園・山々の重なりを守っていきます。</p> <p>（1）土地利用の基本的な考え方 （2）都市的土地利用 （3）自然的土地利用</p> <p>○都市構造づくりの方針：人と人を結ぶまち 街道や米代川を人々が行き交い、まちが形成されました。この昔からの都市基盤を活かした地域とともに考えるまちを目指します。</p> <p>（1）交通施設整備の方針 （2）市街地・集落地整備の方針</p> <p>○都市環境整備の方針：人と自然がともに育つまち 大館市には歴史に育まれた自然があります。これらの自然と共生したともに魅力的に育つことのできるまちを目指します。</p> <p>（1）水と緑の保全・創出の方針 （2）住環境整備の方針 （3）防災まちづくりの方針</p>

計 画 名	大館都市計画区域マスタープラン
目 標 年 次	2030 年 区域区分に関する事項：2020 年
大 館 広 域 都 市 圏	<p><大館広域都市圏の将来像> 文化、産業を育み、自然環境と共生する 県北部中心域の広域交流都市圏</p> <p><大館広域都市圏の目標> ア) 米代川流域の東西地域をつなぐ交流拠点の形成 イ) 快適に暮らせる都市環境の形成 ウ) 産業活動や広域観光の発展を促す交通ネットワークの形成 エ) 自然とふれあう観光・レクリエーションゾーンの形成 オ) 循環型地域社会を実現するエコタウンづくり</p>
都 市 計 画 区 域	<p><都市計画区域の将来像> 伝統ある産業と文化で飛躍する 人にやさしい都市「おおだて」</p> <p><都市計画区域の目標と市街地像></p> <p>①コンパクトな都市づくり ア) 効率的な市街地の形成 イ) 地域を牽引する産業拠点の形成 ウ) まとまりある地域拠点の形成</p> <p>②交通ネットワークが充実した都市づくり ア) 産業と交流を支える広域交通ネットワークの形成 イ) 住民の都市生活を支える交通ネットワークの形成</p> <p>③人が主役の都市づくり ア) 人にやさしい居住環境の形成 イ) 安全・安心な生活環境の確保</p> <p>④自然と文化を大切にする都市づくり ア) 市街地と調和した交流空間の形成 イ) 集落環境・田園景観の維持・保全 ウ) 地域を見まもる山々の維持・保全</p> <p><社会的課題に対する都市計画としての取り組みの方針></p> <p>①少子高齢化に対応した都市づくりの推進 ②地域の魅力や個性を高める都市づくりの推進 ③災害に強い都市づくりの推進 ④多様な主体の連携による都市づくりの推進</p>

<目標とする市街地像>



計 画 名	大館市国土強靱化地域計画
計 画 期 間	2019（平成31）年度～2023年度
基本目標	<p>いかなる事態が発生しても、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人命の保護が最大限図られる ②地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される ③市民の財産及び公共施設に係る被害が最小化される ④迅速に復旧復興がなされる <p>とともに、本計画の推進を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域の活性化や地域コミュニティの機能強化等に資する
基本的な方針	<p>(1) 大館市国土強靱化の取り組み姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ①従来の狭い意味での「防災」の範囲を超えて、本市の強靱化を損なう本質的原因として何が存在しているのかをあらゆる側面から分析し、取り組みにあたる。 ②短期的な視点によらず、時間的管理概念を持ちつつ、長期的な視野をもって取り組みにあたる。 ③大局的・システム的な視点、限られた財源の最適化の視点を持ち、適正な制度、規制の在り方を見据えながら取り組みにあたる。 ④秋田県強靱化への貢献、連携を念頭に置きながら取り組みにあたる。 <p>(2) 適切な施策の組み合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害リスクや地域の状況等に応じて、防災施設の整備、施設の耐震化、代替施設の確保等のハード対策と訓練・防災教育等のソフト対策を適切に組み合わせる。 ②「自助」、「共助」、「公助」の適切な組み合わせ、行政と民間の適切な連携と役割分担を考慮する。 ③非常時に防災・減災等の効果を発揮するのみならず、平時にも有効に活用される対策となるよう工夫する。 <p>(3) 効率的な施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政に対する市民ニーズの変化、社会資本の老朽化等を踏まえるとともに、本市の財政状況や施策の継続性に配慮して、施策の重点化を図る。 ②既存の社会資本を有効活用すること等により、費用を縮減しつつ効率的に施策を推進する。 ③施設等の効率的かつ効果的な維持管理に資する。 ④人命最優先の観点から、関係者の合意形成を図りつつ、土地の合理的利用を促進する。 <p>(4) 地域の特性に応じた施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の活性化や地域コミュニティの機能強化に関する視点を持つとともに、各地域において強靱化を推進する担い手が適切に活動できる環境整備に努める。

	<p>②女性、高齢者、子ども、障害者、外国人等に十分配慮して施策を講じる。</p> <p>③地域の特性に応じて、自然との共生、環境との調和及び景観の維持に配慮する。</p> <p>④函館・弘前と北東北の観光及び経済圏を結び付けるため、本市はそれぞれの経済圏等を「つなぐ」役割が求められている。そのためには、国や県等と連携し、災害時の広域拠点として秋田自動車道釈迦内パーキングエリアの具体的活用を講じるなど、広域交通のネットワーク強化と機能向上を図り、広い視点を持って北東北の「陸援隊」を目指す施策を推進する。</p>
--	--

計 画 名	大館市山村振興計画
作 成 年 度	2015（平成 27）年度
計画の体系	<p><振興の基本方針></p> <p>○本地区の特性を活かした地域活性化の方針及び森林、農用地等の保全の方針</p> <p>本地区の振興については、特色ある農林水産物等の地域資源を活用した地域内発型の産業振興と、地域の個性を活かした都市との交流や観光の振興による地域産品の高付加価値化と魅力ある地域づくりを重点目標とする。併せて、若者から高齢者までいきいき暮らすことのできる生活環境づくりを推進し、山村における定住の促進と健全な農林業の維持・発展を通じた農林地の保全を図る。</p> <p>○山村振興の目標を達成するための主な方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通網の整備、産業基盤の整備 ・地域特性を活かした産業振興、都市との交流促進 ・教育環境の整備、高齢者福祉の確保、社会・生活環境の整備
振興施策	<p>(1) 交通施策</p> <p>(2) 産業基盤施策</p> <p>(3) 経営近代化施策</p> <p>(4) 地域資源の活用に係る施策</p> <p>(5) 文教施策</p> <p>(6) 社会、生活環境施策</p> <p>(7) 高齢者福祉施策</p> <p>(8) 集落整備施策</p> <p>(9) 交流施策</p>

計 画 名	大館市定住自立圏共生ビジョン
計 画 期 間	2015（平成27）年度～2019（平成31）年度
計画の体系	<p><将来像></p> <p>地域の多彩な魅力で未来を創るまち“おおだて”</p> <p><具体的な取り組み></p> <p>（1）生活機能強化に係る政策分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域医療サービス体制の整備充実 イ 地域医療機能の高度化 ウ 救急医療体制の充実 ○福祉 <ul style="list-style-type: none"> ア 高齢者・障害者の生活環境づくりの推進 イ 子育て支援体制の強化 ○教育 <ul style="list-style-type: none"> ア 教育環境の充実 ○土地利用 <ul style="list-style-type: none"> ア 中心市街地への新たな賑わい拠点づくり ○産業振興 <ul style="list-style-type: none"> ア 農業生産基盤の整備充実 イ 林業生産基盤の整備充実 ウ 木質バイオマスの利活用による新たな産業の創出 エ 企業誘致及び地元企業支援による雇用の場の確保 オ 曲げわっぱ、比内地鶏等地場産品の流通拡大支援 カ 曲げわっぱを核とした交流拠点の整備 <p>（2）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域公共交通ネットワークの構築 ○情報格差の解消 <ul style="list-style-type: none"> ア 高度情報通信ネットワーク整備等による各種情報提供システムの整備 ○交通インフラの整備 <ul style="list-style-type: none"> ア 圏域内外を結ぶ道路ネットワークの整備充実 ○地産地消 <ul style="list-style-type: none"> ア 関係機関連携による学校給食等への地元食材導入の拡大 ○圏域内外の住民との交流・定住促進 <ul style="list-style-type: none"> ア グリーン・ツーリズム事業への支援等による定住対策事業の推進 イ 観光振興による圏域内外の交流の推進 <p>（3）圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域づくりに資する人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ア まちづくりのリーダー養成支援

計 画 名	大館市公共施設等総合管理計画
計 画 期 間	2017（平成29）年度～2031年度
位 置 づ け	本計画は、「第2次新大館市総合計画」を上位計画とし、「第6次大館市行財政改革大綱」と連動して、公共施設等の管理に関する基本方針を定めます。個別施設計画は、本計画の基本方針に沿って策定します。
計画の体系	<p><公共施設等の管理に関する基本方針></p> <p>①施設の複合化、統合、廃止による「施設保有量の適正化」と「最適な配置」</p> <p>②施設用途の転用や多様な活用による「施設の効率的な運用」</p> <p>③適切な点検・診断の実施と予防保全型維持管理の推進による「施設の長寿命化」</p> <p>④民間活力の導入や構造改善による「管理コストの削減」</p> <p>⑤遊休資産の積極的な利活用及び譲渡による「財源の確保」</p> <p>(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針（抜粋）</p> <p>施設の更新・大規模改修については、施設ごとの適正配置等を検討するとともに、老朽化等の施設の状況、耐用年数及び施設の利用状況等を総合的に判断し実施します。</p> <p>(6) 統合や廃止の実施方針</p> <p>施設保有量の適正化を図るためには、将来の人口動態、社会情勢及び財政状況を踏まえた、統合や廃止による適正配置を検討することが重要になります。</p> <p>統合や廃止の実施にあたっては、施設が市民に提供している行政サービスの必要性について考慮したうえで、施設の利用状況や費用対効果、老朽化の状況等を精査し、地域住民との合意形成を図りながら進めます。</p> <p><公共施設等総合管理計画の推進に向けて></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 推進体制の整備 2. 公共施設等の情報の共有化 3. 官民連携の推進 4. 個別施設計画等の策定に向けて 5. 計画の進行管理

計 画 名	大館市過疎地域自立促進計画
計 画 期 間	2016（平成28）年度～2020年度
計画の体系	<p>＜自立促進の基本方針＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心できる子育て支援と特色ある教育・文化の推進 <ol style="list-style-type: none"> ①地域に誇りを持ち地域で活躍できる人財の育成を行うふるさとキャリア教育夢事業の推進 ②子育て世代包括支援センターの設置 ③子育て中の保育料、医療費への支援 ④結婚・出産への支援 ⑤認定子ども園・認可保育施設の整備 ⑥どこでも博物館の整備 2. 互いのつながりを大切にする健康福祉と協働によるまちづくり・快適な住環境の推進 <ol style="list-style-type: none"> ①大館版CCRCの導入 ②地域包括ケア体制の構築 ③市内医療機関に就業した場合の奨学金免除による医療従事者の確保 ④医療機能の高度化及び病病・病診連携 ⑤休日夜間急患センターによる一次医療の提供 ⑥介護施設などの整備拡充及び多機能型介護サービスの実現 ⑦看護福祉大学生による機能別消防団員の充実など共助体制の確立による災害への対応 ⑧道路、公共下水道等の計画的な整備 ⑨老朽化する公共施設の解体や空き家対策 ⑩地域協働推進支援事業（地域応援プラン）の推進 3. 暮らしを支える農林業の振興、雇用対策と新たな産業の育成 <ol style="list-style-type: none"> ①誘致企業への奨励金、企業の人材確保を支援する奨学金制度、ふるさと就職奨励制度、創業支援助成、商業活性化支援策の充実 ②新サービスや新製品の開発力の向上 ③地場産業の振興、企業誘致の促進 ④農業者の設備投資への支援などによる6次産業化、園芸のメガ団地化の推進 ⑤耕作放棄地対策、農地集積化による複合作目への転換 ⑥間伐材などの木質バイオマスを活用した新たな産業の創出・育成・拡大 ⑦鉱業技術を活用したリサイクル産業等の地元企業や地域資源の磨き上げ 4. 賑わいと交流を生む観光・物産の振興と恵まれた環境を活かしたAターン・定住促進 <ol style="list-style-type: none"> ①子育て世代・シングルペアレントなどの移住促進事業の推進

計画の体系	<ul style="list-style-type: none">②あきた未来づくりプロジェクト事業による交流拠点の整備③地域連携DMOの形成及び地域資源の国内外発信の強化④体験・滞在型観光及びインバウンド体制の確立、ペットと泊まれる宿泊施設の整備⑤歴史まちづくり法による歴史・文化資源に光をあてる歴史的風致維持向上計画によるまちづくり⑥コンベンション（全国規模のイベント等）の積極的な誘致 <p>○上記3及び4の展開を図る「まちづくり」を積極的に推進する。</p> <p>○大館市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方を踏まえ、過疎対策を推進する。</p>
-------	--

計 画 名	大館市地域防災計画																
計画の 策定方針	<p><計画の目的></p> <p>この計画は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第42条の規定に基づき、大館市防災会議が作成する計画であり、本市の地域における大規模災害に対処するため、予防対策、応急対策及び復旧・復興対策について、国、県、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等及び市民、企業等の自助・共助に基づく防災活動を含めた総合的かつ計画的な防災対策を定め、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。</p> <p>また、災害時の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念とし、様々な対策を組み合わせることで災害に備えるものとする。</p> <p><計画の推進></p> <p>起こりうる災害に対する人的、経済的被害を軽減するための備えを一層充実させる必要性から、県、市及び防災関係機関等は、平常時から災害時の予防対策として、主要交通や通信機能の強化、市街地開発事業などによる災害に強いまちづくり、住宅、教育、医療等の公共施設構造物や施設、ライフライン機能の安全性確保を図る。</p> <p>さらには、災害時の応急・復旧対策を適切に運用するための関係機関相互の連携協力、また、被災者支援対策として、障害者、高齢者等の避難行動要支援者や女性の視点から捉えた避難所の運営など、多くの住民が参加できるこれら諸対策に関する実践的な防災訓練の実施と防災思想の普及、啓発に努める。</p>																
大規模地震の 教訓及び防災 対策の推進	<table border="0"> <tr> <td>(1) 災害に強いまちづくり</td> <td>(2) 地域防災力の強化</td> </tr> <tr> <td>(3) 活動体制の強化</td> <td>(4) 情報収集・伝達・広報</td> </tr> <tr> <td>(5) 広域連携・応援要請</td> <td>(6) 救助・救急医療体制の構築</td> </tr> <tr> <td>(7) 地震火災対策</td> <td>(8) 避難対策</td> </tr> <tr> <td>(9) 救援・救護対策</td> <td>(10) 被災地安全確保対策</td> </tr> <tr> <td>(11) ライフライン対策</td> <td>(12) 交通・輸送対策</td> </tr> <tr> <td>(13) 生活安定対策</td> <td>(14) ボランティア活動</td> </tr> <tr> <td>(15) 二次災害防止</td> <td></td> </tr> </table>	(1) 災害に強いまちづくり	(2) 地域防災力の強化	(3) 活動体制の強化	(4) 情報収集・伝達・広報	(5) 広域連携・応援要請	(6) 救助・救急医療体制の構築	(7) 地震火災対策	(8) 避難対策	(9) 救援・救護対策	(10) 被災地安全確保対策	(11) ライフライン対策	(12) 交通・輸送対策	(13) 生活安定対策	(14) ボランティア活動	(15) 二次災害防止	
(1) 災害に強いまちづくり	(2) 地域防災力の強化																
(3) 活動体制の強化	(4) 情報収集・伝達・広報																
(5) 広域連携・応援要請	(6) 救助・救急医療体制の構築																
(7) 地震火災対策	(8) 避難対策																
(9) 救援・救護対策	(10) 被災地安全確保対策																
(11) ライフライン対策	(12) 交通・輸送対策																
(13) 生活安定対策	(14) ボランティア活動																
(15) 二次災害防止																	

<p>計 画 名</p>	<p>地域と人が多彩に輝く「おおだて暮らしを楽しむ」基本計画 (大館版CCRC)</p>
<p>導入の目的</p>	<p>全国的に人口減少、高齢化が進む中、本市も同様に、生産年齢人口の流出、労働力不足等による地域活力の低下が喫緊の課題となっています。</p> <p>本市では、人口減少問題を克服し地方創生を実現するための戦略的施策を「大館市総合戦略」に取りまとめており、大館版CCRCの導入は、「暮らしづくり」の推進施策の一つとして位置づけています。</p>
<p>計画の コンセプトと 要素</p>	<p><コンセプト></p> <p>” おおだて暮らしの魅力” によってあらゆる世代の健康長寿・生涯活躍を実現し、定住促進を目指す</p> <p><重要な要素></p> <p>①大館圏域都市圏を中心拠点とした充実した都市機能</p> <p>②多世代交流と支え合い</p> <p>③移住者が憧れる” おおだて暮らし”</p>
<p>大館版CCRCのイメージ (生涯活躍のまち)</p>	<p>健康づくり 介護予防 健康管理</p> <p>生涯学習</p> <p>社会活動 (ボランティア等)</p> <p>住民協議会 (住民自治)</p> <p>大館版CCRCのイメージ (生涯活躍のまち)</p> <p>Aターナー者 高齢者</p> <p>地域社会との共働</p> <p>地域住民 店舗</p> <p>地元企業</p> <p>ケアが必要になった場合は</p> <p>介護事業所 介護</p> <p>病院 診療所 医療</p>
<p>大館版CCRCの展開タイプ</p>	<p><農山村タイプ></p> <p>地域で暮らし続けたいという住民の意向を念頭に、地域内の「自助・共助・公助」のサービス実現により、地域住民の在宅での健康長寿・生涯活躍を目指します。</p> <p><まちなかタイプ></p> <p>都市的利便を核とするほか、学びや就労機会の提供により、アクティブシニアとしての充実した生活の実現を目指します。</p> <p>中山間からの住み替え希望者も受け入れていきます。</p>

計 画 名	大館市住生活基本計画
計 画 期 間	2010（平成22）年度～2020年度
位 置 づ け	「住生活基本計画」は大館市総合計画を上位計画とする住宅部門のマスタープランとしての位置づけを持ち、同時に市営住宅ストックの改善・更新における基本計画となります。
計画の体系	<p><基本理念> 『まちと豊かな自然が調和した大館の住まいづくり』</p> <p><住まい・まちづくりの基本目標> 『地域特性に応じた、大館の住まいづくり』</p> <p>目標① 安全で安心できる住まいづくり ・安全・安心な住まいづくり ・人にやさしい住まいづくり</p> <p>目標② 活力を呼び戻すための住まいづくり ・『おおだて』特有の住まいづくり ・住み続けられる住まいづくり</p> <p>目標③ 街なかで暮らせる住環境づくり ・市民との協働による住環境づくり ・街なか居住の促進</p> <p>目標④ 多様なライフスタイルやニーズに合った住まいづくり ・ライフステージとともに成長し、多様なライフスタイルに対応する住まいづくり</p> <p>市営住宅の目標 地域特性やニーズを踏まえた市営住宅の再構築 ・21世紀の大館らしい公営住宅づくり</p> <p><地域別住宅施策の基本方針></p> <p>○大館東地域 街なか居住の推進と賑わい再生の住まいづくり ○大館東地域 田園風景や豊かな緑と共生する住まいづくり ○大館南地域 高齢者が安全で安心して暮らせる住まいづくり ○大館北地域 豊かな清流、自然環境と共生する住まいづくり ○比内地域 農業と共存・共生する住まいづくり ○田代地域 自然と共存・共生する住環境づくり</p> <p><施策実現のための体制></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大館市らしい住まいづくり情報の提供 2. 行政内部の横断的な連携・推進体制の構築 3. 市営住宅の適正な供給

計 画 名	大館市歴史的風致維持向上計画
目 標 年 次	2017（平成29）年度～2026年度
維持向上すべき歴史的風致	<ul style="list-style-type: none"> ①大館城下の町割りに残る歴史的風致 ②扇田神明社をめぐる歴史的風致 ③田代岳の作占いに見る歴史的風致 ④天然記念物「秋田犬」を守り育てる歴史的風致 ⑤鳳凰山周辺に見る歴史的風致 ⑥浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致
歴史的風致の維持向上に関する方針	<p>(1) 大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な景観を保全・形成するために、地域住民と団体・行政などが連携した取り組みを行う。 ・歴史的な建造物や大館城跡の周囲においては、道路環境の整備を図る。 ・城下町周辺の主要な路線は、電柱や電線類の地中化を進め、良好な景観の形成を図る。 <p>(2) 歴史的建造物の保存・活用に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財や国登録有形文化財の歴史的建造物については、文化財保護法や文化財保護条例に基づき、適切に保存を図る。 ・対応が必要な指定文化財は、適切な補修を行い、保存を図る。 ・指定されていない歴史的建造物は、調査を行い、評価したうえで新たな指定を検討する。 ・歴史的風致形成建造物の指定要件に合致する歴史的建造物については、所有者の理解と協力のもと指定を検討し、保存・活用に努める。 <p>(3) 歴史的風致の認識向上と情報発信に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の文化財については、デザインや内容に配慮して説明板や標柱の設置を進めるとともに、市民や来訪者が文化財を訪れ、歴史的風致への関心が高まるように努める。 ・小中学生が地域の歴史や文化を学習するための社会科副読本の作成を行う。 ・市外や国外に積極的に情報発信を行い、来訪者の増加や交流の拡大を図る。あわせて歴史的建造物や文化財の案内人の育成に取り組む。 ・歴史的建造物や文化財などの関連施設や周辺の環境整備を進め、歴史的風致の認識の向上や情報発信を図る。 <p>(4) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能や伝統技術を伝承する活動に取り組んでいる組織や保存団体と、今後も伝統文化を継承していくための方策について協議を進めていく。 ・将来の担い手である小中学生のみならず、保護者や住民の理解を深め後継者の確保育成に取り組む。

	<ul style="list-style-type: none">・地域固有の伝統行事や歴史的資源の魅力を高める取り組みを行う市民団体などに対しては、必要な支援を行い、地域の活性化を促進する。・秋田犬については、秋田犬保存会をはじめとした関係機関と、会員数の維持拡大を図るための方策について協議していく。
重点地区	区域の名称：大館市歴史的風致維持向上地区 区域の面積：397ha 位置：重要文化財の大館八幡神社や歴史的建造物が残る城下町を中心とする長木川以南の市街地と、主要産業の鉱業と林業を支え、本市経済の発展の基盤となった大館駅周辺を含む長木川以北の市街地を合わせた範囲

1-2 公共交通に関する計画

計 画 名	大館市地域公共交通網形成計画
計 画 期 間	2018（平成30）年度～2027年度
計画の体系	<p><基本的な方針></p> <p>(1) 利用実態・ニーズを踏まえた市民の日常生活を支える移動手段の確保</p> <p>(2) まちづくりと連携し、交流を促進する公共交通ネットワークの形成</p> <p>(3) 様々な主体と協働・連携し、みんなで育てる持続可能な公共交通の構築</p> <p><施策体系></p> <p>施策1-1：公共交通路線再編の実施</p> <p>施策1-2：多様な運行形態による交通手段の確保</p> <p>施策2-1：交通結節点における乗り継ぎ環境の向上</p> <p>施策2-2：小さな拠点など地域拠点の形成</p> <p>施策2-3：情報提供ツールの作成、HP等での情報発信</p> <p>施策3-1：多様な連携による公共交通の利用促進</p> <p>施策3-2：公共交通を市全体で支える体制の構築</p>

【資料編】

第2章

協議会・庁内
検討委員会資料

第2章

協議会・庁内検討委員会資料

2-1 都市再興協議会・都市再興基本計画庁内検討委員会の協議事項

年月日	協議事項
2017（平成29）年 11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回大館市都市再興基本計画庁内検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・計画の概要等について ・アンケート速報結果について
2017（平成29）年 11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回大館市都市再興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・計画の概要等について ・アンケート速報結果について
2018（平成30）年 2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回大館市都市再興基本計画庁内検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの検討経過と都市再興基本計画の役割について ・「都市計画マスタープラン見直し」及び「立地適正化計画」について
2018（平成30）年 2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回大館市都市再興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの検討経過と都市再興基本計画の役割について ・都市計画マスタープラン見直しについて ・立地適正化計画について
2018（平成30）年 7月19日	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回大館市都市再興基本計画庁内検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン 地域別構想について ・立地適正化計画 誘導区域設定方法や考え方について
2018（平成30）年 7月20日	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回大館市都市再興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン 地域別構想について ・立地適正化計画 誘導区域設定方法や考え方について
2018（平成30）年 10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回大館市都市再興基本計画庁内検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回までの検討経過について ・都市計画マスタープランにおける「全体構想」と「地域別構想」について ・立地適正化計画における「誘導区域」、「誘導施設」について ・立地適正化計画における「誘導施策」、「目標と効果」、「届出制度」について ・実現化方策について
2018（平成30）年 11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回大館市都市再興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回までの経過について ・第7章「誘導区域・誘導施設の設定」について ・第8章「都市機能及び居住を誘導するための施策」について ・第9章「目標及び進行管理」について ・第11章「届出制度」について ・第10章「まちづくりの実現化方策」について
2019（平成31）年 2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回大館市都市再興基本計画庁内検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み経過について ・素案に対する意見及び対応について ・計画最終案について
2019（平成31）年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回大館市都市再興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み経過について ・素案に対する意見及び対応について ・計画最終案について

2-2 大館市都市再興協議会委員名簿

職名	氏名	所属等
会 長	北原 啓司	弘前大学 大学院 地域社会研究科 研究科長
副会長	小笠原 吉張	東北職業能力開発大学校附属 秋田職業能力開発短期大学校 住居環境科 主幹・教授
	兜森 和夫	社会福祉法人 大館市社会福祉協議会 副会長
委 員	柴田 博	秋田看護福祉大学 福祉学科 教授
	中村 博美	大館商工会議所 街の元気づくり委員長
	竹田 信行	大館北秋商工会 事務局長
	石川 成	大館・北秋田建築士会 会長
	棚谷 貞一	秋北バス株式会社 事業管理部長
	浅利 博樹	特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター 理事／事務局長
	平岡 為義	大館地域 市民代表
	米澤 由美子	比内地域 市民代表
	吉田 範子	田代地域 市民代表
	竹村 勉	秋田県 建設部 都市計画課 課長
	近藤 雅	秋田県 北秋田地域振興局 建設部 企画・建設課 課長
	嶋田 均	大館市 建設部 部長

【資料編】

第3章

市民アンケート調査結果

第3章

市民アンケート調査結果

3-1 アンケートの回収状況

アンケートは、「一般市民」と「高校生」の2種類に区分し実施しました。アンケート票の回収状況は下記の通りです。

※本章の表・グラフの数値は、端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

アンケート区分	A：配布数	B：回収数	C：回収率 (B/A)
一般市民アンケート	2,000 票	883 票	44.2%*
高校生アンケート	1,926 票	1,871 票	97.1%

※：前回比 138%（2007（平成 19）年度都市計画マスタープラン策定時の回収率は 32.0%）

3-2 一般市民アンケート

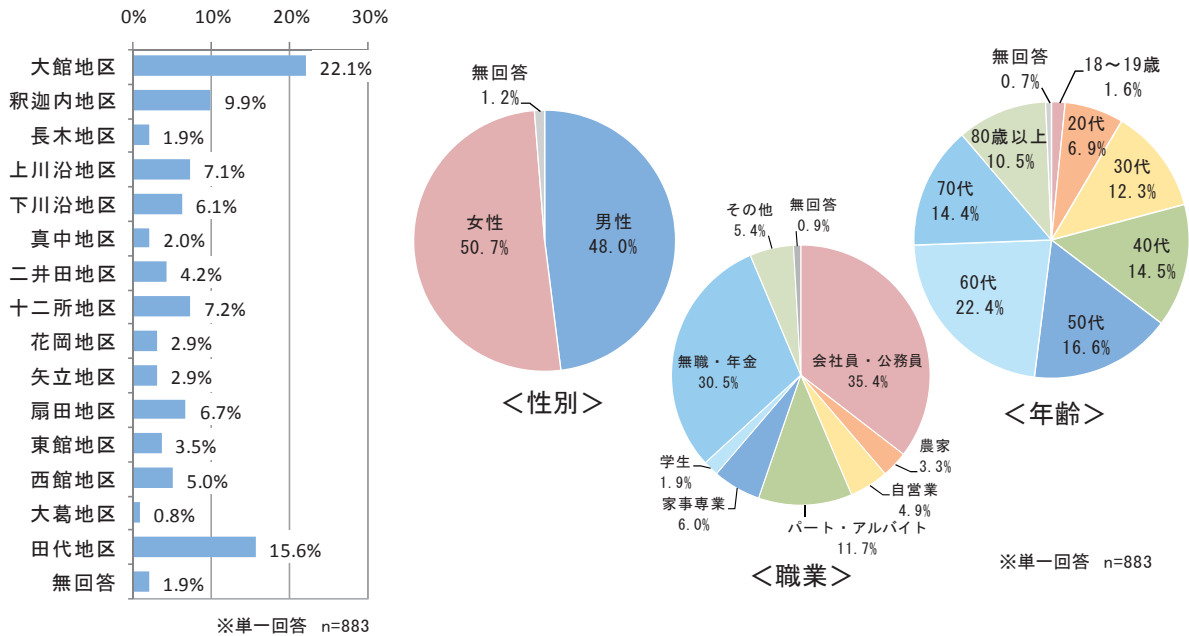
(1) 回答者属性

大項目	設問項目
○回答者の属性	・お住まいの地区、性別・年齢・職業、世帯人数、居住年数、居住経験、大館市に住んでいる理由
○あなたの生活・行動について	・主な行き先・主な交通手段
○大館市での暮らしについて	・満足度、満足度の総合評価・過年度との比較 ・重視する暮らしやすさ ・居住意向・居住理由 ・住みたい場所 ・ほしい施設（自宅から徒歩で移動できる範囲） ・ほしい施設（中心市街地） ・人口減少や高齢化の影響・不安 ・施設や機能のあり方
○移動のしやすさ・公共交通について	・自動車免許、自動車の保有 ・最寄りの公共交通機関までの所要時間 ・外出時の移動手段で困っていること ・公共交通に求めること
○今後のまちづくりについて	・市に期待する取り組み ・望ましい就業の場の確保 ・まちづくりへの参加の意向 ・まちづくりについて関わってみたいこと ・アイデア・提案

① 回答者属性

回答者のお住まいの地区は「大館地区」が22.1%と最も多く、ついで「田代地区」15.6%、「釈迦内地区」9.9%となっている。

回答者の年齢は47.3%が60歳以上となっている。

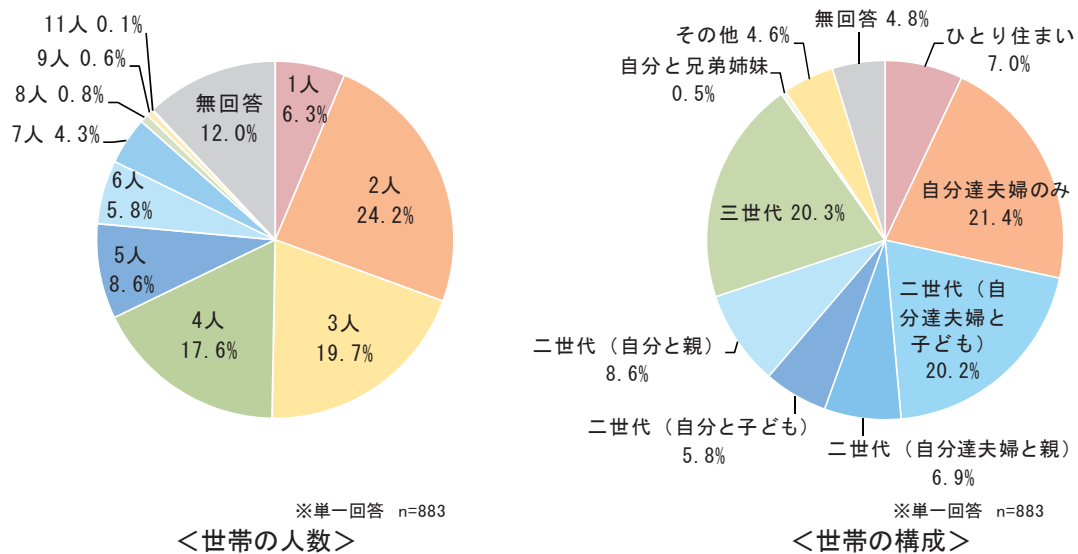


＜お住まいの地区＞

② 世帯人数、世帯構成

世帯人数は「1人」が6.3%、「2人」が24.2%、「3人」が19.7%、「4人」が17.6%となっている。

世帯の構成をみると「自分達夫婦のみ」が21.4%で最も多くなっている。約4割の世帯の構成が「二世帯」である。



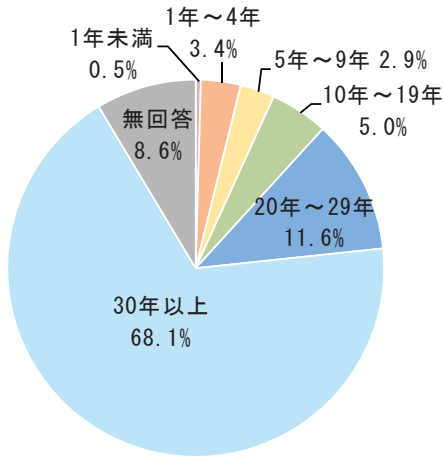
＜世帯の人数＞

＜世帯の構成＞

③ 大館市での居住年数、居住経験

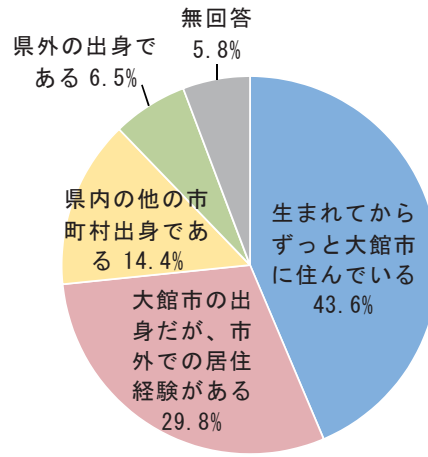
大館市での居住年数は「30年以上」が68.1%となっている。

大館市での居住経験は「生まれてからずっと大館市に住んでいる」が43.6%、「大館市の出身だが、市外での居住経験がある」が29.8%となっている。



※単一回答 n=883

<大館市での居住年数>



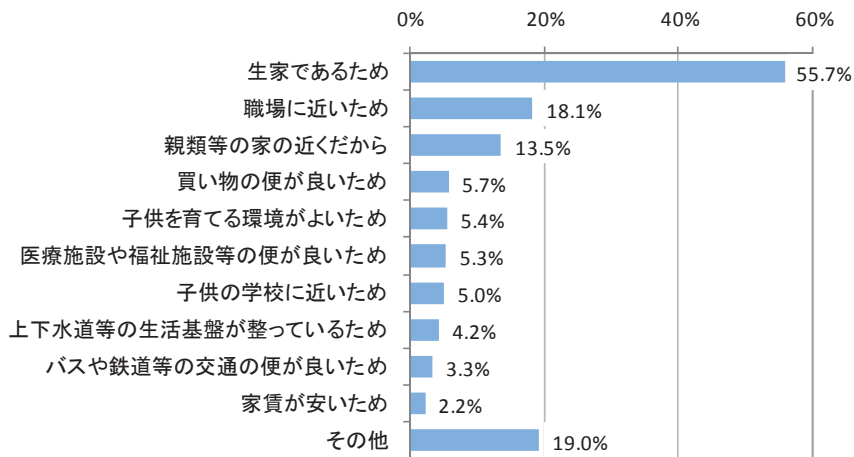
※単一回答 n=883

<大館市での居住経験>

④ 大館市に住んでいる理由

大館市に住んでいる理由は「生家であるため」が55.7%となっており、生まれた場所であることが最も多い理由となっている。

その他には「職場に近いため」が18.1%、「親類等の家の近くだから」が13.5%となっており、職場や親類等の家の近くであることが理由としてあげられている。



※複数回答 n=883

<大館市に住んでいる理由>

(2) あなたの生活・行動について

① 主な行き先

ほとんどの生活・行動の項目で、最も多い行き先は「大館地区」となっており、「日用品の購入先」「外食へ出かける地域」「家電製品や家具、贈答品の購入先」「病院へ出かける地域」では8割以上を占めている。

「映画やコンサートなど、遊びに出かける地域」では「弘前市」が56.9%と最も多い行き先になっている。

生活・行動の項目	回答数	最も多い行き先		2番目に多い行き先	
通勤する地域	(474)	大館地区	46.8%	二井田地区	9.3%
通学する地域	(66)	大館地区	50.0%	扇田地区	9.1%
日用品の購入先	(676)	大館地区	84.0%	扇田地区	5.3%
外食へ出かける地域	(586)	大館地区	89.6%	弘前市	6.1%
家電製品や家具、贈答品の購入先	(620)	大館地区	88.7%	弘前市	4.5%
映画やコンサートなど、遊びに出かける地域	(490)	弘前市	56.9%	大館地区	17.6%
スポーツや屋外レクリエーションに出かける地域	(333)	大館地区	45.6%	秋田市	6.9%
病院へ出かける地域	(675)	大館地区	86.4%	扇田地区	6.4%
福祉サービスを受けに行く地域	(153)	大館地区	78.4%	十二所地区	5.2%

※単一回答

＜生活・行動について、主な行き先＞

② 主な交通手段

最もよく使われる交通手段は、すべての項目で「自家用車」となっており、「通学する地域」以外の項目で8割以上となっている。

2番目に多い交通手段では、6つの生活・行動の項目で「自転車」が選択されている。

生活・行動の項目	回答数	最も多い交通手段		2番目に多い交通手段	
通勤する地域	(474)	自家用車	88.0%	自転車	4.6%
通学する地域	(66)	自家用車	36.4%	徒歩	28.8%
日用品の購入先	(676)	自家用車	89.6%	自転車	4.6%
外食へ出かける地域	(586)	自家用車	93.9%	自転車	2.9%
家電製品や家具、贈答品の購入先	(620)	自家用車	93.9%	自転車	3.2%
映画やコンサートなど、遊びに出かける地域	(490)	自家用車	92.0%	自転車	3.3%
スポーツや屋外レクリエーションに出かける地域	(333)	自家用車	92.8%	自転車	4.2%
病院へ出かける地域	(675)	自家用車	88.7%	バス	3.4%
福祉サービスを受けに行く地域	(153)	自家用車	81.0%	その他	9.8%

※単一回答

＜生活・行動について、主な交通手段＞

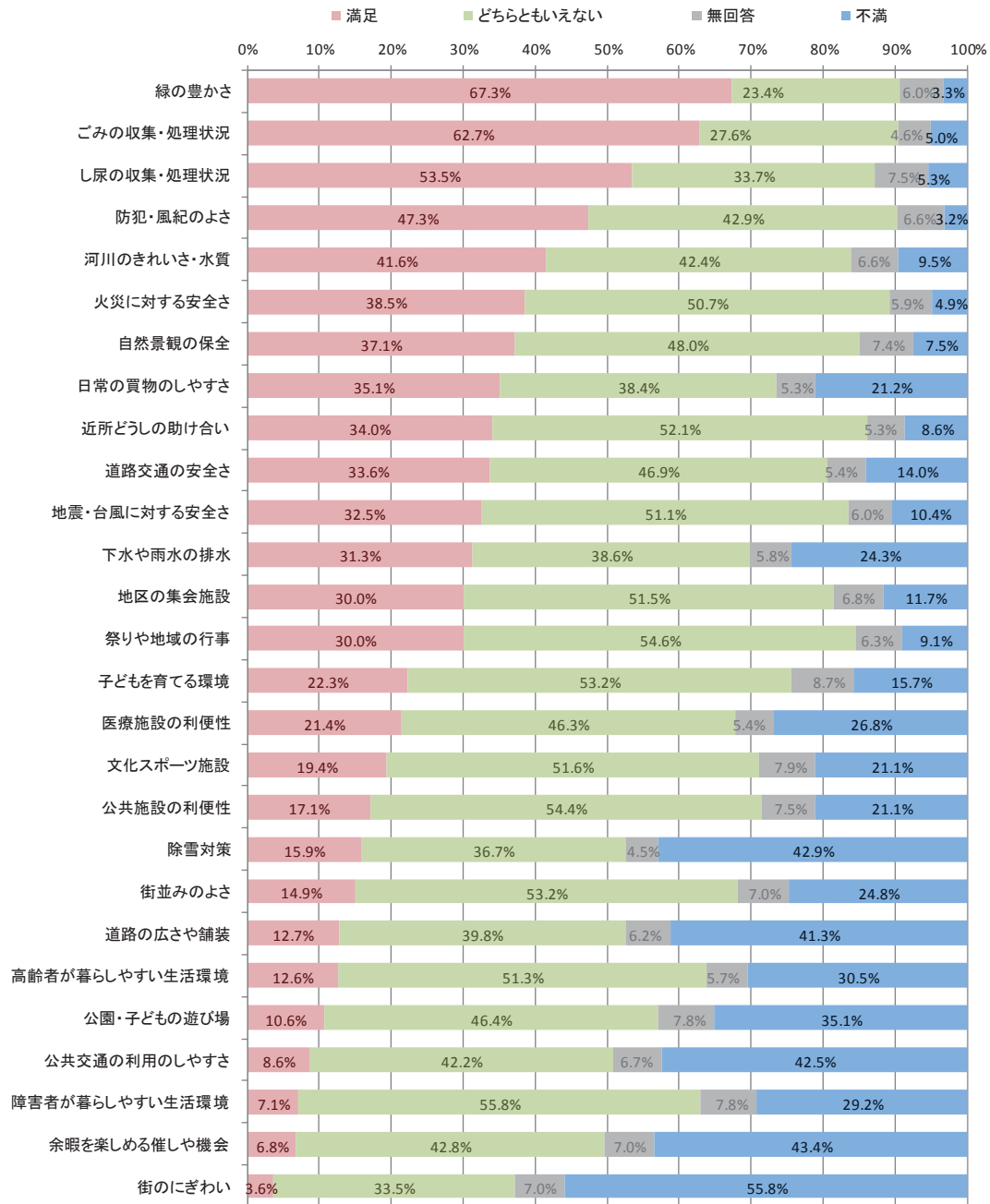
(3) 大館市での暮らしについて

① 満足度

半数以上の方が満足との回答をしたのは「緑の豊かさ」67.3%、「ごみの収集・処理状況」62.7%、「し尿の収集・処理状況」53.5%で、不満度もそれぞれ5%程度となっている。

不満度が最も高いのは「街のにぎわい」で55.8%となっており、満足度が3.6%と最も低い。

他、不満度が4割以上と高くなっているものは「除雪対策」「道路の広さや舗装」「公共交通の利用のしやすさ」「余暇を楽しめる催しや機会」となっている。

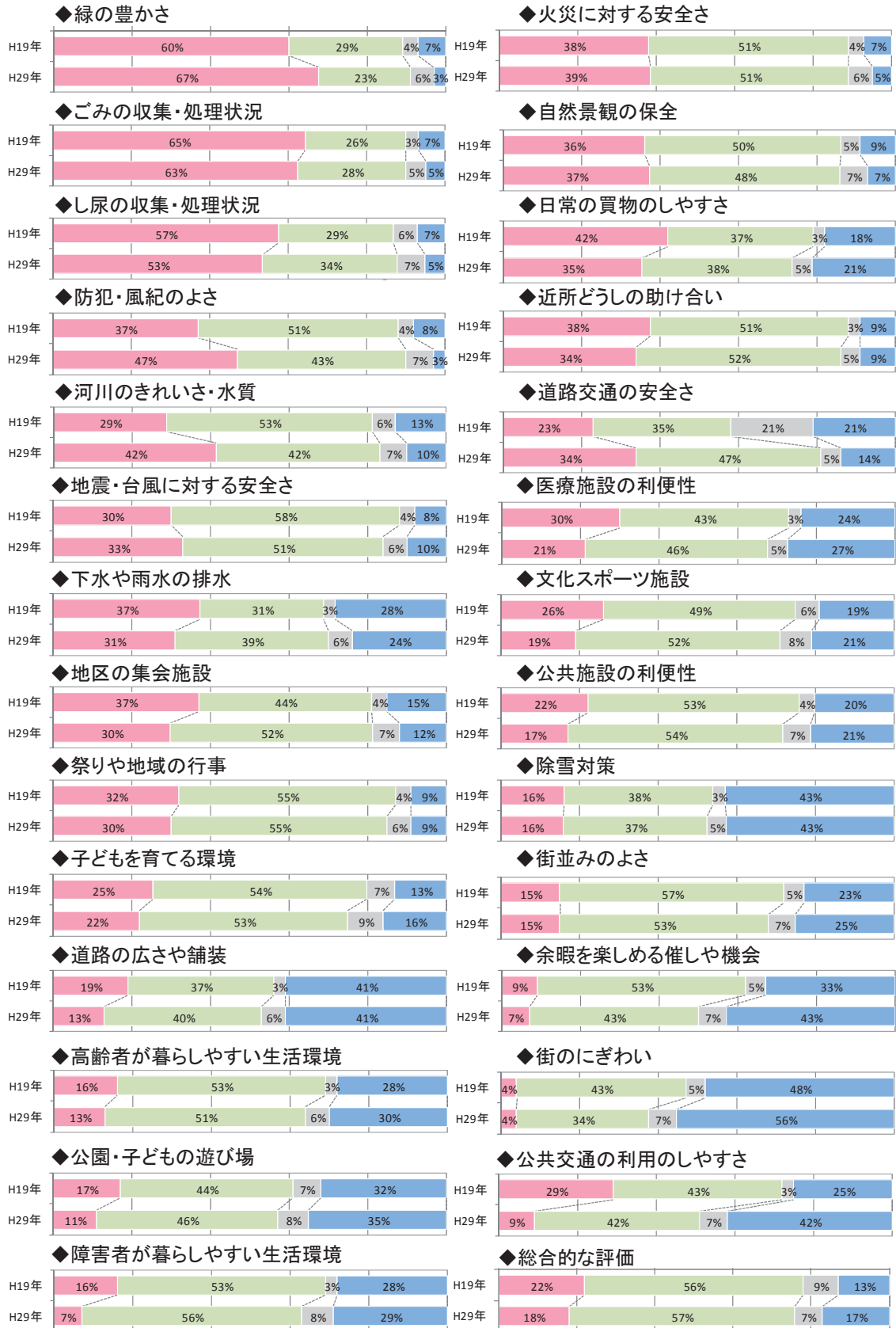


※複数回答 n=883

<大館市での暮らしやすさの満足度>

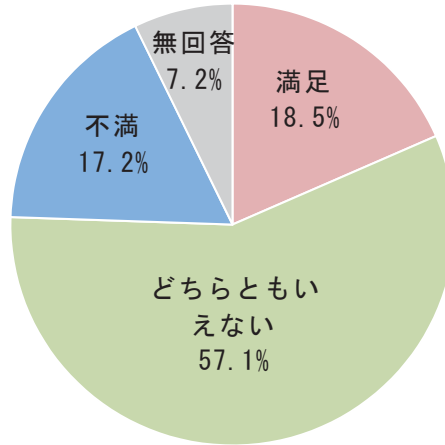
② 暮らしやすさの満足度（過年度比較）

■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 無回答 ■ 不満



③ 満足度の総合評価

大館市での暮らしやすさの総合的な評価は、「満足」が 18.5%、「どちらともいえない」が 57.1%、「不満」が 17.2%となっている。

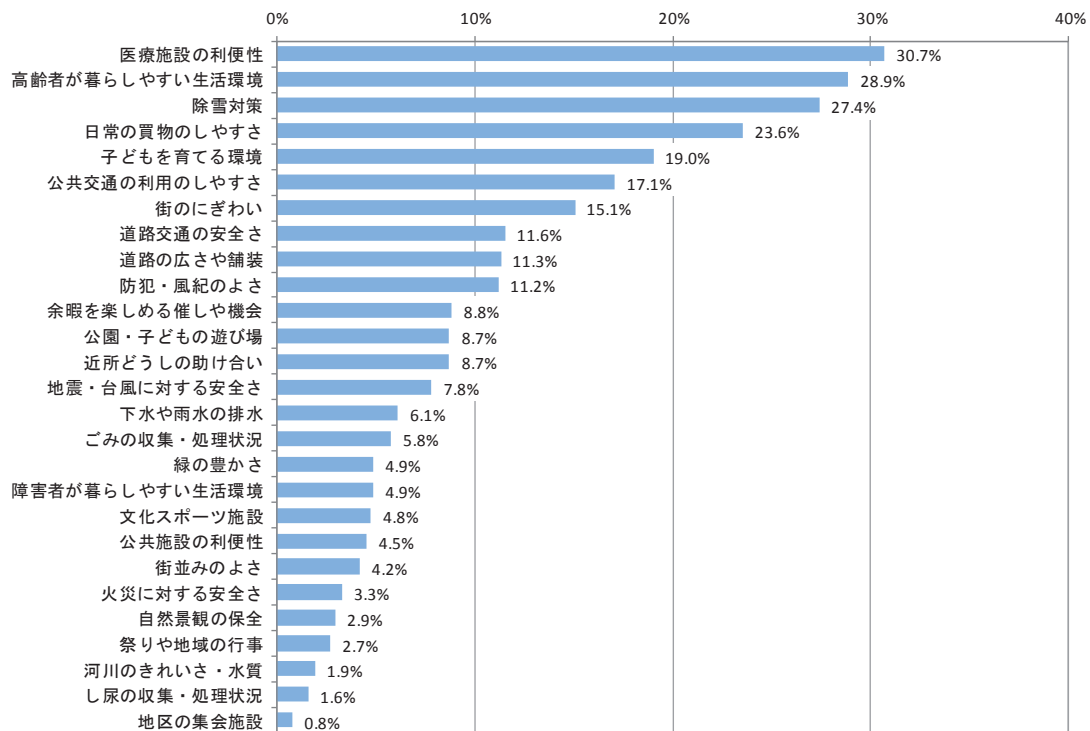


※単一回答 n=883

<大館市での暮らしやすさの満足度の総合評価>

④ 重視する暮らしやすさ

重視する暮らしやすさの項目は「医療施設の利便性」が 30.7%、「高齢者が暮らしやすい生活環境」が 28.9%、「除雪対策」が 27.4%、「日常の買物のしやすさ」が 23.6%となっている。

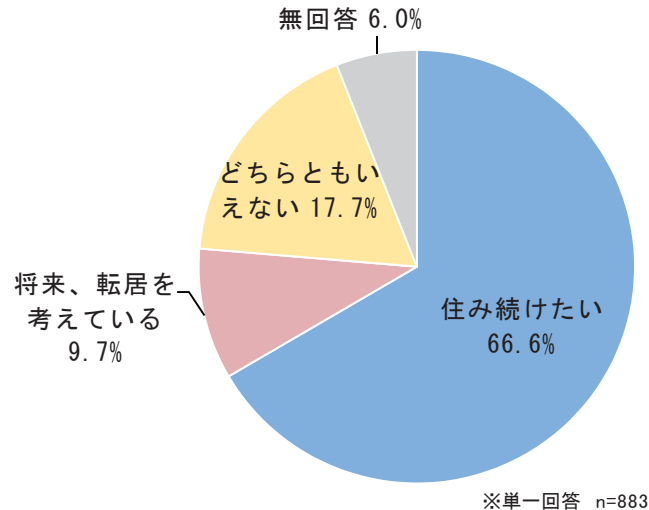


※複数回答 n=883

<重視する暮らしやすさ>

⑤ 居住意向

これからも大館市に「住み続けたい」と回答した方は66.6%となっている。
 「将来、転居を考えている」方は9.7%である。

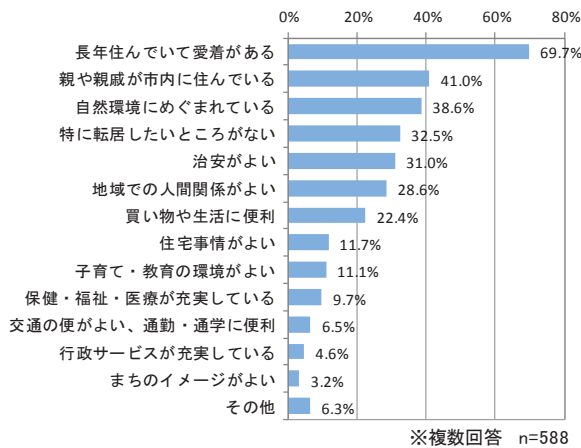


<大館市にこれからも住み続けたいか>

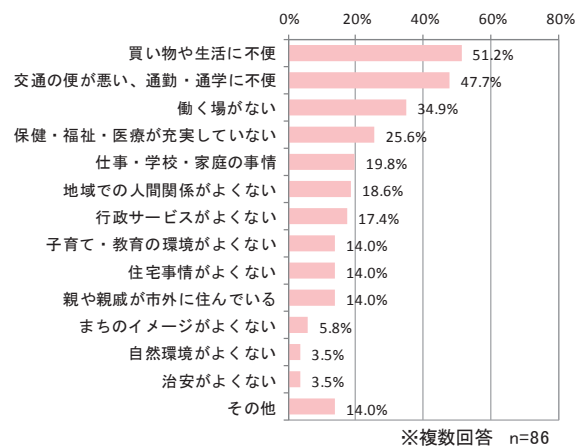
⑥ 居住意向の理由

「住み続けたい」と回答した理由は「長年住んでいて愛着がある」が69.7%と約7割となっており、ついで「親や親戚が市内に住んでいる」が41.0%、「自然環境にめぐまれている」が38.6%、「特に転居したいところがない」が32.5%となっている。

転居を考えている理由としては「買い物や生活に不便」が51.2%、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」が47.7%となっており、日常生活の不便さが転居につながる可能性があることがわかる。



<住み続けたい理由>

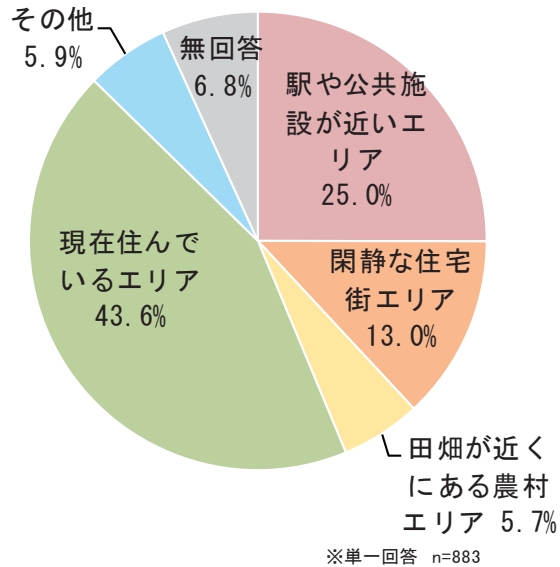


<転居を考えている理由>

⑦ 住みたい場所

大館市内で住みやすそうだと感じる場所として最も多い回答は「現在住んでいるエリア」で43.6%である。

ついで「駅や公共施設が近いエリア」が25.0%となっている。



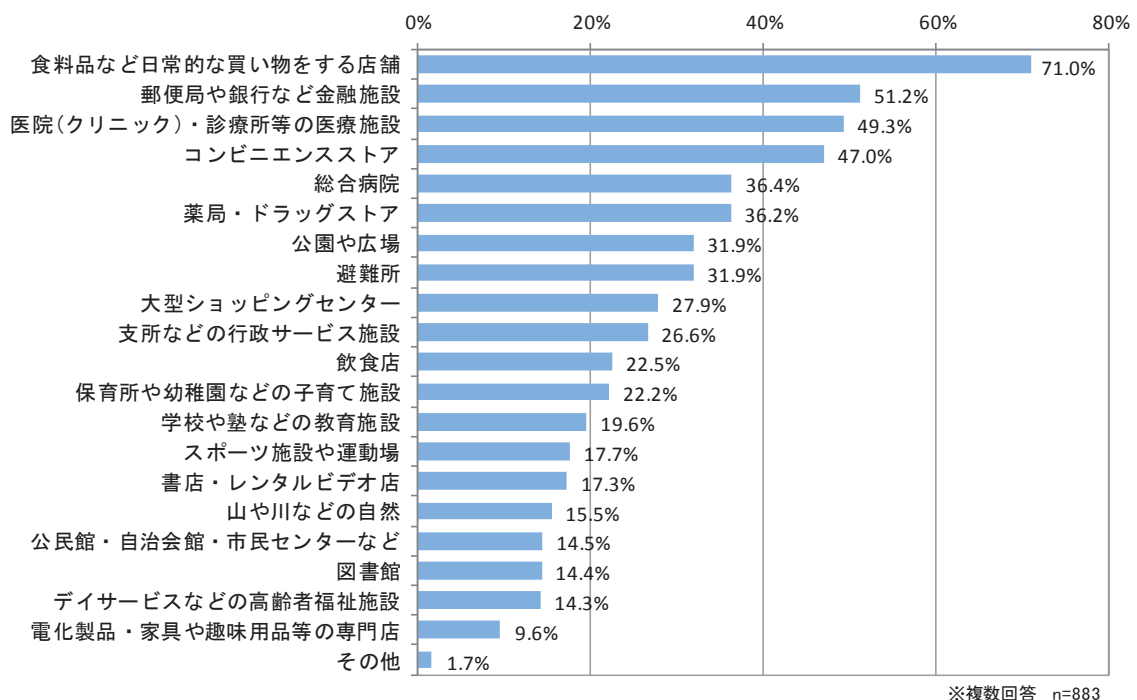
<大館市内で住みやすそうだと感じる場所>

⑧ ほしい施設

◆ 自宅から徒歩で移動できる範囲にほしい施設

自宅から徒歩で移動できる範囲で最もほしい施設は「食料品など日常的な買い物をする店舗」で71.0%の方がほしいと回答している。

ついで「郵便局や銀行など金融施設」が51.2%、「医院（クリニック）・診療所等の医療施設」が49.3%と続いている。

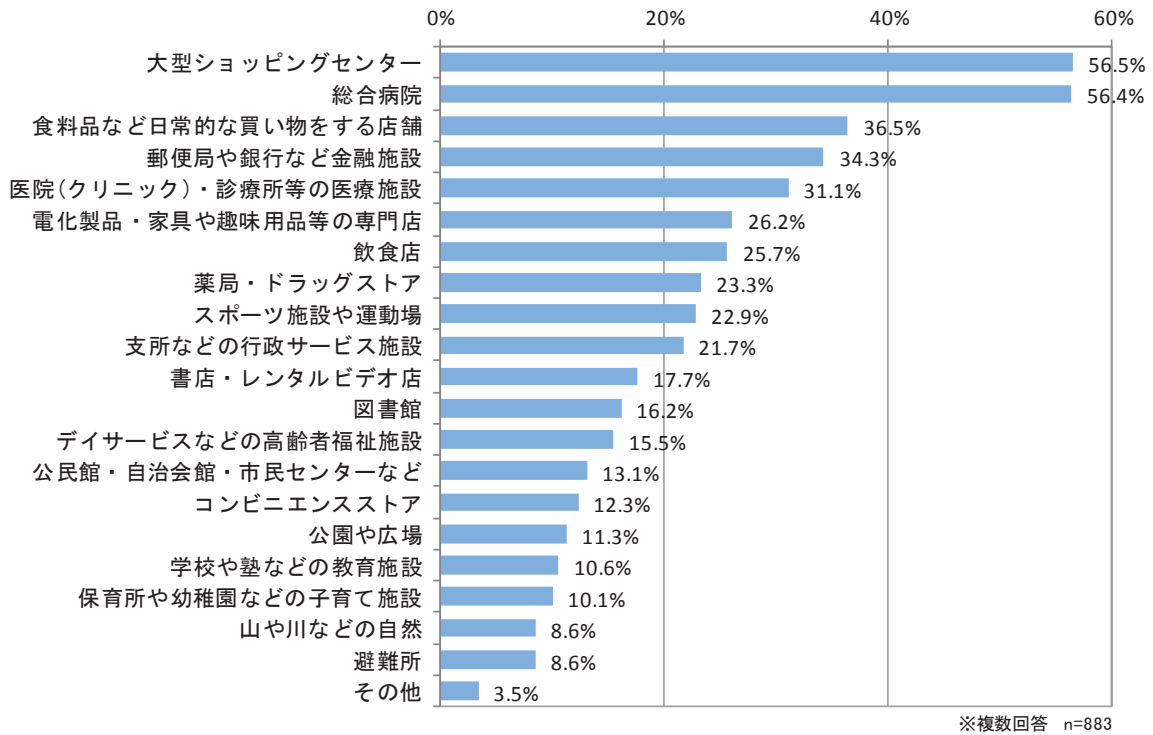


<自宅から徒歩で移動できる範囲にほしいと感じる施設>

◆自宅から公共交通機関を利用して行くことができる中心市街地にほしい施設

「大型ショッピングセンター」が56.5%、「総合病院」が56.4%となっており、約6割の方がほしい施設としてあげている。

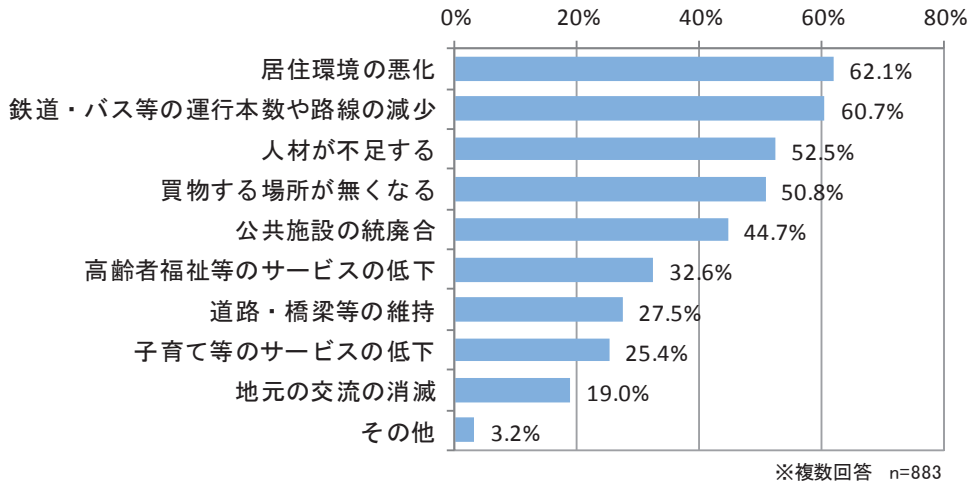
その他には、「食料品など日常的な買い物をする店舗」36.5%、「郵便局や銀行など金融施設」34.3%、「医院(クリニック)・診療所等の医療施設」31.1%などの施設が続いている。



<自宅から公共交通機関を利用して行くことができる中心市街地にほしいと感じる施設>

⑨ 人口減少や高齢化の影響・不安

「居住環境の悪化」62.1%、「鉄道・バス等の運行本数や路線の減少」60.7%、「人材が不足する」52.5%、「買物する場所が無くなる」50.8%など、半数以上の方が複数の影響や不安を感じている様子が見えてくる。

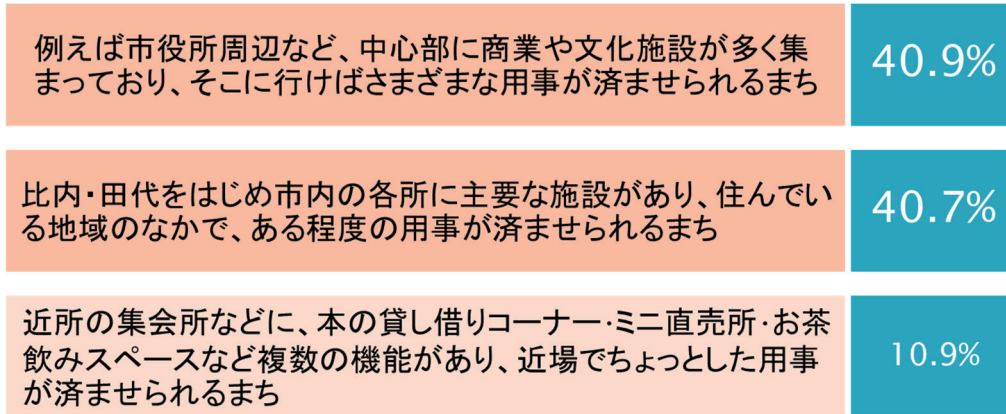


＜人口減少や高齢化の進行により、どのような影響や不安を感じているか＞

⑩ 施設や機能のあり方

＜施設や機能のあり方について、どんなまちを目指したいか＞

目指したいまちについては「中心部に行けばさまざまな用事が済ませられるまち」が40.9%、「住んでいる地域のなかで、ある程度の用事が済ませられるまち」が40.7%となっている。



※単一回答 n=883

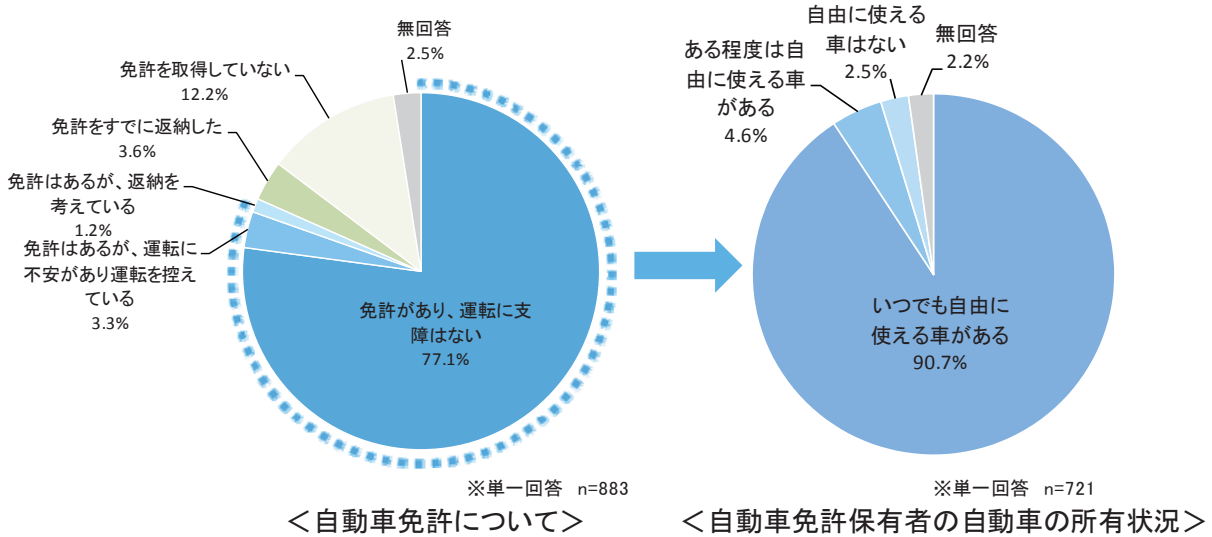
※無回答 7.6%

（４）移動のしやすさ・公共交通について

① 自動車免許、自動車の保有

「自動車免許がある」と回答した方は81.6%で、77.1%の方が「運転に支障はない」と回答している。

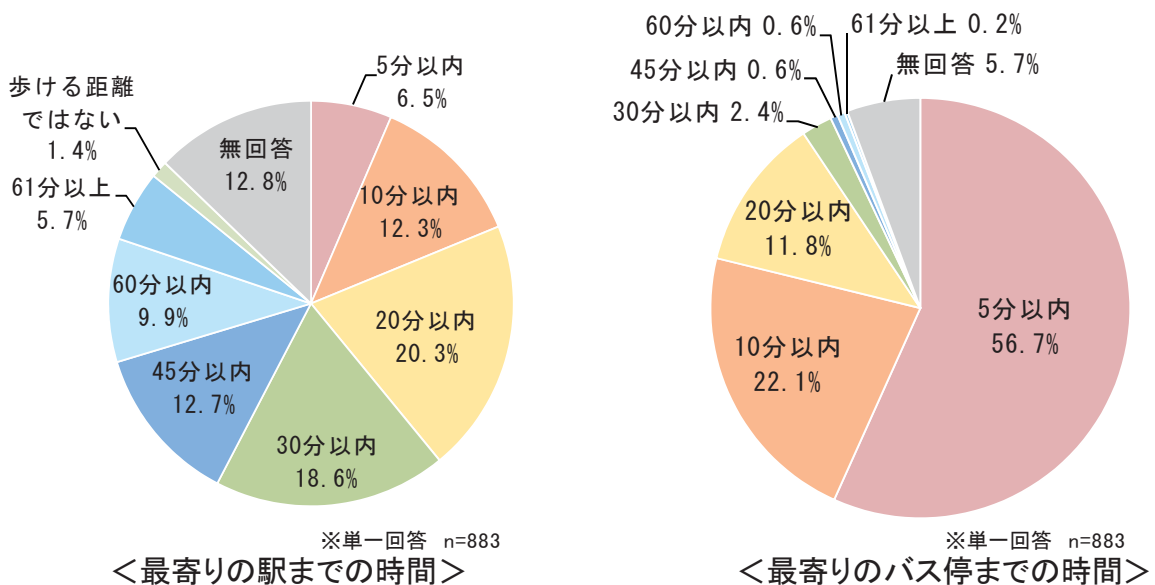
自動車免許を保有している方のうち、「いつでも」、あるいは「ある程度」は「自由に使える車がある」と回答した方は95.3%である。



② 最寄りの公共交通機関までの所要時間

最寄りの駅まで徒歩でかかる時間は「20分以内」が20.3%で最も多くなっている。一方駅まで20分以上かかる方が46.9%、「歩ける距離ではない」と回答した方が1.4%いる。

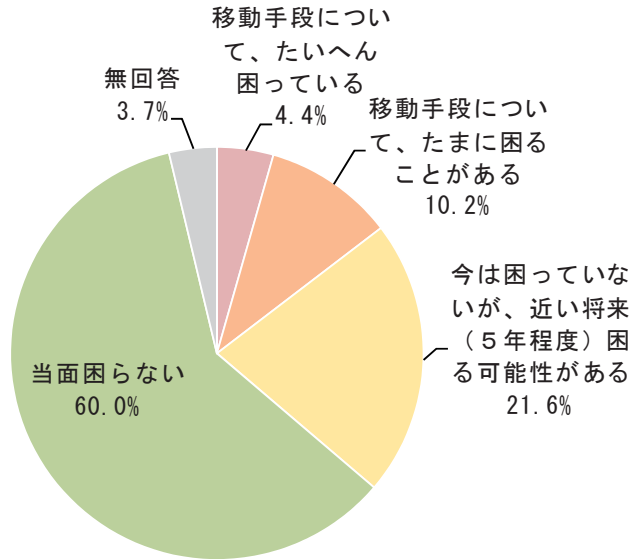
バス停は「5分以内」と回答した方が56.7%となっており、全体の約8割の方はバス停まで10分あれば徒歩で到着できると回答している。



③ 外出時の移動手段で困ることがあるか

「たいへん困っている」「たまに困ることがある」を合わせて14.6%の方が、現在移動手段で困っている状況である。

当面困らないと回答した方は60.0%となっている。



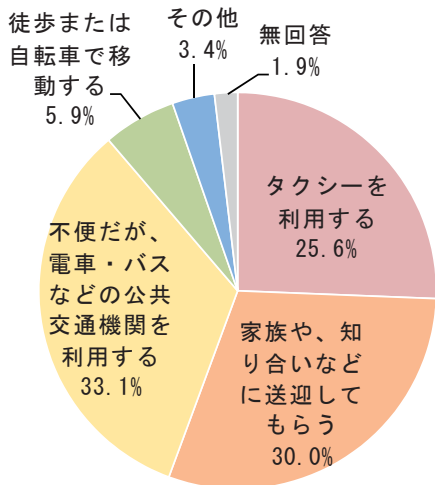
※単一回答 n=883

<外出時の移動手段で困ることがあるか>

④ 外出時の移動手段で困った時の対処法・当面困らない理由

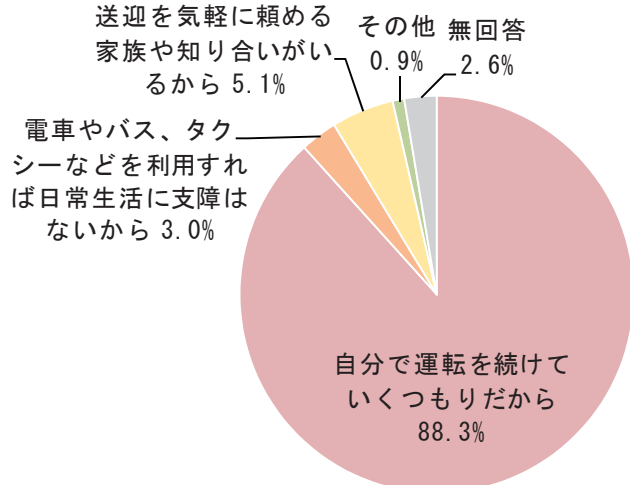
困った時の対処法としては、「不便だが、電車・バスなどの公共交通機関を利用する」が33.1%、「家族や知り合いなどに送迎してもらう」が30.0%となっている。

また、当面困らない理由としては、「自分で運転を続けていくつもりだから」が88.3%で最も多い回答になっており、9割近い方は当面自分で自動車の運転が可能なお方となっている。



※単一回答 n=320

<困った時の対処法>



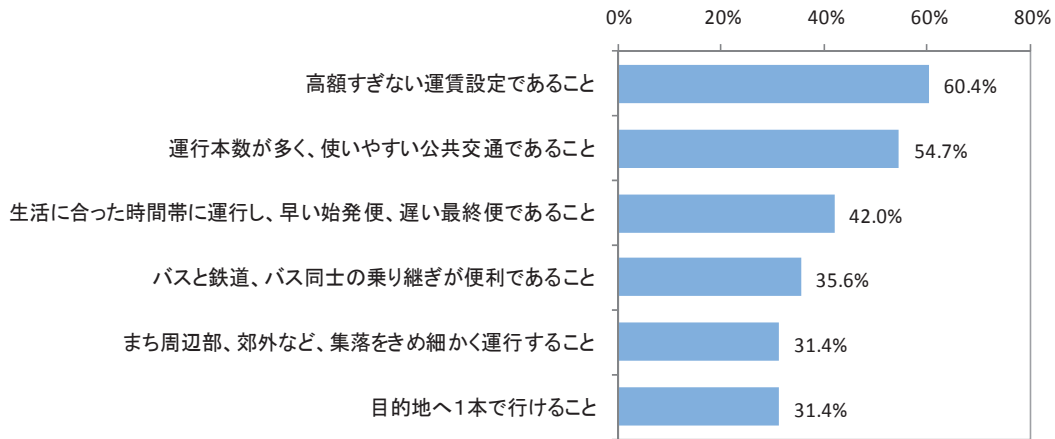
※単一回答 n=530

<当面困らない理由>

⑤ 公共交通に求めること

今後の公共交通に求めることは、「高額すぎない運賃設定であること」が最も多く、60.4%となっている。

ついで「運行本数が多く、使いやすい公共交通であること」が54.7%、「生活に合った時間帯に運行し、早い始発便、遅い最終便であること」が42.0%となっている。



※複数回答 n=883

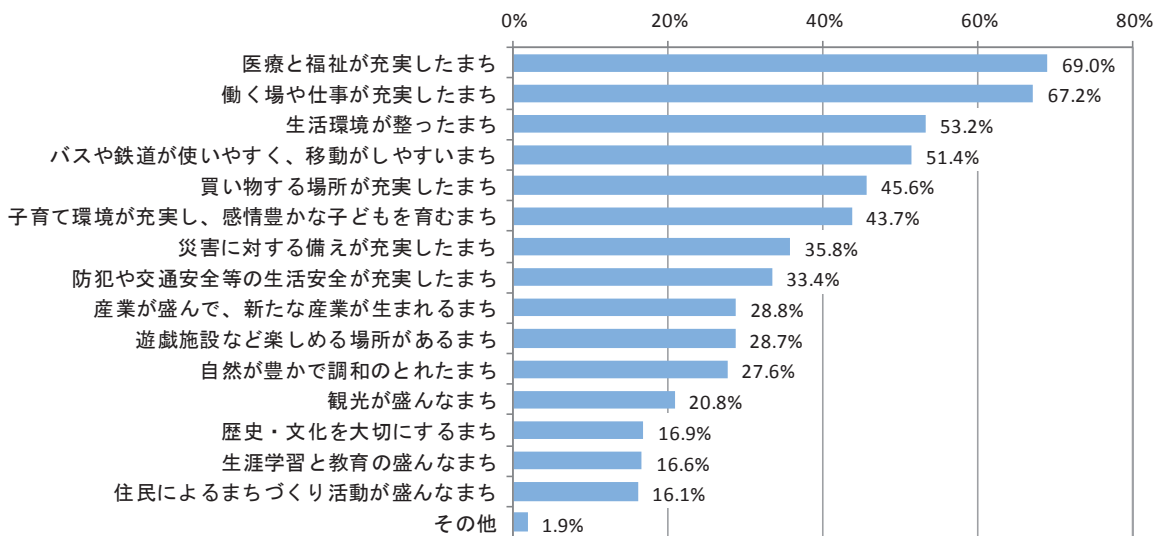
<今後、公共交通に求めること>

(5) 今後のまちづくりについて

① 市に期待する取り組み

「医療と福祉が充実したまち」が69.0%、「働く場や仕事が充実したまち」が67.2%と、医療・福祉についてや就業場所の確保について、約7割の方から期待を寄せられていることがわかる。

その他には「生活環境が整ったまち」53.2%、「バスや鉄道が使いやすく、移動がしやすいまち」51.4%などが、半数以上の方に市に期待する取り組みとしてあげられている。

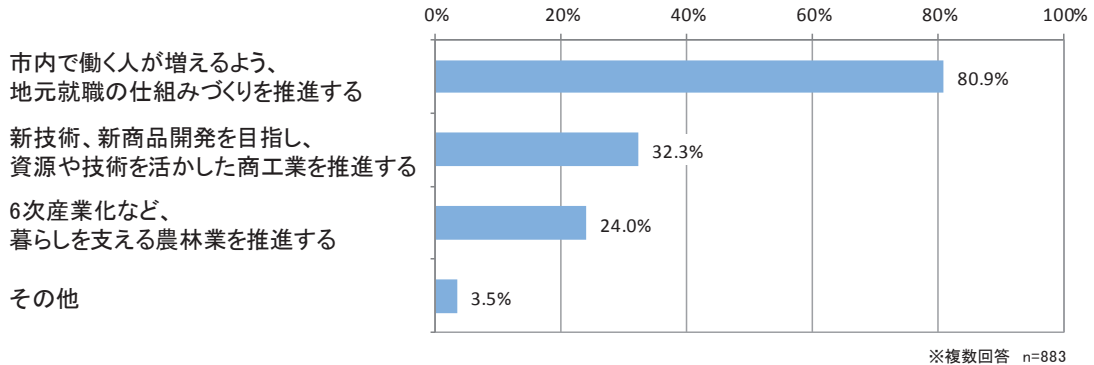


※複数回答 n=883

<市に期待する取り組みや、まちづくりに期待すること>

② 望ましい就業の場の確保

「市内で働く人が増えるよう、地元就職の仕組みづくりを推進する」が80.9%となっており、8割以上の方が市内での就業の場を確保することが望ましいと感じていることがわかる。

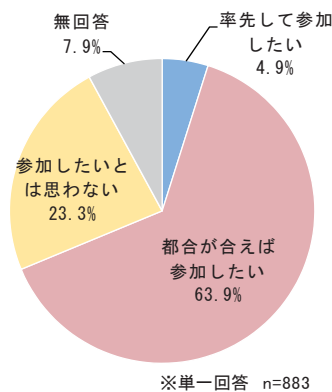


<どのような就業の場の確保がのぞましいか>

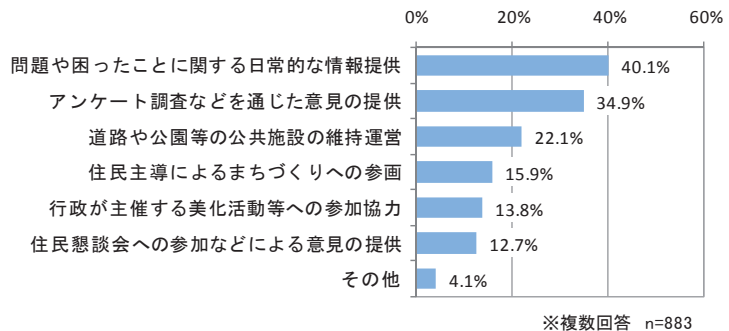
③ 今後のまちづくりについて

「都合が合えば」との条件付きの方が63.9%を占めているが、「参加したい」との意向を示した方は全体の約7割となっている。

まちづくりについて関わってみたいことについては「問題や困ったことに関する日常的な情報提供」が40.1%、「アンケート調査などを通じた意見の提供」が34.9%、「道路や公園等の公共施設の維持運営」が22.1%となっている。



<まちづくりへの参加の意向>



<まちづくりについて関わってみたいこと>

④ アイデア・提案

【キーワード「子育て」】

- ・保育料の助成、保育園、小中学校の建物が老朽化していることへの対応など子育て支援や子どものための予算を増やし、子育てにやさしいまちを目指してほしい。子育てをしている人々や家庭への支援を図り、安心して子供を育てることができる環境を考えてほしいです。
- ・子育ての親、またその子供に対する医療、経済面、環境の充実。
- ・保育園の待機児童問題を改善して欲しい。
- ・公民館、集会所・自治会館等の施設を待機児童を預かる場所にしてはどうか。 地域には、老人施設に入所されていない高齢者が元気にいっぱい居ます。一人資格のある人を雇用して、主婦（働いていない人）高齢者等に見てもらっては？

【キーワード「若者」】

- ・大館には大学、短大があるので将来子供達が身につけた知識や技術が生かせる職場が地元にあってほしいし、伝統行事やイベント行事を大切にしてほしい。
- ・戻りたくても戻れない、という声を耳にしている、働く場所が少ないというのが1番にある。もっと若者が戻ってきやすい雇用環境を整えていただきたいです。
- ・若者を市内にとどめるには、ショッピングモール、娯楽施設がないと厳しいと思う。
- ・シャッター街を活かして、若者向けの店や施設を作れば良いと思いました。文化財を大切にしなければならぬのは分かりますが、高齢者も若者も楽しめる町づくりを。

【キーワード「高齢者」】

- ・高齢者向けのイベントを多くし、地域の交流を活性化する。
- ・年配の人達が働ける職場も、もっと重視してもらいたいと願います。
- ・高齢化がすすみ、若い人たちが減少している状況で、地域の中でのささえ合いはとても大切な課題となると思います。人と人との交流が希薄になっている現在の地域のあり方を、何とかして近所の人を気づかい、気にかけて、お互い様の気持ちでささえあう方向にもっていけるよう行政が後押しをすることが必要。
- ・歩いて行けるスーパーマーケットの廃業が相次ぎ、車を持たない高齢者が買物をする場がなくなっています。

【キーワード「まちの活性化」・「活用」】

- ・大きな商業施設を誘致したり、大町を活性化させてほしい。
- ・利用してない施設（大館高校）等再利用してみてもどうか？
- ・大館駅前通りがもっと明るく活気のある街作りを目指してほしいと思います。また、大型ショッピングモールがあれば良い。
- ・「空き家」の活用を推進して欲しい
- ・大館市の中心地に、ショッピングセンターや公共施設の支所、その他の集会施設等を旧正札に建設してほしいです。多数の人が希望しております。
- ・中心市街地大館駅前を活性化し、公共交通機関の利便性を高くして車がなくても生活しやすい街を目指してほしい。

3-3 高校生アンケート

(1) 回答者属性

大項目	設問項目
○回答者の属性	・学年、性別、お住まいの住所、居住年数
○大館市の暮らしやすさ・過ごしやすさ	・満足度、満足度の総合評価・過年度との比較 ・重視する暮らしやすさ
○将来について	・高校卒業後の進路 ・就きたい職業 ・就きたい職業は大館市から通える範囲に働く場所があるか ・社会人、結婚したときに大館市に住みたいか
○今後のまちづくりについて	・ほしい施設(自宅から徒歩で移動できる範囲) ・ほしい施設(中心市街地) ・人口減少や高齢化の影響・不安 ・市に期待する取り組み ・アイデア・提案

① 回答者属性

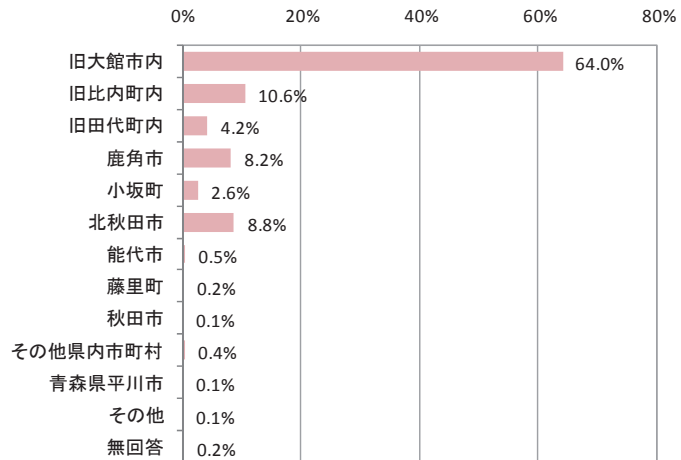
回答者数は1,871名である。

お住まいの住所は「旧大館市内」が64.0%で全体の6割以上を占めている。

現在の住所での居住年数は、約8割が10年以上となっている。

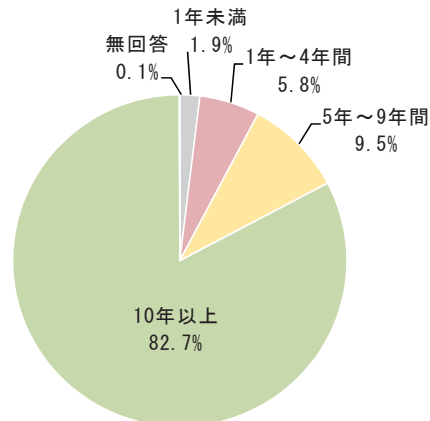
学年	回答数	構成比
一年生	605	32.3%
二年生	602	32.2%
三年生	662	35.4%
無回答	2	0.1%
計	1,871	100.0%

性別	回答数	構成比
男性	948	50.7%
女性	921	49.2%
無回答	2	0.1%
計	1,871	100.0%



※単一回答 n=1,871

<お住まいの住所>



※単一回答 n=1,871

<現住所での居住年数>

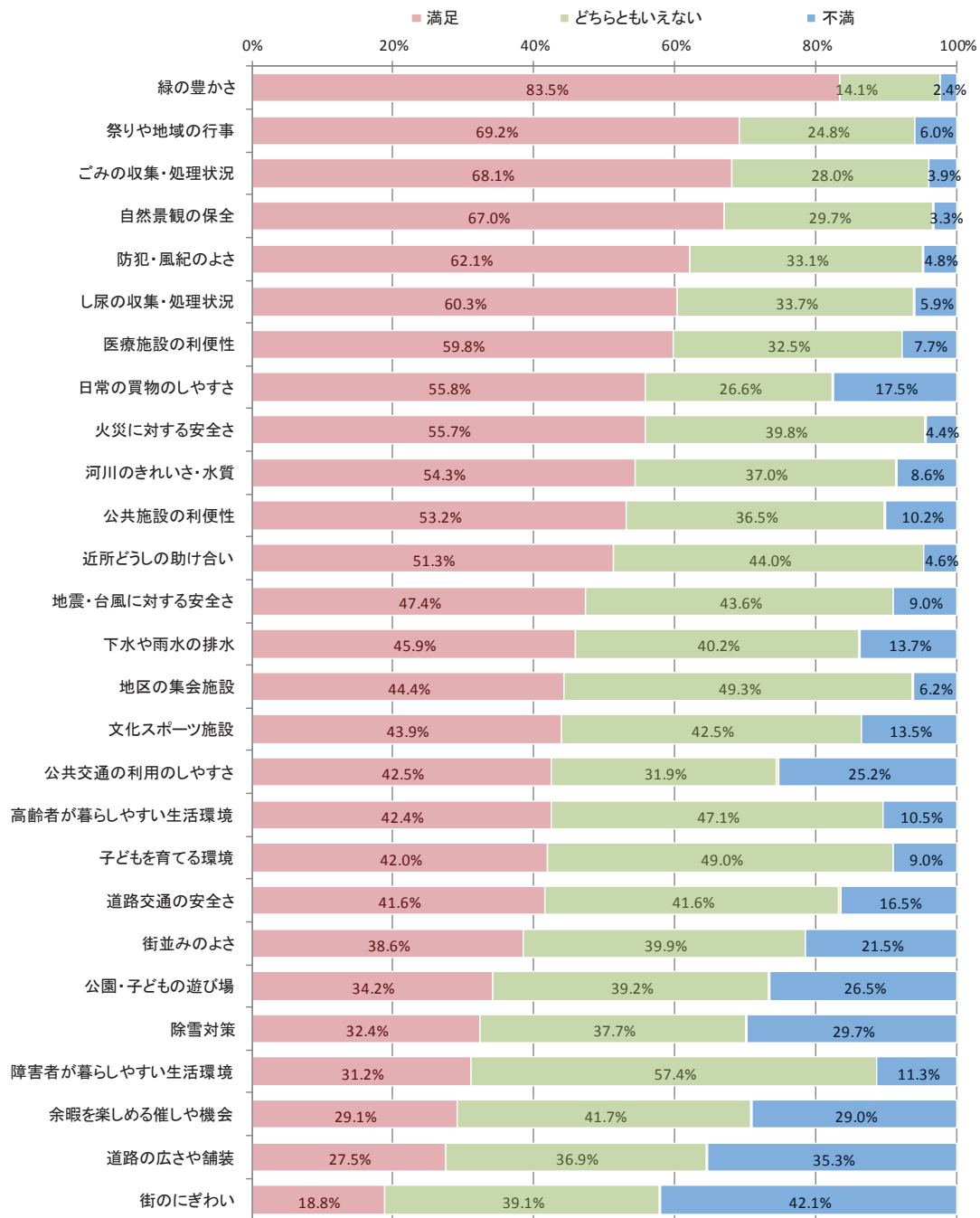
(2) 大館市の暮らしやすさ・過ごしやすさ

① 満足度

満足度が最も高いのは「緑の豊かさ」で83.5%となっている。他、6割以上の高校生が満足と感じている項目は「祭りや地域の行事」、「ごみの収集・処理状況」、「自然景観の保全」、「防犯・風紀のよさ」、「し尿の収集・処理状況」である。

不満度が最も高いのは「街のにぎわい」42.1%で、満足度の18.8%を大きく上回っている。

ついで不満度が高いのは「道路の広さや舗装」35.3%、「除雪対策」29.7%、「余暇を楽しめる催しや機会」29.0%となっている。

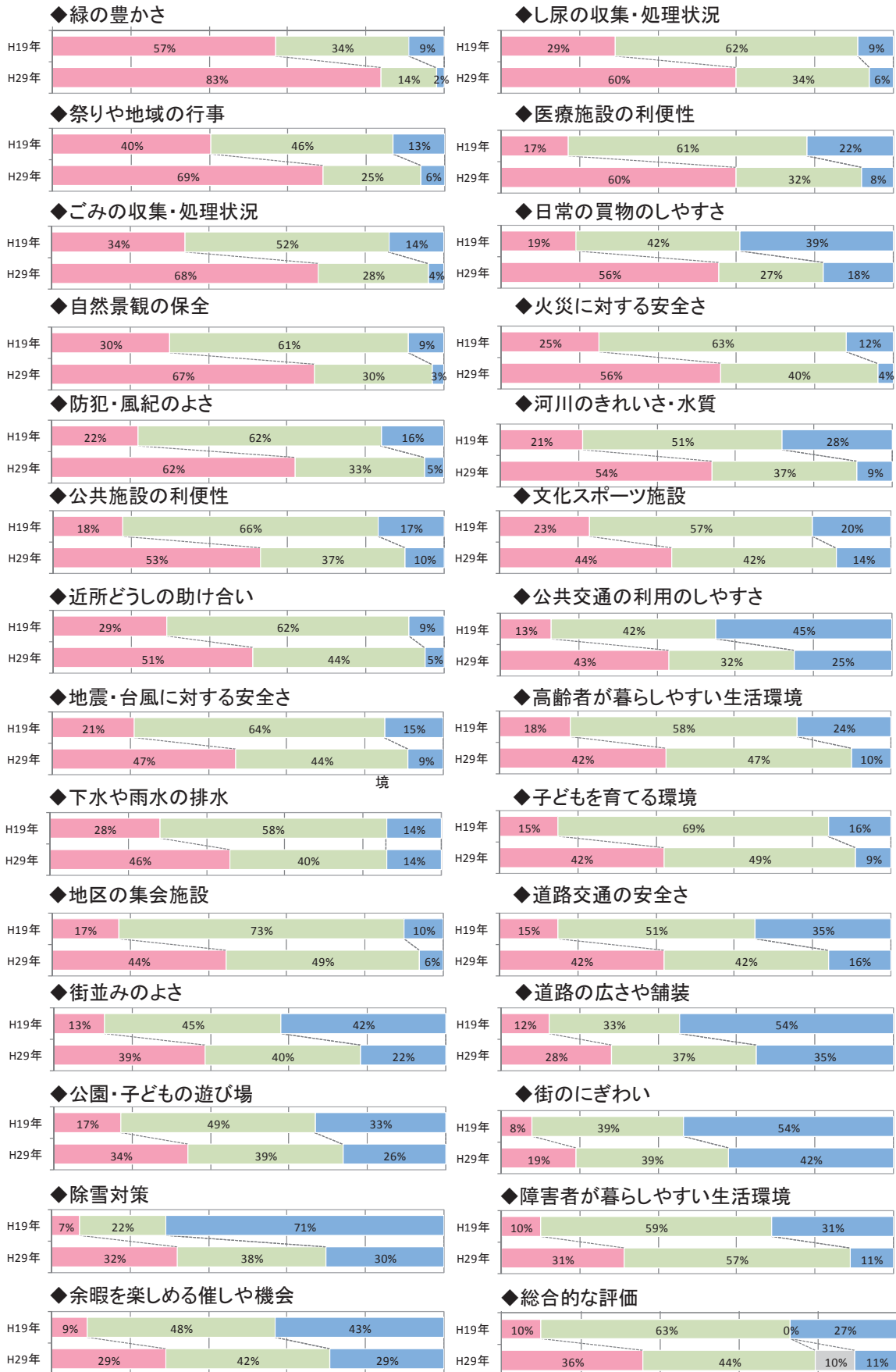


※単一回答 n=1,871

<暮らしやすさ・過ごしやすさの満足度>

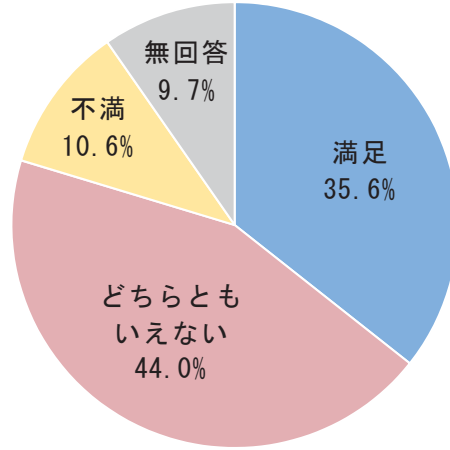
② 暮らしやすさの満足度（過年度比較）

■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 無回答 ■ 不満



③ 満足度の総合評価

大館市の暮らしやすさ・過ごしやすさについて、総合的に評価すると「満足」が 35.6%、「どちらともいえない」が 44.0%、「不満」が 10.6%となっている。



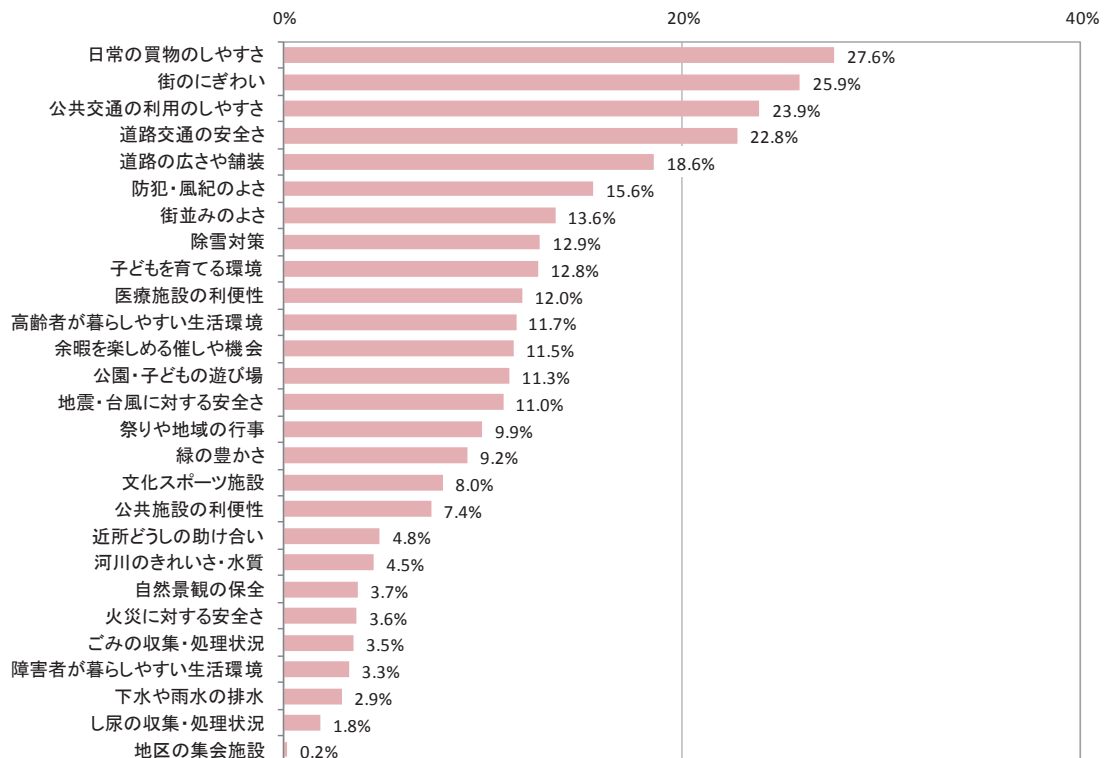
※単一回答 n=1,871

<満足度の総合評価>

④ 重視する暮らしやすさ

暮らしやすさ・過ごしやすさの指標として最も重視されているものは、「日常の買物のしやすさ」27.6%で、ついで「街のにぎわい」25.9%、「公共交通の利用のしやすさ」23.9%、「道路交通の安全さ」22.8%となっている。

まちに活気があること、日常の買い物や交通が便利であること、安全に移動できることなどが、暮らしやすいと感じる要素となっていると推測される。



※複数回答 n=1,871

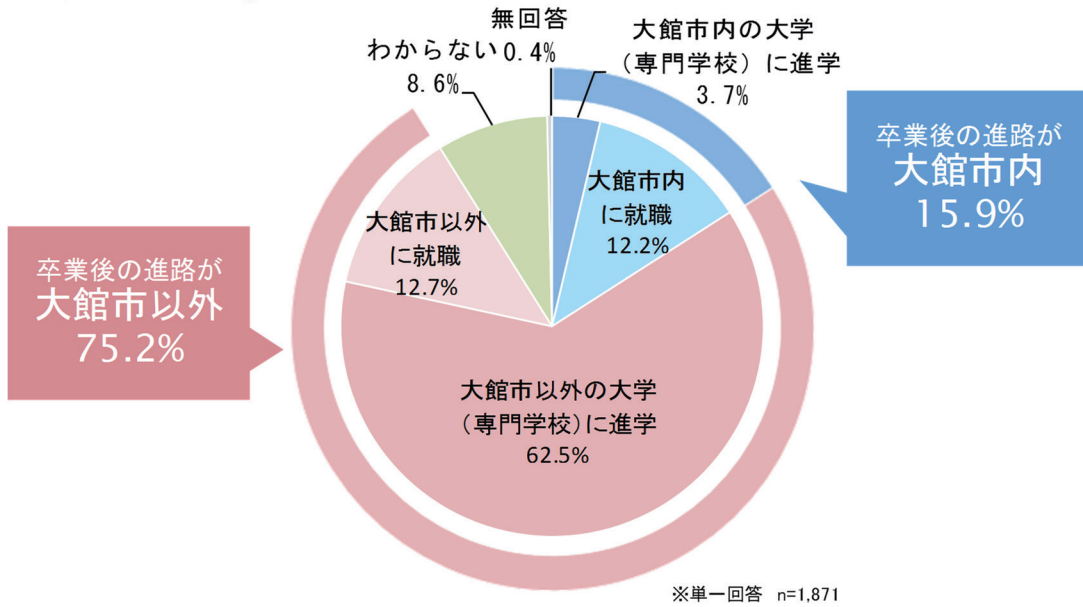
<重視する暮らしやすさ>

(3) 将来について

① 高校卒業後の進路

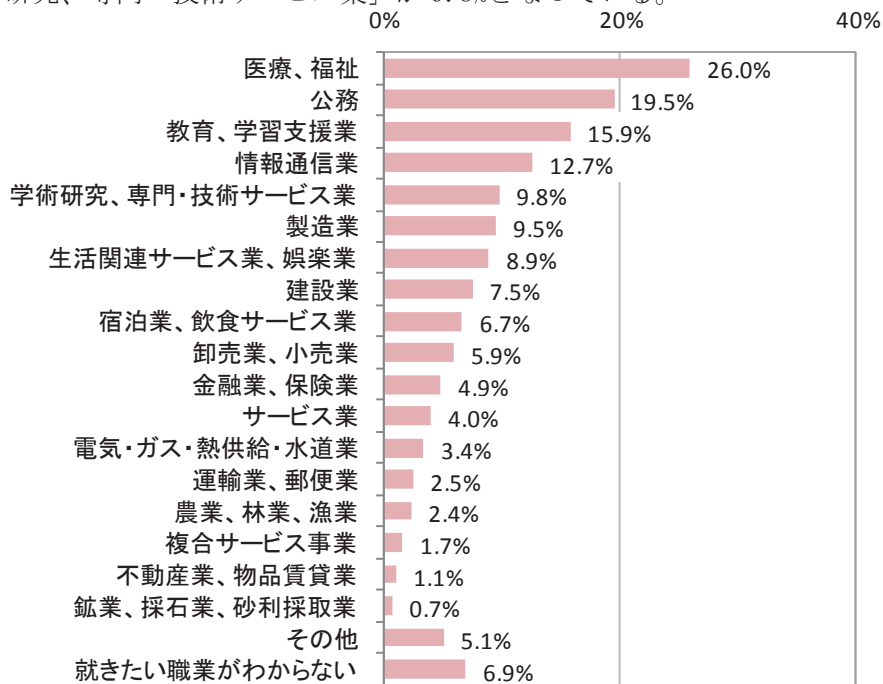
高校卒業後の進路で最も多いのは「大館市以外の大学（専門学校）に進学」で全体の約6割を占めている。

高校卒業後の進路が「大館市内」である高校生は15.9%、「大館市以外」である高校生は75.2%となっている。



② 就きたい職業

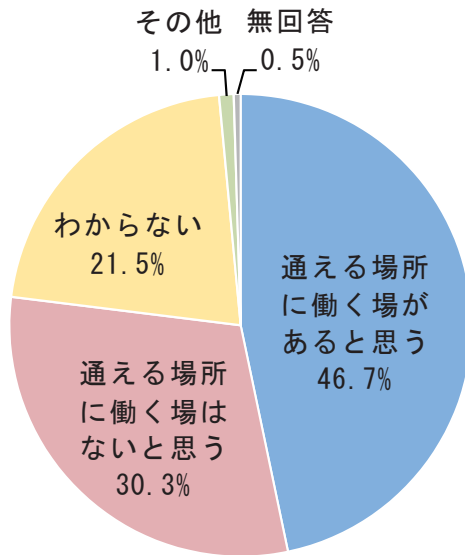
将来就きたい職業は「医療、福祉」が26.0%と最も多く、医師、歯科医師、薬剤師、保育士、介護福祉士、ホームヘルパーといった医療、福祉分野の職業への関心の高さがうかがえる。ついで「公務」が19.5%、「教育、学習支援業」が15.9%、「情報通信業」が12.7%、「学術研究、専門・技術サービス業」が9.8%となっている。



<将来就きたい職業>

③ 就きたい職業は大館市から通える範囲に働く場所があるか

就きたいと思う職業が大館市内、あるいは大館市から通える所にあるかどうかについては、「働く場所があると思う」が46.7%、「働く場所はないと思う」が30.3%となっている。

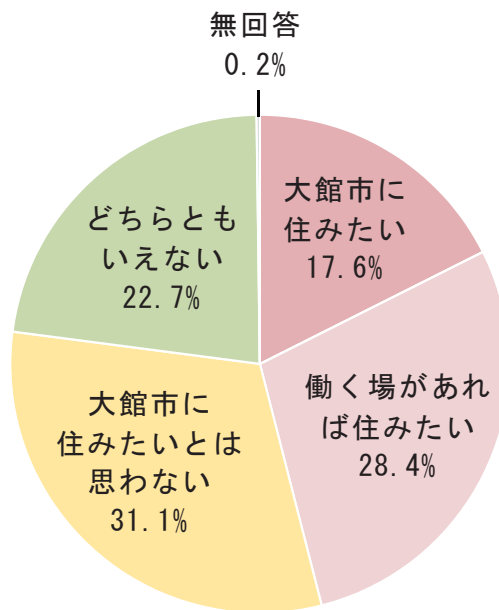


<大館市内や、大館市から通える所につきたい職業の働く場があるかどうか>

④ 社会人になったとき、結婚したときに大館市に住みたいか

「大館市に住みたい」「働く場所があれば住みたい」を合わせると、46.0%の高校生が「住みたい」と回答している。

「大館市に住みたいとは思わない」は31.1%、「どちらともいえない」は22.7%となっている。



<社会人になったときや、結婚したときに大館市に住みたいと思うか>

(4) 今後のまちづくりについて

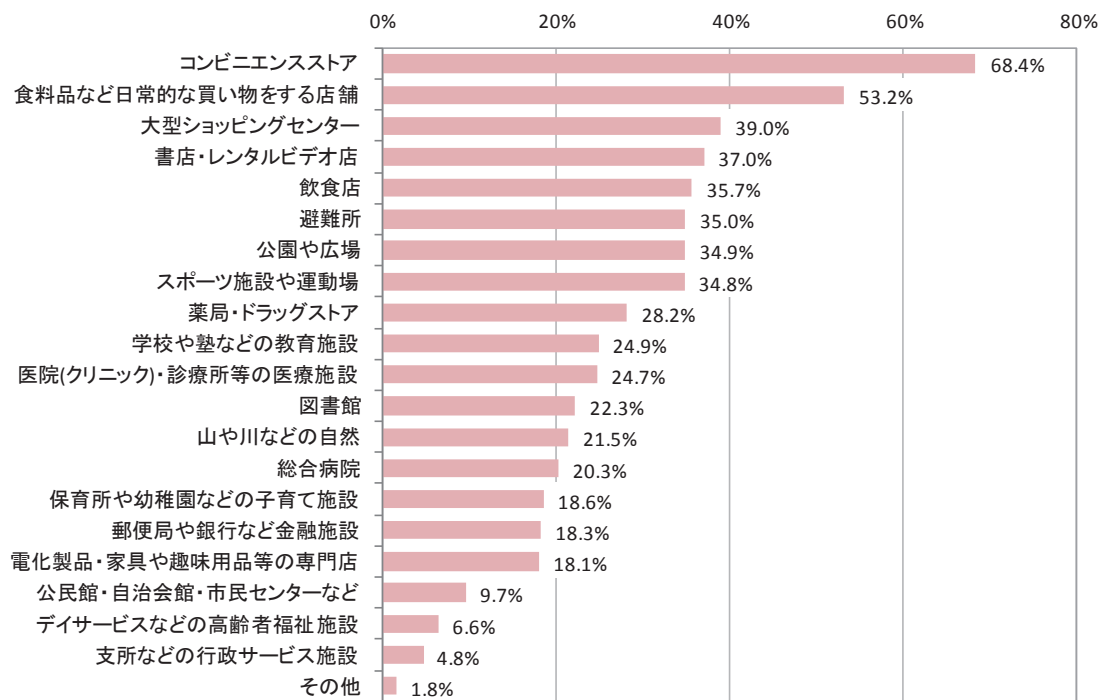
① ほしい施設

◆自宅から徒歩で移動できる範囲にほしい施設

最も自宅周辺でほしい施設は「コンビニエンスストア」で68.4%の高校生があるとよいと回答している。

ついで53.2%が「食料品など日常的な買い物をする店舗」と回答しており、日々の生活で必要な買い物をするための施設が近くに必要とされていることがわかる。

他には「大型ショッピングセンター」39.0%、「書店・レンタルビデオ店」37.0%、「飲食店」35.7%、「避難所」35.0%、「公園や広場」34.9%、「スポーツ施設や運動場」34.8%となっている。



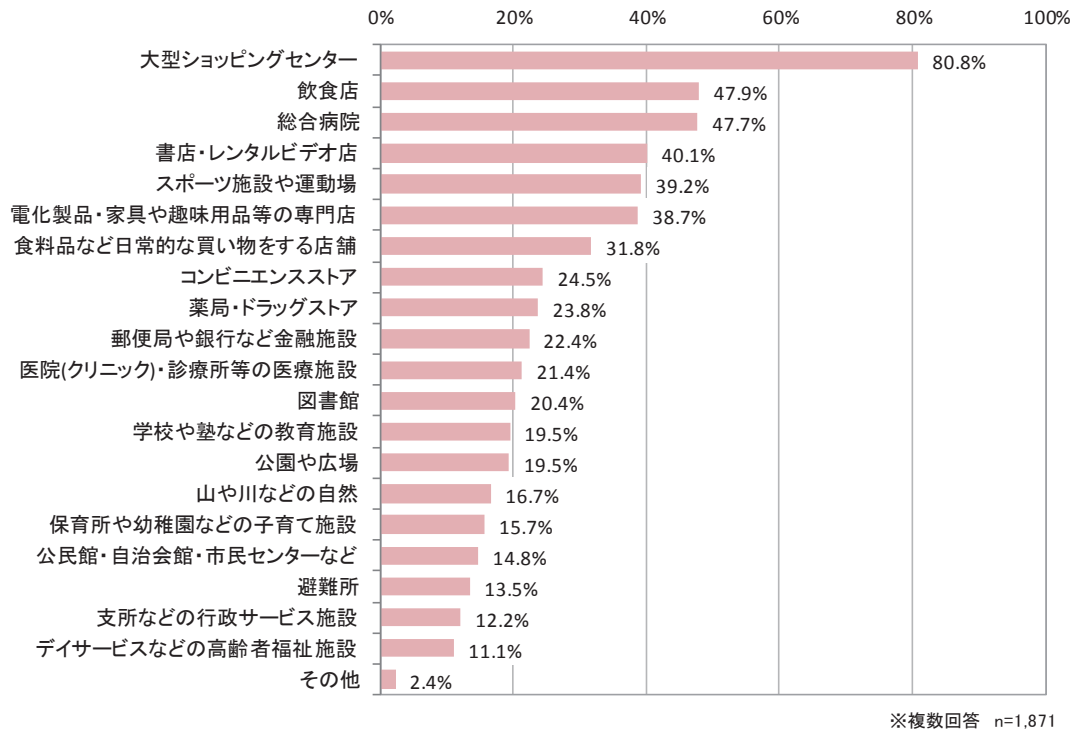
※複数回答 n=1,871

<自宅から徒歩で移動できる範囲にほしいと感じる施設>

◆自宅から公共交通機関を利用して行くことができる中心市街地にほしいと感じる施設

「大型ショッピングセンター」が80.8%となっており、8割以上の高校生がほしい施設と回答している。多くの高校生が中心市街地に買い物等を楽しめる施設を希望していることがわかる。

その他の施設として、「飲食店」47.9%、「総合病院」47.7%、「書店・レンタルビデオ店」40.1%が4割以上の回答となっている。

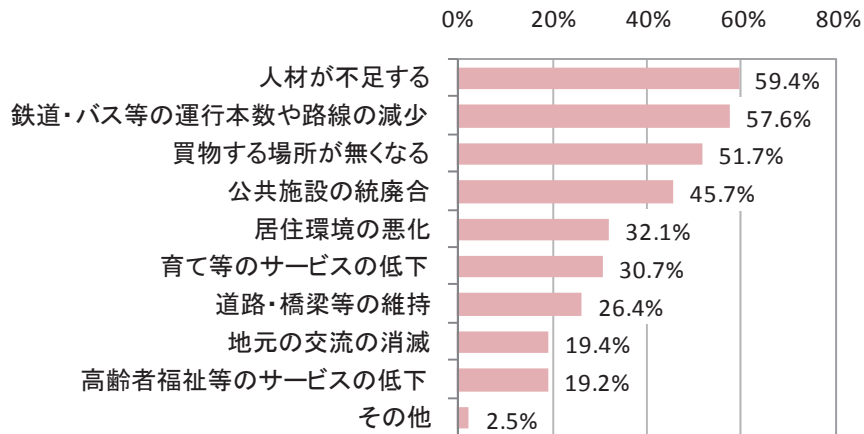


<自宅から公共交通機関を利用して行くことができる中心市街地にほしいと感じる施設>

② 人口減少や高齢化の影響・不安

「人材が不足する」との回答が最も多く、59.4%となっている。

他にも「鉄道・バス等の運行本数や路線の減少」57.6%、「買い物する場所が無くなる」51.7%といった現象に、半数以上の高校生が影響や不安を感じているようすがうかがえる。



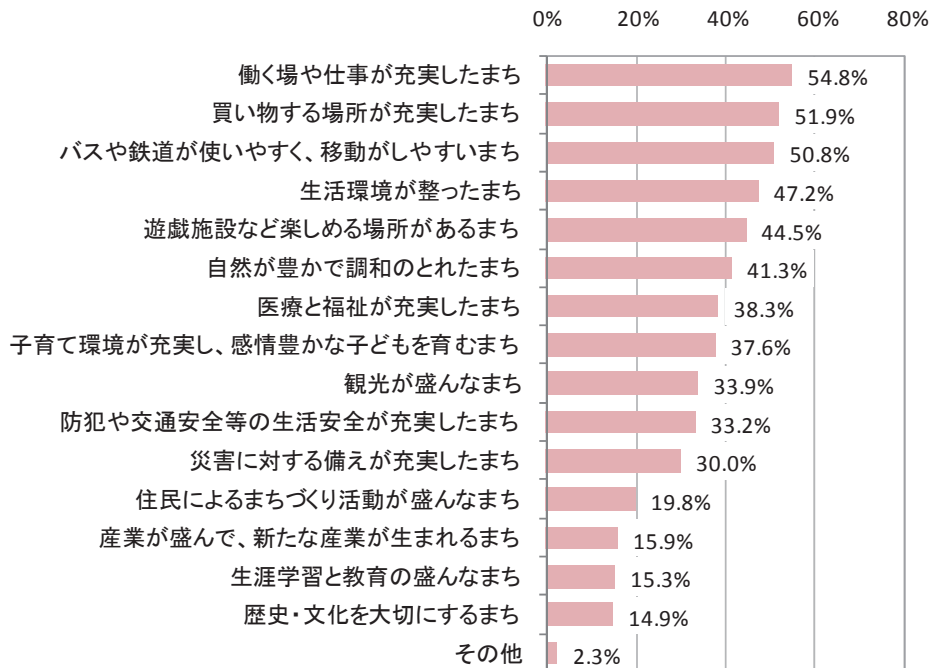
※複数回答 n=1,871

<人口減少や高齢化の進行により、どのような影響や不安を感じているか>

③ 市に期待する取り組み

「働く場や仕事が充実したまち」が54.8%と最も期待する取り組みとしてあげられている。

ついで「買い物する場所が充実したまち」が51.9%、「バスや鉄道が使いやすく、移動がしやすいまち」が50.8%、「生活環境が整ったまち」が47.2%とつづいている。



※複数回答 n=1,871

<市に期待する重点的な取り組み、まちづくりに期待すること>

④ アイデア・提案

- ・大館駅近くのシャッター商店街を今のままにしてほしくない。地域の学校と連携した商品の販売や秋田犬とふれあえる施設など地域の特色を生かしながら駅前を発展させてほしい。あの商店街にある店に客が入りにくいのは駐車場が少ないせいでもあると思う。旧ジャスコの土地を駐車場として開放すればいくらか客足が増えるのではないか。また、青森県五所川原のELMのように大型ショッピングモールを建てることによって地域が発展した例もある。過去に地域の発展に成功した街の例を参考に大館を盛り上げてもらいたい。
- ・まずアニメイトや映画館などが無いことが異常である。いくら大館市は田舎だとしてもそのぐらいの建物なら必要。パチンコ、老人ホームに金をかけているのならそのようなアニメ関連の建物を頼むから造ってほしい。そうすれば大館市から出る人は必ず少なくなると思うし大館に来る人が増えると思う。市民プールも潰してしまったから本当に活性化させたいのかわからない。
- ・大館市には優秀な人材がそろっていると思う。だから大館の魅力として絵画や農業そして大館を支えてくれるプロフェッショナル達の知名度を上げれば良いと思う。
- ・一番はいろいろな仕事を充実させた方がよいと思う。そのために若者が一番あるとうれしいと思える店を建てることだと思う。店で買い物する人もいて働く所も増えたらいいと思う。
- ・シャッター街が多く街並みは良いとはいえない。人が集まるような施設（遊び場や大館にしかない施設）を増やしていくべきだ。年寄りも大事だがそっちを優先しては人口減少を止めることはできない。もっと若い世代が活躍できる場や環境を整えてほしい。故郷であるからこそ消滅してほしくない。今すぐにでも取り組んでほしい。

3-4 アンケート調査票

(1) 一般市民アンケート

平成29年9月14日

各位

大館市長 福原 淳嗣
(公印省略)

快適に住み続けられる大館市の実現に向けたアンケート調査 ご協力をお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

わたしたちの暮らす大館市は、どんなまちだと思いますか？例えば、「自然豊かで美しいまち」、「人がやさしいまち」など、色々なイメージが浮かぶと思います。そんな大館市が、10年後、20年後の未来には「どんなまちになっていたらいいな」と想像しますか？

市では、少子高齢化や人口減少が進むなか、大館らしい暮らしを目指して、「都市計画マスタープラン」等の策定を予定しています。

そこで、みなさんのご意見を広くお聞きするために、無作為に抽出した市内の2,000人を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。調査結果をふまえて計画の策定を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

調査は無記名で、ご回答は統計的に処理しますので、ご協力いただきましたみなさまには、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠にお手数とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

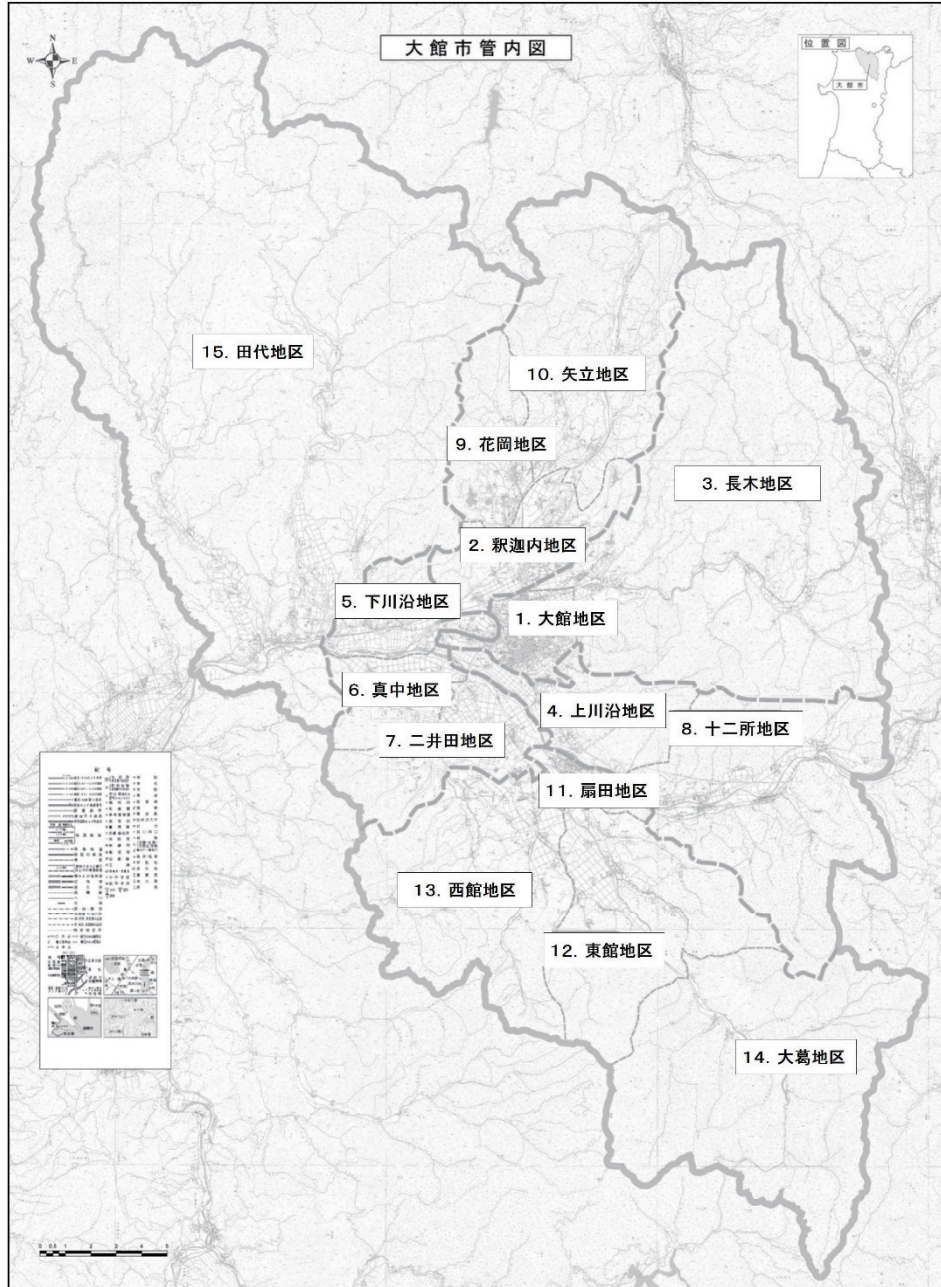
★ 調査票の記入・返送方法

1. この調査票は、なるべく宛名のご本人さまがお答えください。
2. お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。
なお、各問で「その他」にあてはまる場合は、お手数でも（ ）内に具体的に記入してください。
3. この調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成29年10月1日（日）までに返送してください。切手は不要です。

★この調査に関するお問合せやご不明な点は、担当までお気軽にご連絡ください。

【担当】大館市 都市計画課 都市整備係 藤島・渡部
TEL：0186-43-7082 FAX：0186-55-1018

大館市地区区分図



I あなたご自身のことについてお聞きします。

問1. あなたのお住まいはどちらですか？前頁の「大館市地区区分図」を参考にお住まいの地区を教えてください（○はひとつ）。

(旧大館市)		(旧比内町)	(旧田代町)
1. 大館地区	2. 釈迦内地区	11. 扇田地区	15. 田代地区
3. 長木地区	4. 上川沿地区	12. 東館地区	
5. 下川沿地区	6. 真中地区	13. 西館地区	
7. 二井田地区	8. 十二所地区	14. 大葛地区	
9. 花岡地区	10. 矢立地区		

問2. あなたの性別を教えてください（○はひとつ）。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問3. あなたの年齢はおいくつですか（○はひとつ）。

1. 18～19歳	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上

問4. あなたの職業を教えてください（○はひとつ）。

1. 会社員・公務員	2. 農家
3. 自営業	4. パート・アルバイト
5. 家事専業	6. 学生
7. 無職・年金	8. その他（具体的に： _____）

問5. 世帯人数と、世帯の構成について教えてください（○はひとつ）。

世帯人数：（ _____ ）人 ※数字をご記入ください。	
1. ひとり住まい	2. 自分達夫婦のみ
3. 二世帯（自分達夫婦と子ども）	4. 二世帯（自分達夫婦と親）
5. 二世帯（自分と子ども）	6. 二世帯（自分と親）
7. 三世帯	8. 自分と兄弟姉妹
9. その他（具体的に： _____）	

問6. 大館市での居住年数と、居住経験を教えてください（○はひとつ）。

大館市での居住年数：（約 _____）年 ※数字をご記入ください。	
1. 生まれてからずっと大館市に住んでいる	} 2～4を選んだ方は、居住していた市町村名をご記入ください。 （ _____ ）
2. 大館市の出身だが、市外での居住経験がある	
3. 県内の他の市町村出身である	
4. 県外の出身である	

問7. 大館市に住んでいる理由を教えてください（〇はいくつでも）。

1. 生家であるため	2. 職場に近い
3. 子供の学校に近い	4. 買い物の便が良い
5. バスや鉄道等の交通の便が良い	6. 家賃が安い
7. 上下水道等の生活基盤が整っている	8. 子供を育てる環境が良い
9. 医療施設や福祉施設等の便が良い	10. 親類等の家の近く
11. その他（ ）	

II あなたの生活・行動についてお聞きします。

問8. あなたの生活・行動について、主な行き先と交通手段をお聞かせください。

（選択肢から番号を1つ選んで記入し、不明・該当なしの場合は空欄としてください）

生活・行動の項目	①行き先 (番号1～29を記入)	②交通手段 (A～Hを記入)
(1) 通勤する地域		
(2) 通学する地域		
(3) 日用品の購入先		
(4) 外食へ出かける地域		
(5) 家電製品や家具、贈答品の購入先		
(6) 映画やコンサートなど、遊びに出かける地域		
(7) スポーツや屋外レクリエーションに出かける地域		
(8) 病院へ出かける地域		
(9) 福祉サービスを受けに行く地域		

選択肢①：行き先

(大館市内)	1. 大館地区	2. 釈迦内地区	3. 長木地区	4. 上川沿地区	5. 下川沿地区
	6. 真中地区	7. 二井田地区	8. 十二所地区	9. 花岡地区	10. 矢立地区
	11. 扇田地区	12. 東館地区	13. 西館地区	14. 大葛地区	15. 田代地区
(秋田県内)	16. 鹿角市	17. 小坂町	18. 北秋田市	19. 能代市	20. 藤里町
	21. 秋田市	22. その他県内市町村			
(他県内)	23. 青森市	24. 弘前市	25. 平川市	26. 青森県内その他市町村	
	27. 盛岡市	28. 岩手県内その他市町村		29. その他	

選択肢②：交通手段

A. 徒歩	B. 自転車	C. 原動機付自転車・バイク	D. 自家用車	E. タクシー
F. バス	G. 鉄道	H. その他		

Ⅲ 大館市での暮らしについてお聞きします。

問9. 大館市の暮らしやすさについて、満足度を選択して下さい（あてはまる数字に○）。

暮らしやすさ・過ごしやすさの項目	満足度		
	1. 満足	2. どちらとも いえない	3. 不満
例) 道路交通の安全性	1	2	3
1) 道路交通の安全性	1	2	3
2) 防犯・風紀のよさ	1	2	3
3) 火災に対する安全性	1	2	3
4) 地震・台風に対する安全性	1	2	3
5) 下水や雨水の排水	1	2	3
6) ごみの収集・処理状況	1	2	3
7) し尿の収集・処理状況	1	2	3
8) 河川のきれいさ・水質	1	2	3
9) 道路の広さや舗装	1	2	3
10) 除雪対策	1	2	3
11) 公園・子どもの遊び場	1	2	3
12) 緑の豊かさ	1	2	3
13) 公共交通の利用のしやすさ	1	2	3
14) 日常の買物のしやすさ	1	2	3
15) 医療施設の利便性	1	2	3
16) 公共施設の利便性	1	2	3
17) 地区の集会施設	1	2	3
18) 文化スポーツ施設	1	2	3
19) 祭りや地域の行事	1	2	3
20) 近所どうしの助け合い	1	2	3
21) 自然景観の保全	1	2	3
22) 街並みのよさ	1	2	3
23) 街のにぎわい	1	2	3
24) 余暇を楽しめる催しや機会	1	2	3
25) 子どもを育てる環境	1	2	3
26) 高齢者が暮らしやすい生活環境	1	2	3
27) 障害者が暮らしやすい生活環境	1	2	3

問10. 総合的な評価は？

1. 満足	2. どちらとも いえない	3. 不満
-------	------------------	-------

問11. あなたが重要視する暮らしやすさの項目は？（問9の1～27から3つ選択）

_____番	_____番	_____番
--------	--------	--------

問12. 大館市にこれからも住みたいと思いますか？(○はひとつ)

住みたい、転居を考えている理由についてもあわせてお聞かせください。

1. 住みたい	2. 将来、転居を考えている	3. どちらともいえない
---------	----------------	--------------

1を選んだ方へ：
住みたい理由(いくつでも)

- | |
|--|
| 1. 自然環境にめぐまれている
2. 地域での人間関係がよい
3. 買い物や生活に便利
4. 交通の便がよい、通勤・通学に便利
5. 子育て・教育の環境がよい
6. 保健・福祉・医療が充実している
7. 行政サービスが充実している
8. 住宅事情がよい
9. 治安がよい
10. まちのイメージがよい
11. 親や親戚が市内に住んでいる
12. 長年住んでいて愛着がある
13. 特に転居したいところがない
14. その他 () |
|--|

2を選んだ方へ：
転居を考えている理由(いくつでも)

- | |
|---|
| 1. 自然環境がよいくない
2. 地域での人間関係がよいくない
3. 買い物や生活に不便
4. 交通の便が悪い、通勤・通学に不便
5. 子育て・教育の環境がよいくない
6. 保健・福祉・医療が充実していない
7. 行政サービスがよいくない
8. 住宅事情がよいくない
9. 治安がよいくない
10. まちのイメージがよいくない
11. 親や親戚が市外に住んでいる
12. 働く場がない
13. 仕事・学校・家庭の事情
14. その他 () |
|---|

問13. 大館市内で、住みやすそうだと感じる場所はどのような場所ですか？(○はひとつ)

理由も合わせてお聞かせください。

1. 駅や公共施設が近いエリア	2. 閑静な住宅街エリア
3. 田畑が近くにある農村エリア	4. 現在住んでいるエリアが最も住みやすい
5. その他 ()	
(その理由)	

問14. 自宅から徒歩で移動出来る範囲にあるとよいと感じる施設はどのような施設ですか？
(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 食料品など日常的な買い物をする店舗 | 2. コンビニエンスストア |
| 3. 大型ショッピングセンター | 4. 電化製品・家具や趣味用品等の専門店 |
| 5. 薬局・ドラッグストア | 6. 書店・レンタルビデオ店 |
| 7. 郵便局や銀行など金融施設 | 8. 飲食店 |
| 9. 総合病院 | 10. 医院(クリニック)・診療所等の医療施設 |
| 11. デイサービスなどの高齢者福祉施設 | 12. 保育所や幼稚園などの子育て施設 |
| 13. 学校や塾などの教育施設 | 14. 公民館・自治会館・市民センターなど |
| 15. 図書館 | 16. スポーツ施設や運動場 |
| 17. 公園や広場 | 18. 山や川などの自然 |
| 19. 避難所 | 20. 支所などの行政サービス施設 |
| 21. その他 () | |

問15. 自宅から、公共交通機関を利用して行くことが出来る中心市街地にあればよいと感じる施設はどのような施設ですか？ (〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 食料品など日常的な買い物をする店舗 | 2. コンビニエンスストア |
| 3. 大型ショッピングセンター | 4. 電化製品・家具や趣味用品等の専門店 |
| 5. 薬局・ドラッグストア | 6. 書店・レンタルビデオ店 |
| 7. 郵便局や銀行など金融施設 | 8. 飲食店 |
| 9. 総合病院 | 10. 医院(クリニック)・診療所等の医療施設 |
| 11. デイサービスなどの高齢者福祉施設 | 12. 保育所や幼稚園などの子育て施設 |
| 13. 学校や塾などの教育施設 | 14. 公民館・自治会館・市民センターなど |
| 15. 図書館 | 16. スポーツ施設や運動場 |
| 17. 公園や広場 | 18. 山や川などの自然 |
| 19. 避難所 | 20. 支所などの行政サービス施設 |
| 21. その他 () | |

問16. 人口減少や高齢化の進行により、どのような影響や不安を感じていますか？

(〇はいくつでも)

- 1. 居住環境の悪化 (空き家や空き地が増え、居住環境が悪くなる)
- 2. 人材が不足する (働き手の減少により、人材不足になる)
- 3. 公共施設の統廃合 (病院や小中学校、図書館等の公共施設が統廃合される)
- 4. 地元の交流の消滅 (自治会等の地域の交流が希薄になる)
- 5. 道路・橋梁等の維持 (道路、橋梁、公園、上下水道等の維持・更新への不安)
- 6. 買物する場所が無くなる (売上減少により、商業施設の撤退など)
- 7. 子育て等のサービスの低下 (利用者減少により、子育て施設の撤退など)
- 8. 高齢者福祉等のサービスの低下 (利用者減少により、福祉施設の撤退など)
- 9. 鉄道・バス等の運行本数や路線の減少 (運行本数や路線数が少なくなる)
- 10. その他 ()

問17. 施設や機能のあり方について、どんなまちを目指したいかお聞かせください (〇はひとつ)。

- 1. 例えば市役所周辺など、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち
- 2. 比内・田代をはじめ市内の各所に主要な施設があり、住んでいる地域のなかで、ある程度の用事が済ませられるまち
- 3. 近所の集会所などに、本の貸し借りコーナー・ミニ直売所・お茶飲みスペースなど複数の機能があり、近場でちょっとした用事が済ませられるまち

(その理由)

IV 移動のしやすさ・公共交通についてお聞きします。

問18. あなたは、自動車免許を持っていますか（○はひとつ）。

- 1. 免許があり、運転に支障はない
- 2. 免許はあるが、運転に不安があり運転を控えている
- 3. 免許はあるが、返納を考えている
- 4. 免許をすでに返納した
- 5. 免許を取得していない



問18で、1～3を選んだ方にお聞きします。
あなたは、自動車を持っていますか（○はひとつ）。

- 1. いつでも自由に使える車がある
- 2. ある程度は自由に使える車がある
- 3. 自由に使える車はない

問19. 最寄りの駅・バス停まで、徒歩によるおおよかな所要時間を教えてください。

最寄りの駅まで、歩いて（ ）分程度
最寄りのバス停まで、歩いて（ ）分程度

問20. 外出時の移動手段について、困っていると感じることはありますか（○はひとつ）。
また、その理由について教えてください。

- 1. 移動手段について、たいへん困っている
- 2. 移動手段について、たまに困ることがある
- 3. 今は困っていないが、近い将来（5年程度）困る可能性がある

4. 当面困らない



1～3を選んだ方へ：
困ったときにはどのように対処しますか。

- 1. タクシーを利用する
- 2. 家族や、知り合いなどに送迎してもらう
- 3. 不便だが、電車・バスなどの公共交通機関を利用する
- 4. 徒歩または自転車で移動する
- 5. その他（具体的に）
（ ）

4を選んだ方へ：
当面困らない理由を教えてください。

- 1. 自分で運転を続けていくつもりだから
- 2. 電車やバス、タクシーなどを利用すれば日常生活に支障はないから
- 3. 送迎を気軽に頼める家族や知り合いがいるから
- 4. その他（具体的に）
（ ）

問2 1. 現在自家用車を利用している方も、10年後、20年後には運転がむずかしくなっていくことが予想されます。今後、バスや鉄道といった公共交通へ求めることをお聞かせください（〇はいくつでも）。

- 1. 運行本数が多く、使いやすい公共交通であること
- 2. 生活に合った時間帯に運行し、早い始発便、遅い最終便であること
- 3. まち周辺部、郊外など、集落をきめ細かく運行すること
- 4. 目的地へ1本で行けること
- 5. バスと鉄道、バス同士の乗り継ぎが便利であること
- 6. 高額すぎない運賃設定であること

(その他、公共交通へ求めることを具体的にお聞かせください)

V 今後のまちづくりについてお聞きします。

問22. 大館市に期待する重点的な取り組みや、まちづくりに期待することを教えてください
(〇はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 生活環境が整ったまち | 2. 自然が豊かで調和のとれたまち |
| 3. 歴史・文化を大切にすまち | 4. 遊戯施設など楽しめる場所があるまち |
| 5. 働く場や仕事が充実したまち | 6. 医療と福祉が充実したまち |
| 7. 観光が盛んなまち | 8. 生涯学習と教育の盛んなまち |
| 9. 買い物する場所が充実したまち | 10. 防犯や交通安全等の生活安全が充実したまち |
| 11. 災害に対する備えが充実したまち | 12. バスや鉄道が使いやすく、移動がしやすいまち |
| 13. 産業が盛んで、新たな産業が生まれるまち | |
| 14. 子育て環境が充実し、感情豊かな子どもを育むまち | |
| 15. 住民によるまちづくり活動が盛んなまち | |
| 16. その他 () | |

問23. 今後、大館市ではどのような就業の場の確保が望ましいと思いますか (〇はいくつでも)。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 6次産業化など、暮らしを支える農林業を推進する |
| 2. 新技術、新商品開発を目指し、資源や技術を活かした商工業を推進する |
| 3. 市内で働く人が増えるよう、地元就職の仕組みづくりを推進する |
| 4. その他 () |

問24. まちづくりへの参加について、基本的な意向をお聞きします (〇はひとつ)。

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| 1. 率先して参加したい | 2. 都合が合えば参加したい | 3. 参加したいとは思わない |
|--------------|----------------|----------------|

問25. まちづくりについて、興味があることや関わってみたいと感じることをお聞かせください。
(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 問題や困ったことに関する日常的な情報提供 |
| 2. アンケート調査などを通じた意見の提供 |
| 3. 住民懇談会への参加などによる意見の提供 |
| 4. 行政が主催する美化活動等への参加協力 |
| 5. 住民主導によるまちづくりへの参画 |
| 6. 道路や公園等の公共施設の維持運営 |
| 7. その他 () |

問26. 今後の暮らし方やまちづくりについて、ご意見・ご要望がありましたら、何でも結構ですのでご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。
このアンケートの結果は、市民のみなさまの貴重なご意見として、今後のまちづくりに反映させていきたいと思いをます。ご協力ありがとうございました。

(2) 高校生アンケート

快適に住み続けられる大館市の実現に向けたアンケート調査 ご協力をお願い

わたしたちの暮らす大館市は、どんなまちだと思いますか？例えば、「自然豊かで美しいまち」、「人がやさしいまち」など、色々なイメージが浮かぶと思います。そんな大館市が、10年後、20年後の未来には「どんなまちになっていたらいいな」と想像しますか？

市では、少子高齢化や人口減少が進むなか、大館らしく暮らしていくためのまちづくりを目指し、「都市計画マスタープラン」等の策定を予定しています。

そこで、みなさんのご意見を広くお聞きするために、アンケート調査を実施することといたしました。調査結果をふまえて計画の策定を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

(調査は無記名で、ご回答は統計的に処理いたします)

I あなたについてお聞きします。

問1. あなたは何年生ですか(○はひとつ)。

1. 一年生 2. 二年生 3. 三年生

問2. あなたの性別を教えてください(○はひとつ)。

1. 男性 2. 女性

問3. お住まいのご住所を教えてください(○はひとつ)。

(大館市内) 1. 旧大館市内 2. 旧比内町内 3. 旧田代町内
(秋田県内) 4. 鹿角市 5. 小坂町 6. 北秋田市 7. 能代市 8. 藤里町
9. 秋田市 10. その他県内市町村
(県外) 11. 青森市 12. 弘前市 13. 平川市 14. 青森県内その他市町村
15. 盛岡市 16. 岩手県内その他市町村 17. その他()

問4. 現在のご住所に住んでどのくらい経ちますか？(○はひとつ)。

1. 一年未満 2. 一年～四年間 3. 五年～九年間 4. 十年以上

Ⅱ 大館市の暮らしやすさ・過ごしやすさについてお聞きます。

問5. 大館市の高校に通っていて感じる暮らしやすさ・過ごしやすさについて、満足度を選択して下さい（あてはまる数字に○）。

暮らしやすさ・過ごしやすさの項目	満足度		
	1. 満 足	2. どちらとも いえない	3. 不 満
例) 道路交通の安全性	1	2	3
1) 道路交通の安全性	1	2	3
2) 防犯・風紀のよさ	1	2	3
3) 火災に対する安全性	1	2	3
4) 地震・台風に対する安全性	1	2	3
5) 下水や雨水の排水	1	2	3
6) ごみの収集・処理状況	1	2	3
7) し尿の収集・処理状況	1	2	3
8) 河川のきれいさ・水質	1	2	3
9) 道路の広さや舗装	1	2	3
10) 除雪対策	1	2	3
11) 公園・子どもの遊び場	1	2	3
12) 緑の豊かさ	1	2	3
13) 公共交通の利用のしやすさ	1	2	3
14) 日常の買物のしやすさ	1	2	3
15) 医療施設の利便性	1	2	3
16) 公共施設の利便性	1	2	3
17) 地区の集会施設	1	2	3
18) 文化スポーツ施設	1	2	3
19) 祭りや地域の行事	1	2	3
20) 近所どうしの助け合い	1	2	3
21) 自然景観の保全	1	2	3
22) 街並みのよさ	1	2	3
23) 街のにぎわい	1	2	3
24) 余暇を楽しめる催しや機会	1	2	3
25) 子どもを育てる環境	1	2	3
26) 高齢者が暮らしやすい生活環境	1	2	3
27) 障害者が暮らしやすい生活環境	1	2	3

問6. 総合的な評価は？

1. 満足	2. どちらとも いえない	3. 不満
-------	------------------	-------

問7. あなたが重要視する暮らしやすさの項目は？（問5の1～27から3つ選択）

_____番	_____番	_____番
--------	--------	--------

Ⅲ あなたの将来についてお聞きします。

問8. あなたの高校卒業後の進路についてお聞かせください(○はひとつ)。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 大館市内の大学(専門学校)に進学 | 2. 大館市内に就職 |
| 3. 大館市以外の大学(専門学校)に進学 | 4. 大館市以外に就職 |
| 5. わからない | |

問9. 将来就きたい職業についてお聞かせください(○はいくつでも)。

- | |
|--|
| 1. 農業、林業、漁業(稲作、比内地鶏、天然秋田スギ、えだまめなどの農林業) |
| 2. 鉱業、採石業、砂利採取業(鉱物などの地下資源、石材の採掘) |
| 3. 建設業(大工、建築業、住宅や色々な建物の設計、ガーデニング、土木工事業など) |
| 4. 製造業(食料品や製品をつくる工場、曲げわっぱなど伝統工芸、メーカー、印刷業など) |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業(電気店、自家発電の事業所、プロパンガス店など) |
| 6. 不動産業、物品賃貸業(不動産・土地売買業、レンタカー業など) |
| 7. 情報通信業(SE、プログラマー、ゲーム関係、マスコミ、出版業、映像制作など) |
| 8. 運輸業、郵便業(運送・宅配業、鉄道やバス・トラック運転手、パイロットなど) |
| 9. 卸売業、小売業(デパートやスーパーの販売員、接客員、商社など) |
| 10. 金融業、保険業(銀行員、証券会社員、生命保険会社員など) |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業(研究者、弁護士、税理士、服飾・インテリアデザイン、芸術家、写真家、広告業、獣医など) |
| 12. 宿泊業、飲食サービス業(旅館やホテル、レストラン、カフェなど) |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業(美容師、エステティシャン、ネイリスト、旅行会社、結婚式場、映画館関連、遊園地など) |
| 14. 教育、学習支援業(教師、幼稚園、塾講師、大学教授など) |
| 15. 医療、福祉(医師・歯科医師・薬剤師、保育士、介護福祉士、ホームヘルパーなど) |
| 16. サービス業(自動車整備業、機械修理業、警備業、ごみ処分業、廃棄物処理業など) |
| 17. 公務(市町村・県職員、国家公務員、警察官、消防士、自衛官など) |
| 18. 複合サービス事業(郵便局員、農協組合など) |
| 19. その他() |
| 20. 就きたい職業がわからない |

問10. 将来就きたいと思っている職業は、大館市内や大館市から通えるところに働き場がありますか?(○はひとつ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 大館市内や、大館市から通える場所に働く場があると思う |
| 2. 大館市内や、大館市から通える場所に働く場はないと思う |
| 3. わからない |
| 4. その他() |

問1 1. 将来、社会人になったり、結婚したときなどに、大館市に住みたいと思いますか？

(○はひとつ)

住みたい理由、住みたいと思わない理由もあわせてお聞かせください。

1. 大館市に住みたい	2. 働く場があれば住みたい
3. 大館市に住みたいとは思わない	4. どちらともいえない
(なぜこの選択肢を選んだか、理由をお聞かせください)	

IV 今後のまちづくりについてお聞きします。

問1 2. 自宅から徒歩で移動出来る範囲にあるとよいと感じる施設はどのような施設ですか？

(○はいくつでも)

1. 食料品など日常的な買い物をする店舗	2. コンビニエンスストア
3. 大型ショッピングセンター	4. 電化製品・家具や趣味用品等の専門店
5. 薬局・ドラッグストア	6. 書店・レンタルビデオ店
7. 郵便局や銀行など金融施設	8. 飲食店
9. 総合病院	10. 医院(クリニック)・診療所等の医療施設
11. デイサービスなどの高齢者福祉施設	12. 保育所や幼稚園などの子育て施設
13. 学校や塾などの教育施設	14. 公民館・自治会館・市民センターなど
15. 図書館	16. スポーツ施設や運動場
17. 公園や広場	18. 山や川などの自然
19. 避難所	20. 支所などの行政サービス施設
21. その他 ()	

問13. 自宅から、公共交通機関を利用して行くことが出来る中心市街地にあればよいと感じる施設はどのような施設ですか？（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 食料品など日常的な買い物をする店舗 | 2. コンビニエンスストア |
| 3. 大型ショッピングセンター | 4. 電化製品・家具や趣味用品等の専門店 |
| 5. 薬局・ドラッグストア | 6. 書店・レンタルビデオ店 |
| 7. 郵便局や銀行など金融施設 | 8. 飲食店 |
| 9. 総合病院 | 10. 医院(クリニック)・診療所等の医療施設 |
| 11. デイサービスなどの高齢者福祉施設 | 12. 保育所や幼稚園などの子育て施設 |
| 13. 学校や塾などの教育施設 | 14. 公民館・自治会館・市民センターなど |
| 15. 図書館 | 16. スポーツ施設や運動場 |
| 17. 公園や広場 | 18. 山や川などの自然 |
| 19. 避難所 | 20. 支所などの行政サービス施設 |
| 21. その他 () | |

問14. 人口減少や高齢化の進行により、どのような影響や不安を感じていますか？（〇はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 居住環境の悪化（空き家や空き地が増え、居住環境が悪くなる） |
| 2. 人材が不足する（働き手の減少により、人材不足になる） |
| 3. 公共施設の統廃合（病院や小中学校、図書館等の公共施設が統廃合される） |
| 4. 地元の交流の消滅（自治会等の地域の交流が希薄になる） |
| 5. 道路・橋梁等の維持（道路、橋梁、公園、上下水道等の維持・更新への不安） |
| 6. 買物する場所が無くなる（売上減少により、商業施設の撤退など） |
| 7. 子育て等のサービスの低下（利用者減少により、子育て施設の撤退など） |
| 8. 高齢者福祉等のサービスの低下（利用者減少により、福祉施設の撤退など） |
| 9. 鉄道・バス等の運行本数や路線の減少（運行本数や路線数が少なくなる） |
| 10. その他 () |

問15. 大館市に期待する重点的な取り組みや、まちづくりに期待することを教えてください
(〇はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 生活環境が整ったまち | 2. 自然が豊かで調和のとれたまち |
| 3. 歴史・文化を大切にすまち | 4. 遊戯施設など楽しめる場所があるまち |
| 5. 働く場や仕事が充実したまち | 6. 医療と福祉が充実したまち |
| 7. 観光が盛んなまち | 8. 生涯学習と教育の盛んなまち |
| 9. 買い物する場所が充実したまち | 10. 防犯や交通安全等の生活安全が充実したまち |
| 11. 災害に対する備えが充実したまち | 12. バスや鉄道が使いやすく、移動がしやすいまち |
| 13. 産業が盛んで、新たな産業が生まれるまち | |
| 14. 子育て環境が充実し、感情豊かな子どもを育むまち | |
| 15. 住民によるまちづくり活動が盛んなまち | |
| 16. その他 () | |

問16. 大館市における今後の暮らし方やまちづくりについて、アイデアやご提案がありましたら、
ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

【資料編】

第4章

市民ワークショップ 開催結果

第4章

市民ワークショップ開催結果

各ワークショップの開催日、及びテーマは下記の通りです。

回	年月日	テーマ
第1回	2017（平成29）年 11月3日（金・祝）	「まちづくりについて知ろう！」
第2回	2018（平成30）年 2月1日（木）	「自分の暮らす地域の特徴を知り、目指す姿を考えよう！」
第3回	2018（平成30）年 5月15日（火）	「地域と地域のつながりについて考えよう！」
第4回	2018（平成30）年 8月4日（土）	「地域で実現してみたいことを考えよう！」
第5回	2018（平成30）年 11月10日（土）	「実現のために意識することを考えよう！！」

4-1 第1回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」

第1回 ワンだフル！おおだて（大館市市民ワークショップ）

日 時：2017（平成29）年11月3日（金・祝） 13：00～16：00

場 所：中央公民館

◆テーマ

「まちづくりについて知ろう！」

目 的）・まちづくりの背景を知り、市が目指す姿を共有し意識を高める。

・交通の現状と課題を整理し、移動の問題点を洗い出す。

到達点）・地域公共交通網形成計画に反映できるよう、交通に関する課題、市内の移動に関する問題点を共有する。

◆次 第

【第1部 講演】

13：00～13：10 事務局あいさつ

大館市役所建設部都市計画課 課長

13：10～14：15 講演

「まち育てに必要な覚悟とは」

講師 北原啓司 教授（弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長）

14：15～14：30 会場レイアウト変更

【第2部 ワークショップ】

14：30～14：45 事務局紹介、概要説明

14：45～16：00 ワークショップ

・参加者総数 36名

・事務局 大館市役所：8名

協和コンサルタンツ：4名

◆開催記録

【第1部】

■講演（13：00～14：15）

「まち育てに必要な覚悟とは」

講師 北原 啓司 教授（弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長）

- ◇ 都市計画とは ～まちを「つくる」人とまちを「たべる」人～
- ◇ コンパクトシティって？
- ◇ 地方都市の中山間地とコンパクトシティ
- ◇ 真のコンパクトシティ政策における「まち育て」

【第2部】

■ワークショップ（14：30～16：00）

- ◇ PPTを用いて、まちづくりに関する市の考え方、ワークショップの背景や目的を説明。
- ◇ 各ラウンド（約15～20分）について、テーマやメンバーを変えながら意見交換。
 - ・ラウンド1「公共交通や移動、地域での生活で、困っていることを話してみよう①」
 - ・ラウンド2「公共交通や移動、地域での生活で、困っていることを話してみよう②」
 - ・ラウンド3「今、自分にできる【覚悟】って何だろう？」
- ◇ 話し合いの内容は、各テーブルに用意した大館市全域マップへ自由に書き込む。
- ◇ 最後に、各班で話し合った「覚悟」について紹介を行う。

■各班発表（話し合った【覚悟】を1つ紹介）	
1班	・非常にかわいい覚悟だが、バスについて。これからは「バス、乗ってみましょう」という覚悟を決めた。
2班	・地域資源に着目し、地域が起爆剤となればよい。その勢いが、大町などの中心部へ広がるイメージをもち、ブログやSNSで発信する。 ・今は、ただ景色などがきれいなだけでは次につながらない。人々や筆者の想像力、歴史を活かし、ストーリーを描くことが重要となる。
3班	・先立つリーダーや、ボランティア精神が必要。魅力ある集客のまちづくり。 ・大手企業を、あと1～2社誘致する。
4班	・高齢化社会に対応するには、バス活用の方策が必要。高齢者がバスを利用できるような、行政の工夫が求められる。 ・国道7号や花輪線沿線は動きやすいが、そこから外れたエリアのケアが重要。あじさいの小さな花も大切にしていく。
5班	・乗り合いバスの株主になっては、という案も出たが、結局「誰がやるのか？」という話になる。若い人がどのように考えるか、話し合ったがぐるぐるとまとまらなかった。 ・免許を返納し、事故を起こさない安全なまちを目指し、歩きやすいまちをつくって楽しく生活することを目指したいという話をした。
6班	・バス路線のニーズが合っているのかが疑問。車世代はどうなるのか？今の公共交通のあり方を、今のうちにニーズへ近づけていくことが必要。
7班	・子どもの世代を守る覚悟を決めた。免許返納後の不安、どのように守っていくかについて考えることが必要。

◆意見まとめ

【1班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
10年、20年後人口減少→ウーバー（UBER：配車サービス）
バス停寒くないかな
バスって高い
バスの乗り降りの段差が、老人につらい
ちっちゃいマイクロバスがあったらいい
バスにあまり人が乗ってない
前払いバス（ハチ公バス）
バス料金が乗る前に分かれば。時間が分からない。（分かりづらい）
終バスが早い。夜のバスもあれば。（短距離夜行バス？）
週末深夜バスほしい
バス待ちに、駅に図書館があったらいいかも
盛岡はイオン自前のバスがある
駅の駐車場が不便
小坂駅、大館駅のこれからがわからない。→どう変わる。
みんなが居る所
年々、運転の判断能力が落ちてくる
タリーズで時間つぶし勉強→もったいない人材
ハヴに時間つぶす所がない

【1班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
電車になじみがない。バス乗ってみよう

【2班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
地域の家はいっぱいある（観光）
市民と行政のコミュニケーション。市民→モラルが低いのでは？ゴミのポイ捨て
盛岡へ帰ってもよかったが、大館に…人、仕事、PRしたい
観光PRの受け皿がない
出資した人が証明書をもらえる
リズムを合わせる（よく使われる時間帯）←仕事、生活のリズムとバスが合わない
自転車といっしょに市内に運べる電車。バス待合中心ターミナルで、冬場にも暖をとれる場所
自転車を一緒に持って（バス、電車にもちこんで）移動
日にちを決め乗合バス（予約制？）を出す→病院、買い物
市内に循環バスがあれば良いよね。
終バスが早い（土日はなおさら早い）
バスで市内を観光するのは難しい
バス路線が分かりにくい
バス料金、距離によるが高い
バス無料
バス停が遠い
バスと電車のタイミングが合わない（子供は自転車を活用）
バスの発着時間がわからなくて不便（HPに記載がない）
秋北バスのHP見づらい
中心ターミナルの廃止→情報収集しづらい

【2班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
地域資源＝人。PTA、自治会への参加→つながる→ここに住む意味
イベントを作る→見に来る人のためにまちをキレイにしなきゃ
犬のさんぽでゴミ拾い
ブログ、PR発信「どだすか大館」→ストーリーの発信、説明の上に行く。人が財産。
各地区で爆発（起爆剤）していく
色んな集まりに積極的に参加
コミュニケーション
見るだけでなく知ること
気軽に入れるお寺を地域で守る
寺でヨガ。市民の森でキャンドル マンダラ。
座禅と写経。一般からの参加（意外と檀家の方が来なかったりする）

【3班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
18年前、問題は一層深刻に
有浦地区では買い物を不便と感じた事はない
田代地区は何も変わってない
田代の観光は、10年前から問題等は挙げられているが、何も変わってない
比内地区は発展しているのは誰もが目で見ても解る
買い物に行くにも車がなければ毎日食べていけない
病院・いとく等にバスが入ってくれているので、便利にはなったと思う
子供の送迎等（振休）の時、親が送迎しなきゃならず、親が犠牲になる（親が休みもらう）
買い物等に不便にならないシステムを考えなければならない（田舎）

【3班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
移動販売車等に市で補助金を出してもらう
買い物バスツアー等を作る
病院と買い物する場所一緒→予約制メンバー制バス
多少なりお金は掛かる。掛ける。
気持ちを割り切る
自分で出来る事は自分でする
市民参加型、魅力ある町作り
町内カー
町内から始まるムーヴメント→人が集まる→楽しい・カッコいい
先立つリーダー。マイナー意見をふき飛ばす強い力。
利用者も安心して免許を返納できる市のサポート。
大手企業を呼ぶ、市長の力
ボランティア精神を育てる。素直に表せるように！子供達の教育。

【4班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
100円バスみたいなのがあればいい
車優先で、まちなかでも歩行者が利用しにくい
除雪も車優先、融雪設備もごく一部
バスが使い難い、分かる人にしか分からない
西地区、下川沿は自家用車とバス・JRで本数は少ないがなんとかなっている。 病院通りは病院で迎えに来る。
車社会だなあ
バス無料（老人）都会
花岡地区、学校がなくなって地域の人数が少ない
国道以外にぬける道路がない
車を所有するより、バス・タクシーを利用している方が年間経費が少ない

【4班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
20年後にバス会社が存続しているか。バス、大型→小型へ（10～15人）

【5班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
エリアで事情がちがう。市が細やかに内情を把握することが必要
不便になると人が減る、悪循環 ←地域で送迎をしようとするといろいろむずかしい。 便利なところへ引越す。
必要な施設をまとめて、そこへ行くインフラを整備する
バスは、必要な時間にあわせて運行しては。飲み会の帰り、代行が混んでてなかなか帰れない。
大館駅おりたら、バスルートの地図がない。前は便利だったが、全体的に不便。大館駅前バスターミナルわからない。
バス停に困りがない。雨・風つらい。→地域で建ててるところもある。
電車は本数がすくない。バスは遠まわりになる。
中心地に住んでいた時は、公共交通機関が多くて便利だった。郊外住宅地だと、店やバス停まで遠くて不便。働かなくなったら、歩きでもOK。
街中ではバス歩きでもOKだった。嫁いでは車。
20年後の交通手段、バス・電車・タクシー（地域の会社はなくなった）。店も少なくなった。 →車がないと、生活・子育て出来ない。
生活リズムに、公共交通がかみあってないのでは？
ハチ公号（コミュニティバス）の乗車は…
車の維持費がけっこう高い
車がないと仕事できない。子育てできない。買い物できない。

電車に乗らずに生活してきた（親の送り迎え、自転車）
子供が少なくなったので、送迎できるようになった
駐車スペースほしい。→バス停に商店がついてたらよい。
今の時代、交通事故が多いので自転車も心配
自転車、行きはよいよい（下り）帰り（上り）
歩いていると目立つ。不自然に見える。
（田代）お年寄り・一人ぐらし、買物難民
田代、タクシーなし。バスダイヤ不便。
移動販売車でまわっている
移動販売車（以前より）品ぞろえが良くなった
買物代行
中心部の人は、近くに店がないことに慣れていない
店がどんどんなくなっていく
コンビニでお年寄りが買い物している。利用しないとお店なくなる。
振興住宅地は顔もわからない。車も増えて危険。
起業すること若い人は反対？20代の意見を聞いたことがない。

【5班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
免許返納の後、どうなるか考えないと→事故をおこさない安全な町をつくる→歩きやすい町をつくる。楽しく生活する。
乗合バスの株主になって、無料又は100円でのれるようにする（NPO?）
走る情報をもっとこまめに発信する。今、バスの情報はなし。←オール大館でやらないと。役所はバックアップ必要。→誰がまとめる？

【6班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
バス路線がわかりにくい
バス料金が、乗る前にわかると便利
朝晩にバスのダイヤを集中させたらいいのか？（目的に合わせたデマンドバスの利用）
バスを利用するのは高齢者がほとんど。行きたいのは病院やスーパー。
桂桜高校の生徒が不便。（バスが少ない）近くの信号には地下道があった方がいい。
バスターミナルが無くなった。
飲み屋帰りの人のために、12時過ぎ頃の各方面行きのバスや電車があればいい。
生活のリズム。飲んだときの帰り
（夜に）乗り合いタクシー
子供の送迎（自家用車）

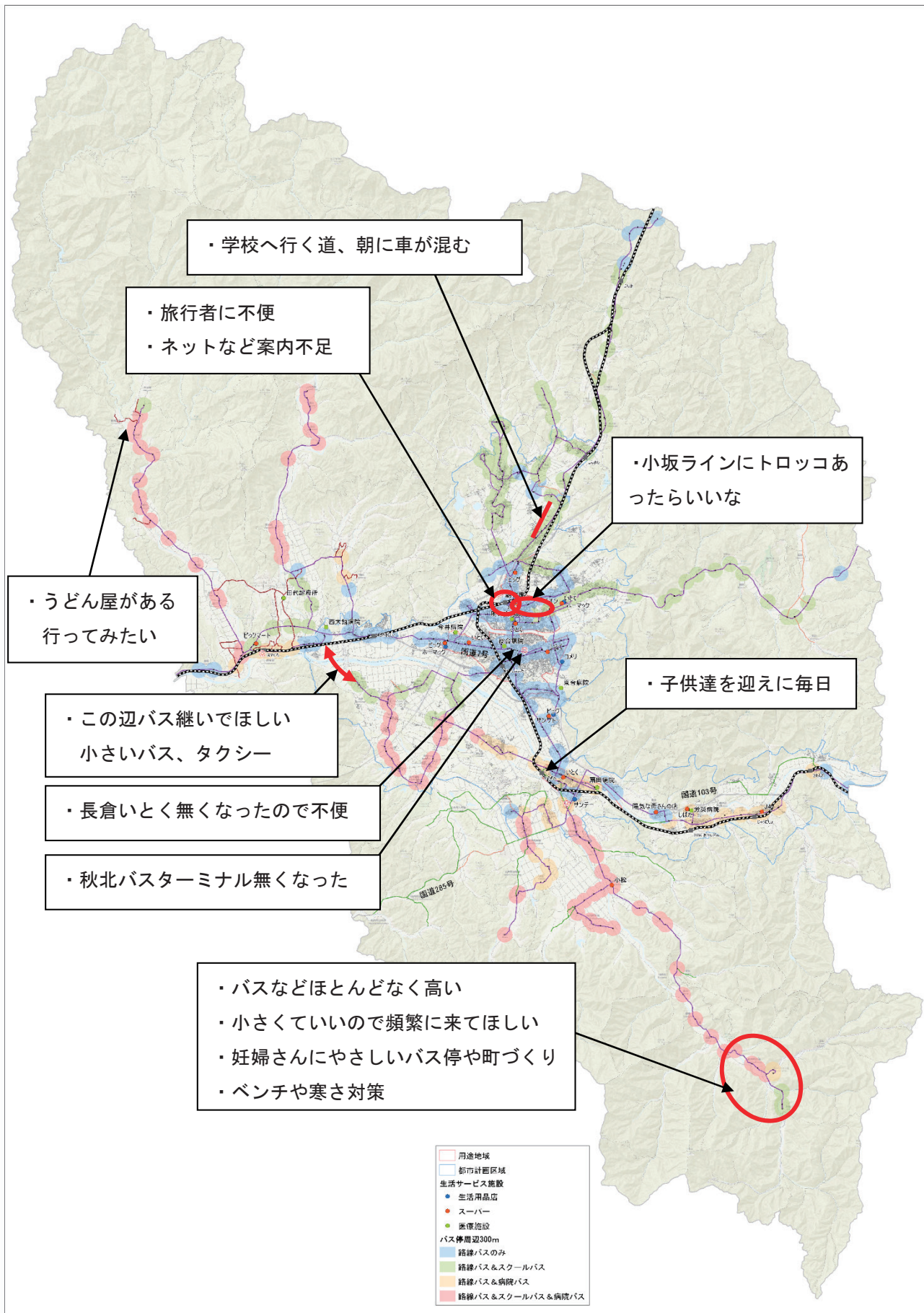
電車（高校生多め）
長倉いとく閉店で買い物難民増加。高齢者の歩行者への気配りが必要。
市役所職員は率先して公共交通機関を使うべき。

【6班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
時代が変わってニーズが変わったのに、昔と同じやり方でバスが走っている。 バスの本数が極端に減っているわけではない。
大型バスよりも中・小型で、よりニーズにあった形を！

【7班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
車がないと生活が出来ない。買物する場所がないので、車を利用。買物用のバス送迎必要では。
バス、エリア寄る。労災病院・母ちゃんの店、理想だが時間はかかる。
100円バス乗ってる人が少ないなあ。乗る人が増えるには、どうしたらいい？
JR・バス使わない。息子さんは花輪線で通学。
大町の人達の買物難民
田代地区にも買物出来る場所が無い
地元で働いても給料安い
大町に入る道路が良くない。入りづらい。

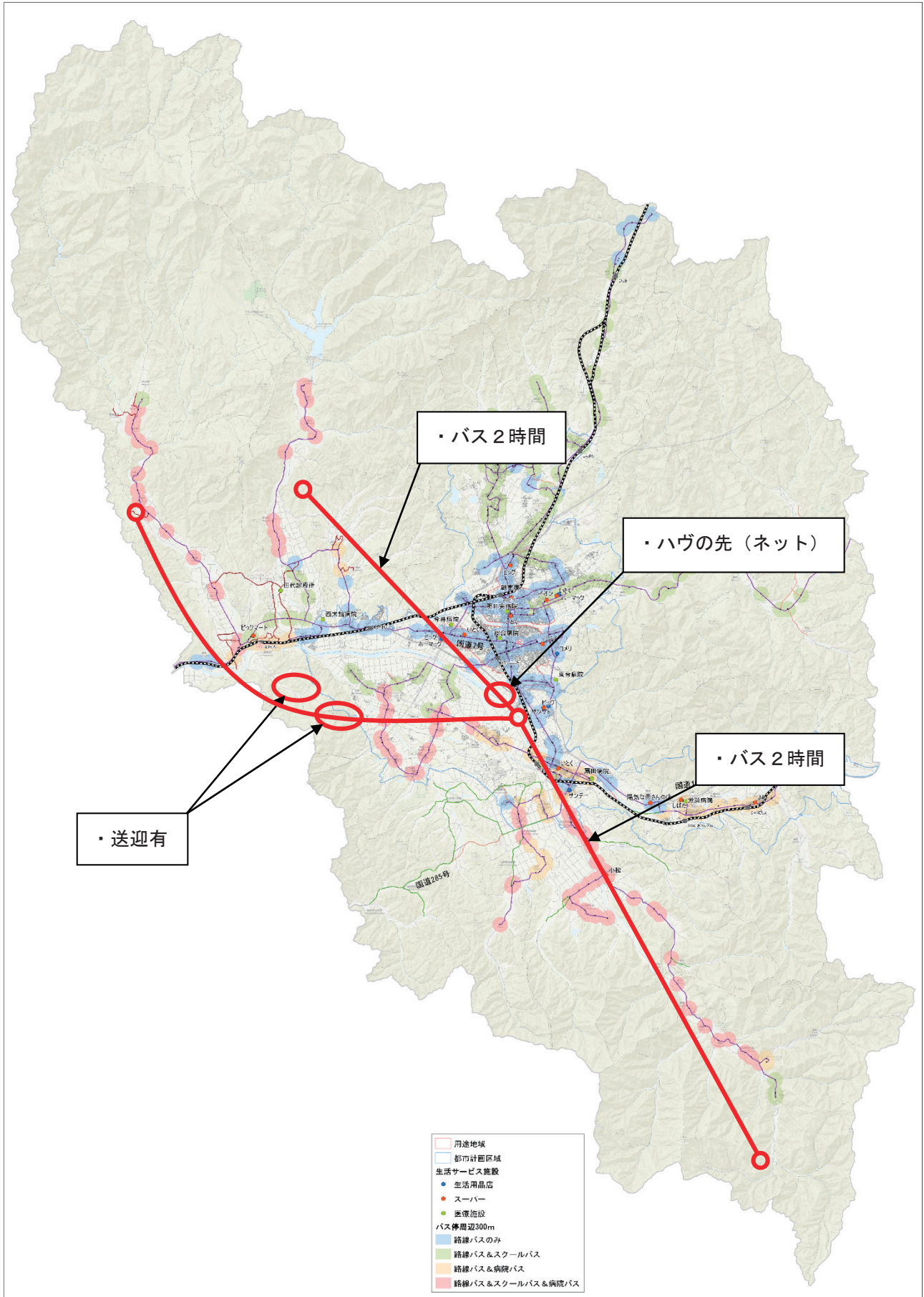
【7班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
75歳で車やめる
人まかせにせず、自分自身で生きる
公共機関を守る覚悟。バスの存続。（バスの運転手もいないみたいだ）
AターンUターン、人を呼び込みたい！賃金・雇用問題をなんとかしたい。 ←子の世代を守る覚悟！

・市内全域マップ（1班）

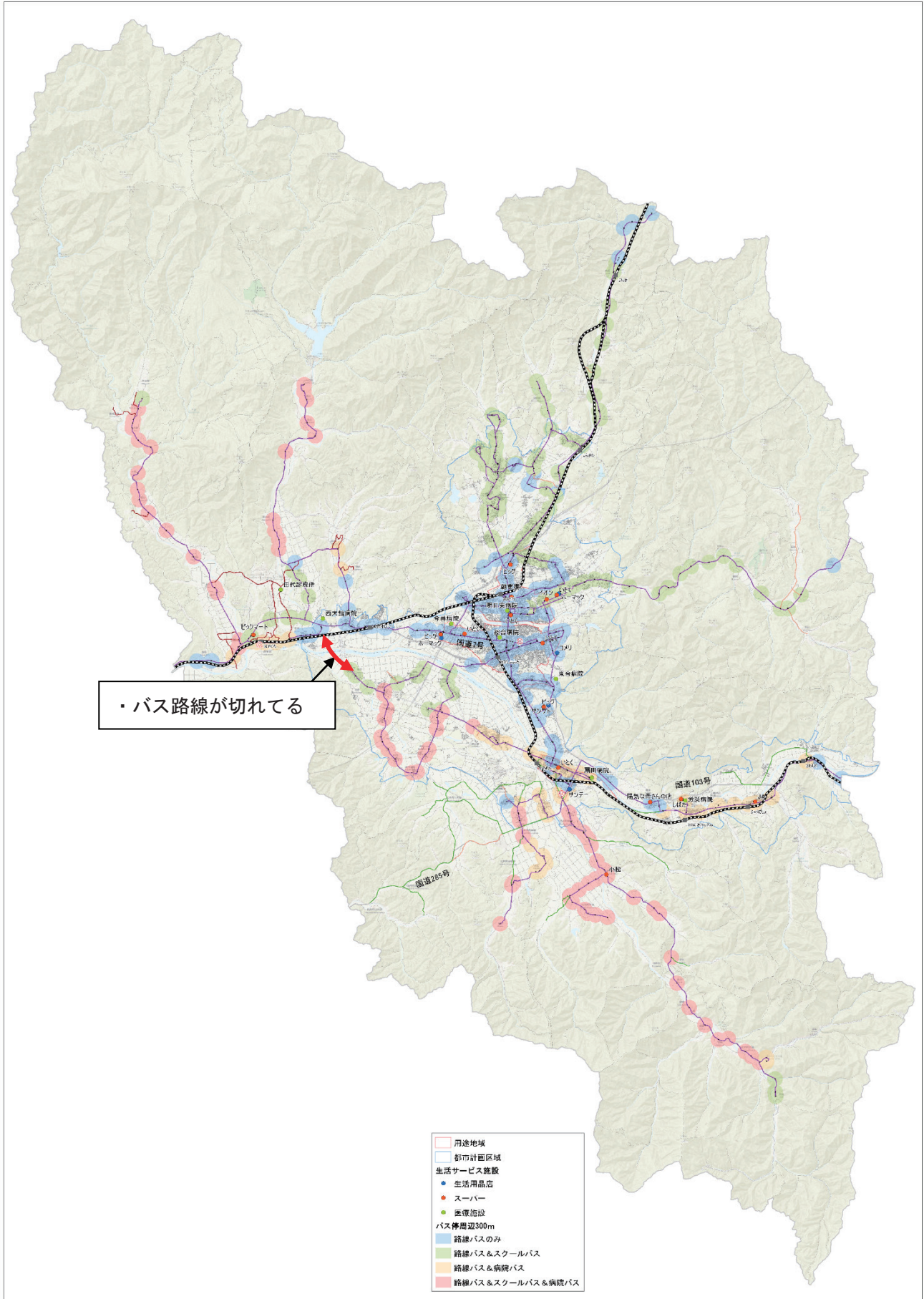


・ 2班は、路線に関する書き込みなし

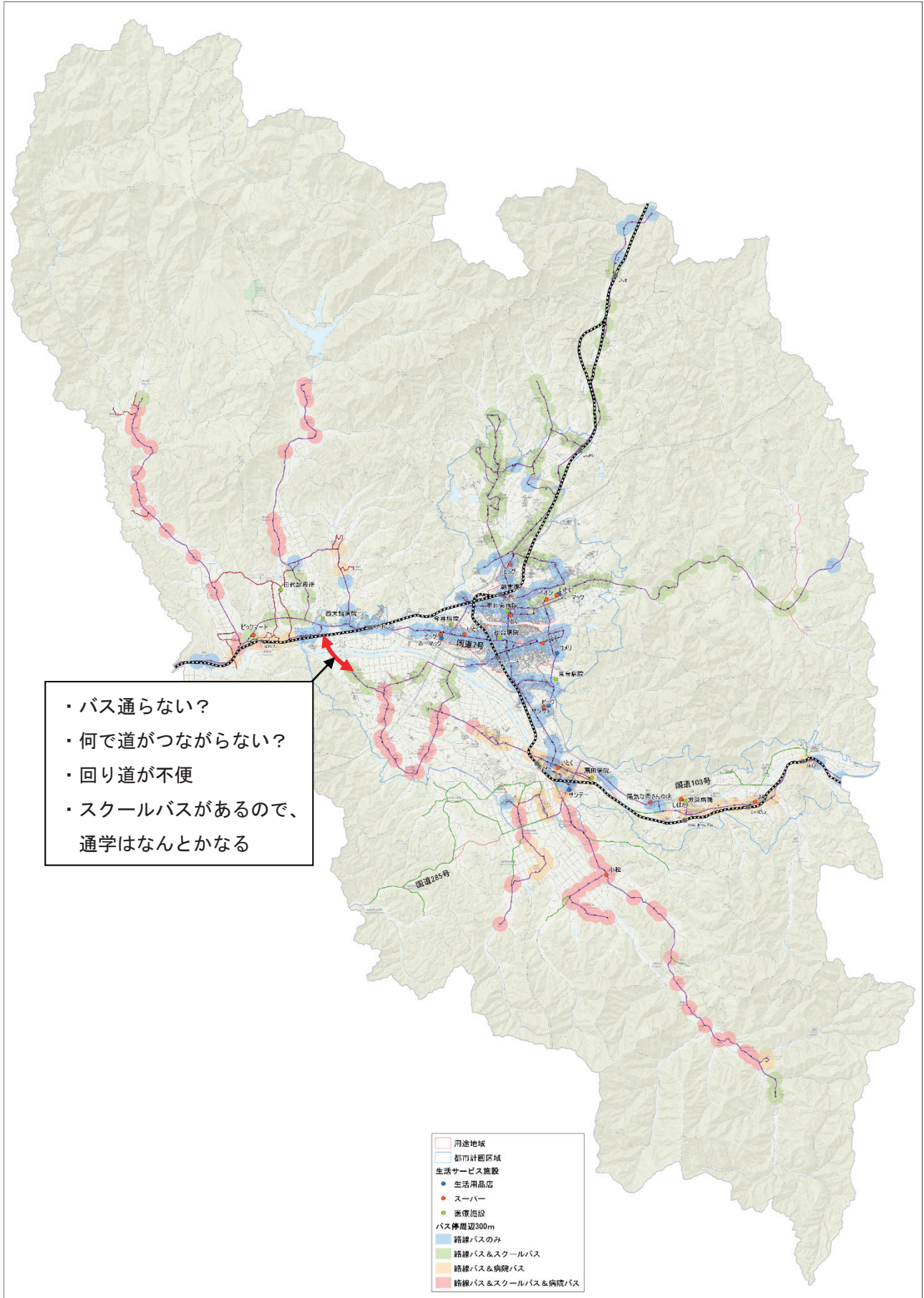
・ 市内全域マップ（3班）



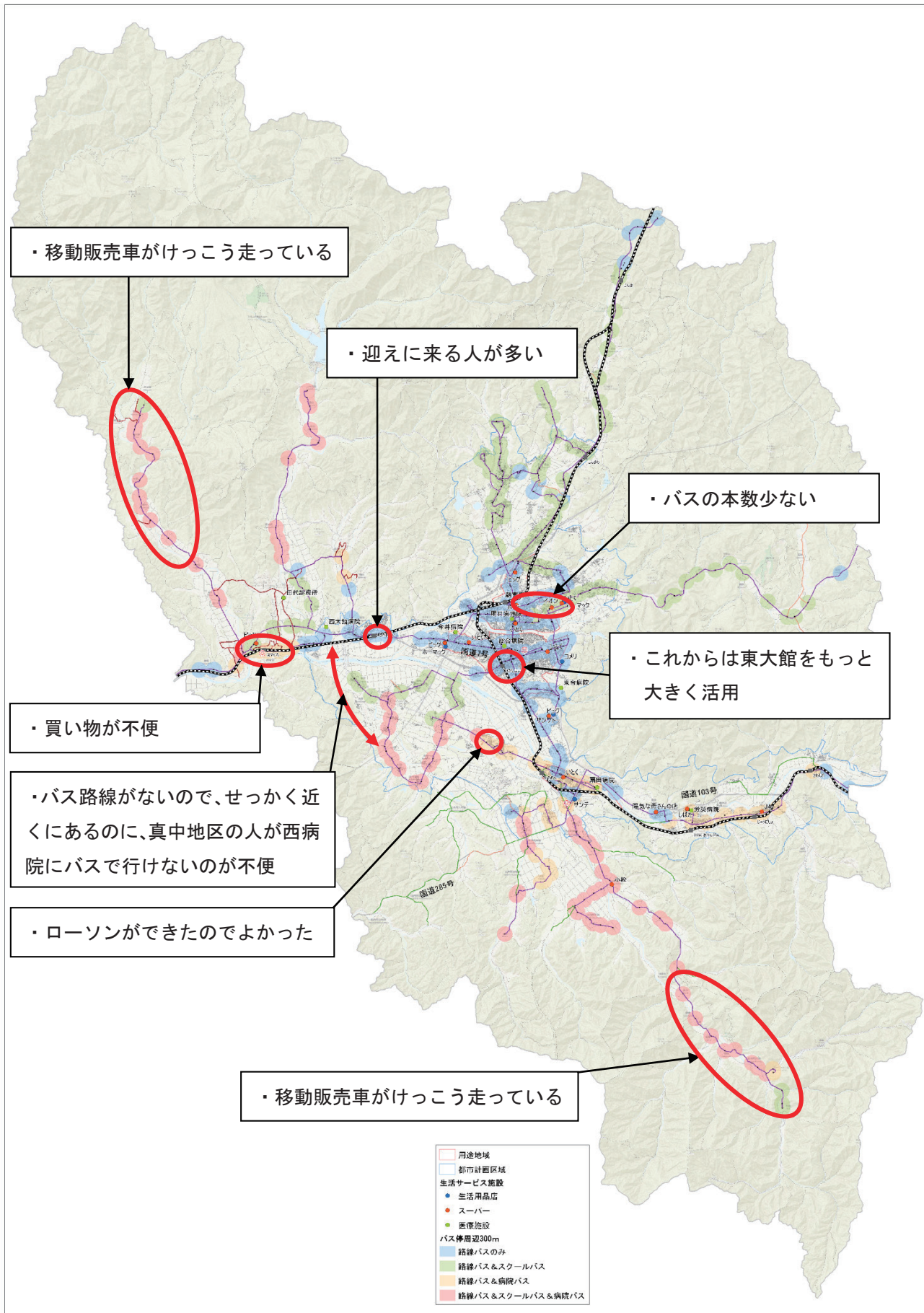
・市内全域マップ（4班）



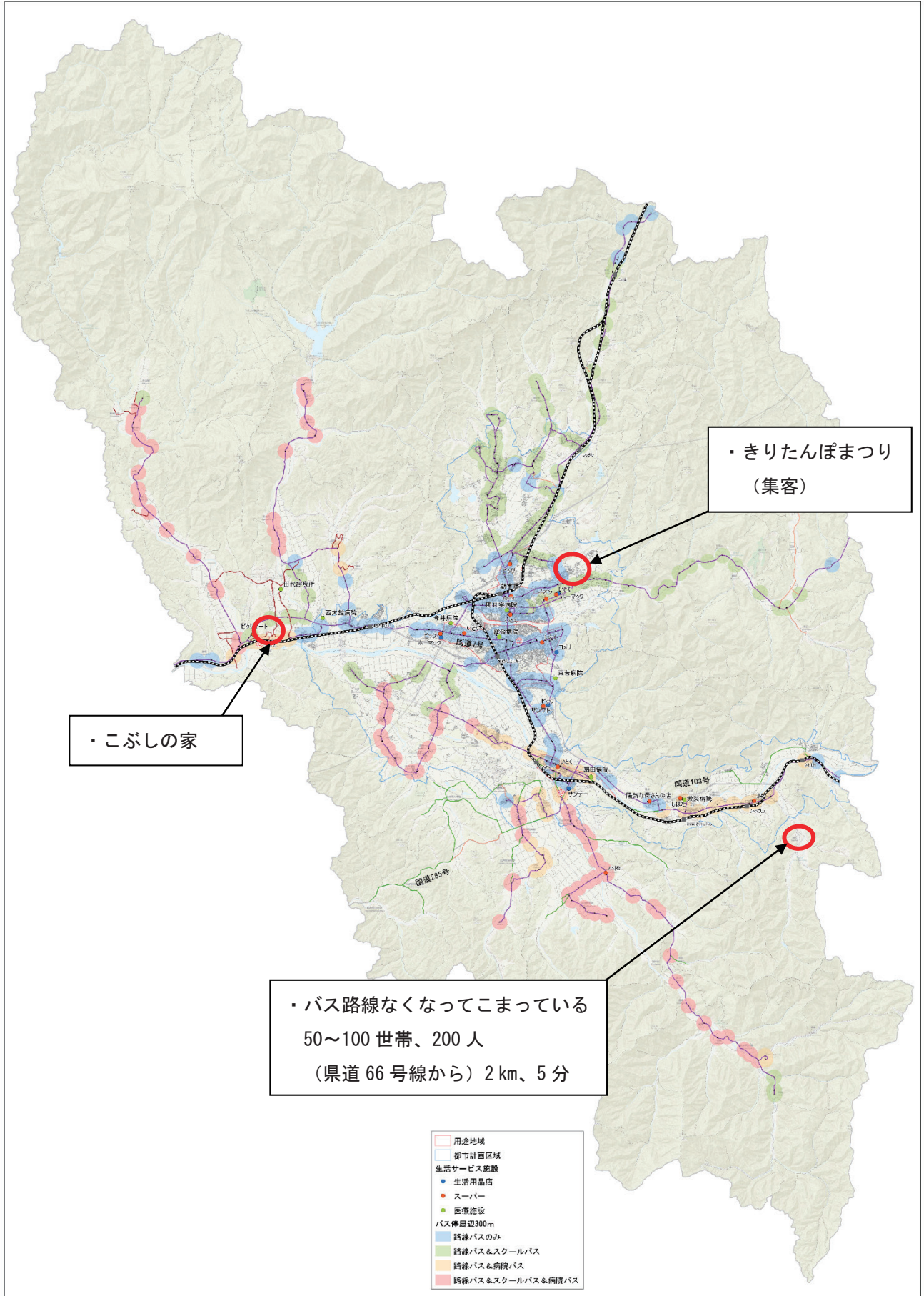
・市内全域マップ（5班）中旬



・市内全域マップ（6班）



・市内全域マップ（7班）



◆全体のとりまとめ

<大館市で暮らすなかで、移動について感じる事>

- 車がないと、仕事・子育て・買い物が難しく、生活できない。
- 車による子供の送迎が、親の負担になっている。
- 地域によって買い物難民が発生している。店舗もどんどん減っており、車を運転しない高齢者等が歩いて買い物に行けるお店が少ない。
- まちを歩く人が少なく、歩いていると目立ってしまう。
- 移動販売車や、病院・いとく等をまわるバスに助けられている。

●車社会の現状をうけ、公共交通の利用についてみると…

<公共交通について感じる事>

- そもそも電車・バスを利用している人が少ない。
- バスの運行時間が生活に合わない。飲み会帰りに利用できる便があると助かる。
- バスの料金や発着時刻、路線、ホームページがわかりにくい。バスターミナルがなくなり、情報収集がしづらい。
- 乗る前にバスの料金がわかる・前払いシステム等があれば便利。
- バス停が寒い、遠い。地域でバス停に困りをつくる案もある。
- バスが細やかに各エリア、お店に寄ってくれれば助かる。ただし時間はかかる。

●公共交通の課題をうけ、自分にできる【覚悟】を考えると…

<今後の方向性、みなさんの覚悟>

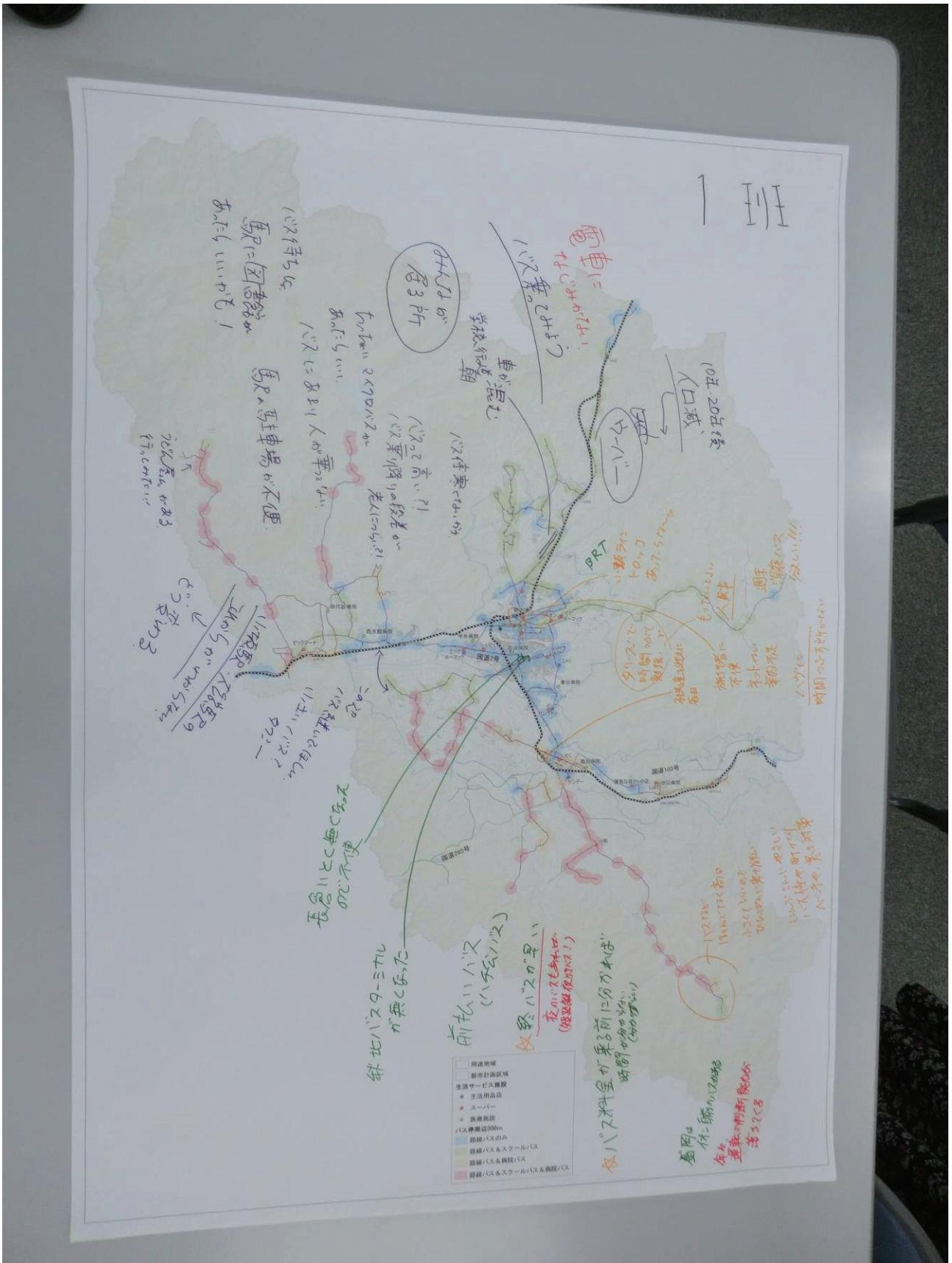
- いつまでも自分で運転し続けることは難しい。「75歳になったら」等、免許を返納することを具体的に考える。
- 免許返納後も安全に暮らしていくために、市とともに、歩きやすく楽しく生活できるまちづくりを進めていく。
- まず、意識してバスに乗ってみることから始める。
- 現代のニーズを把握し、小・中型バス等、求められている形で運行することが重要。
- バスの運行情報をこまめに発信し、バックアップの体制も整えることが必要。
- 買い物バスツアーの運行・乗り合いバスの株主になる・NPO化等、「誰がやるのか？」の課題はあるが、様々なアイデアを検討する。

<これからの暮らしで意識すること>

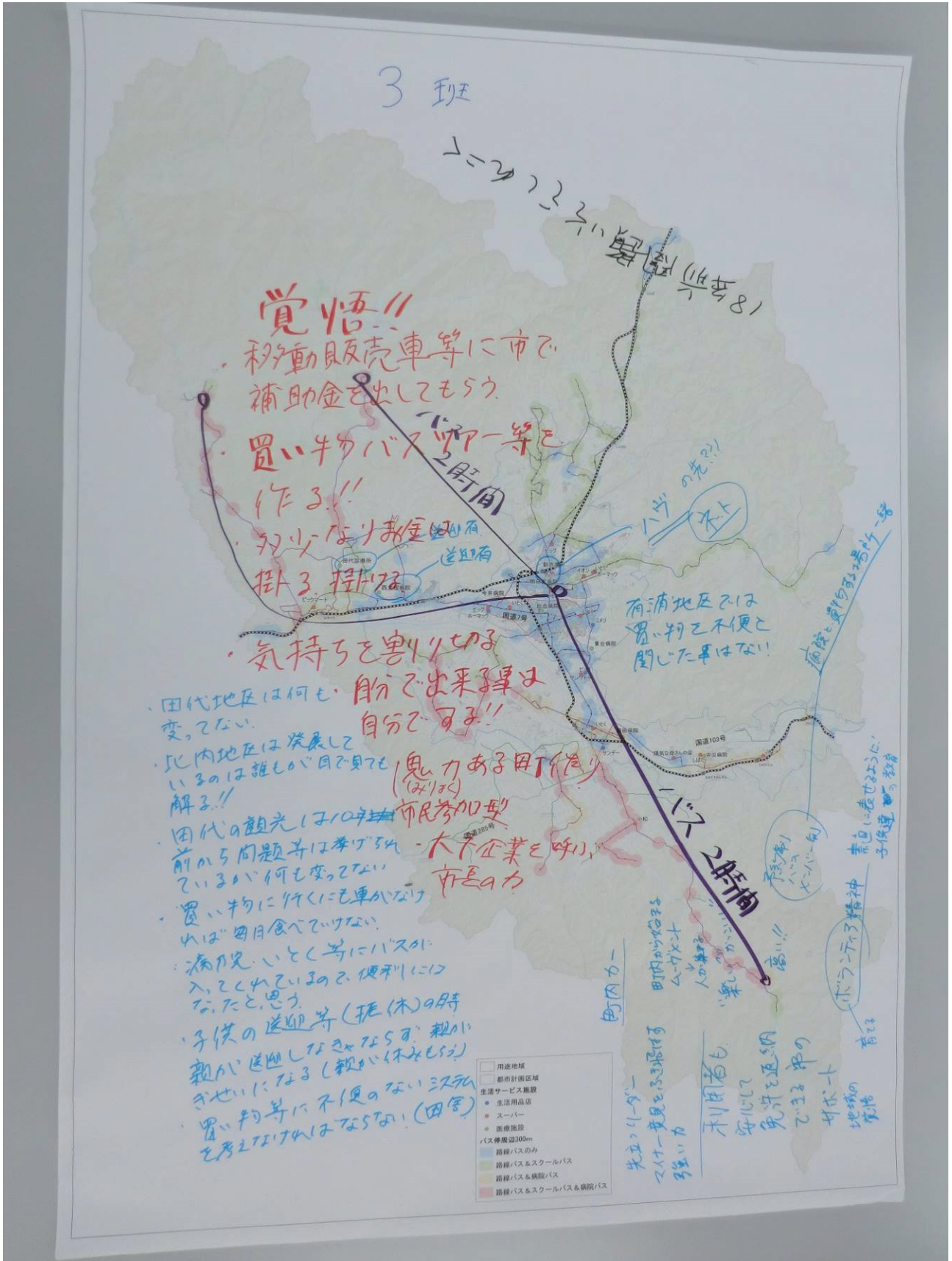
地域を支える公共交通・大館市の次の世代を守る覚悟を決め、
人任せにせず、自分でできることは自分で実践していく。
交通に限らず、地域から始まるイベント・情報発信を推進することで
人を呼び込み、まちを元気にする仕組みをつくる。

◆資料集

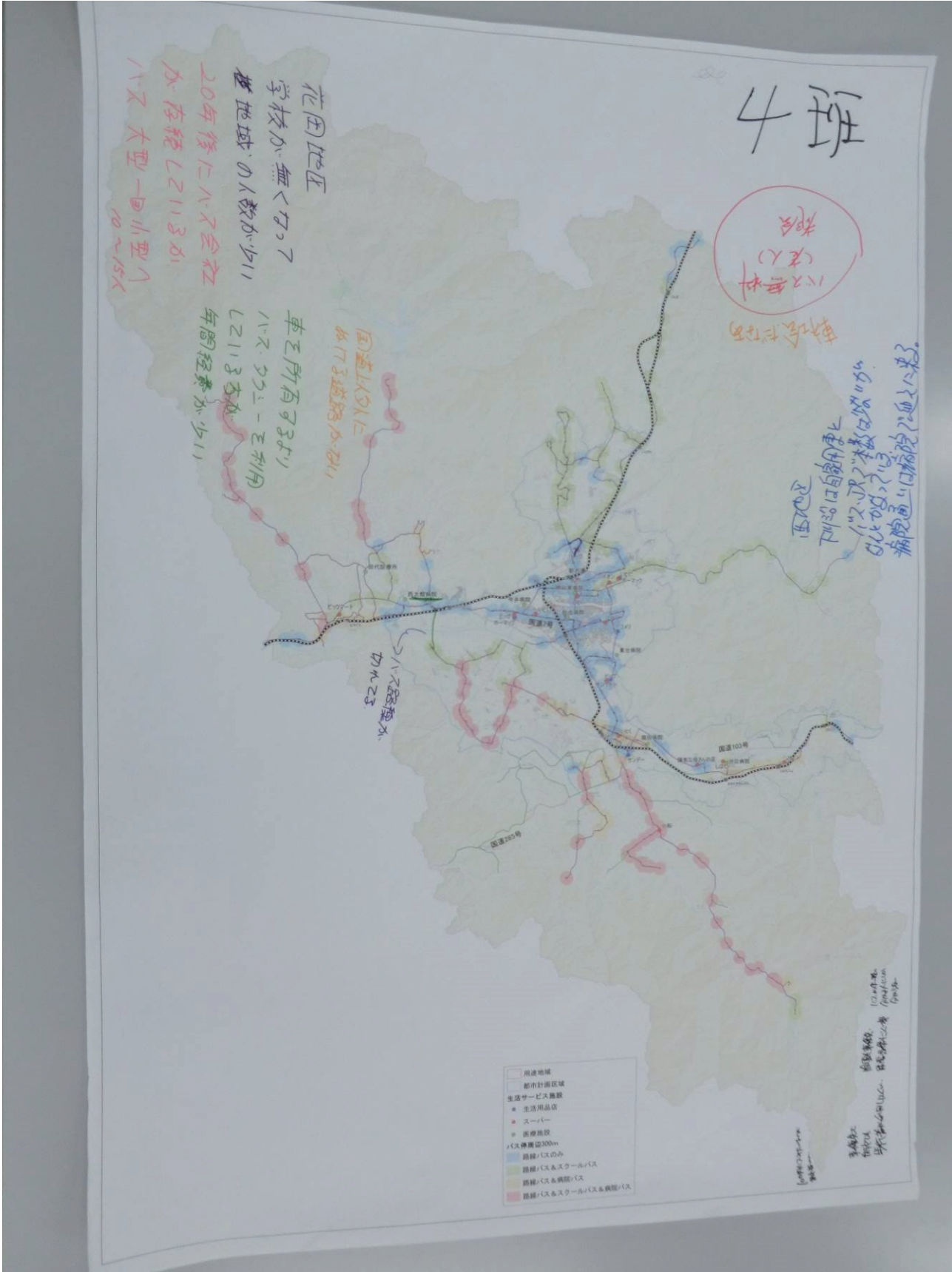
- ・意見を書き込んだ模造紙（1班）



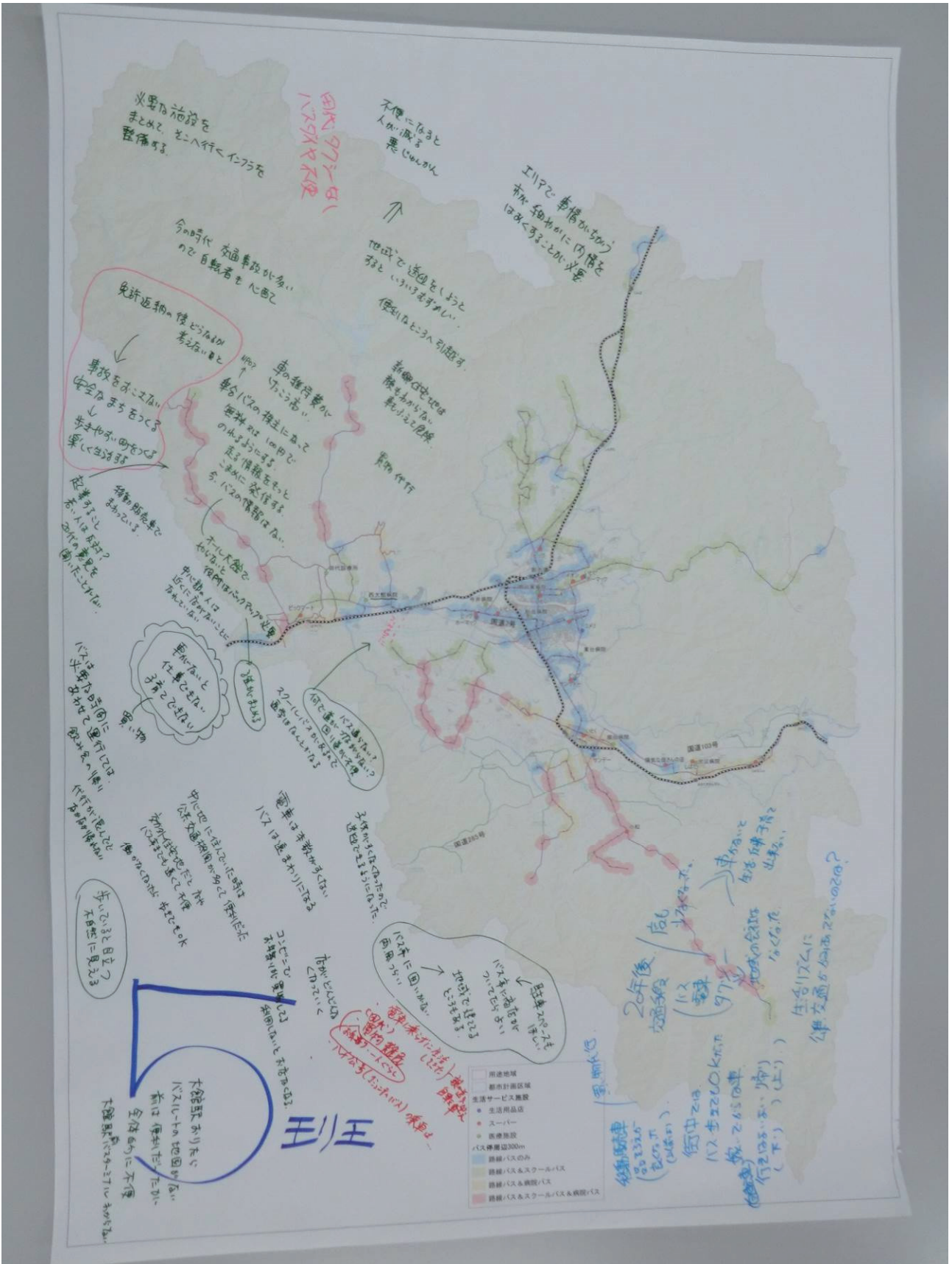
・意見を書き込んだ模造紙（3班）



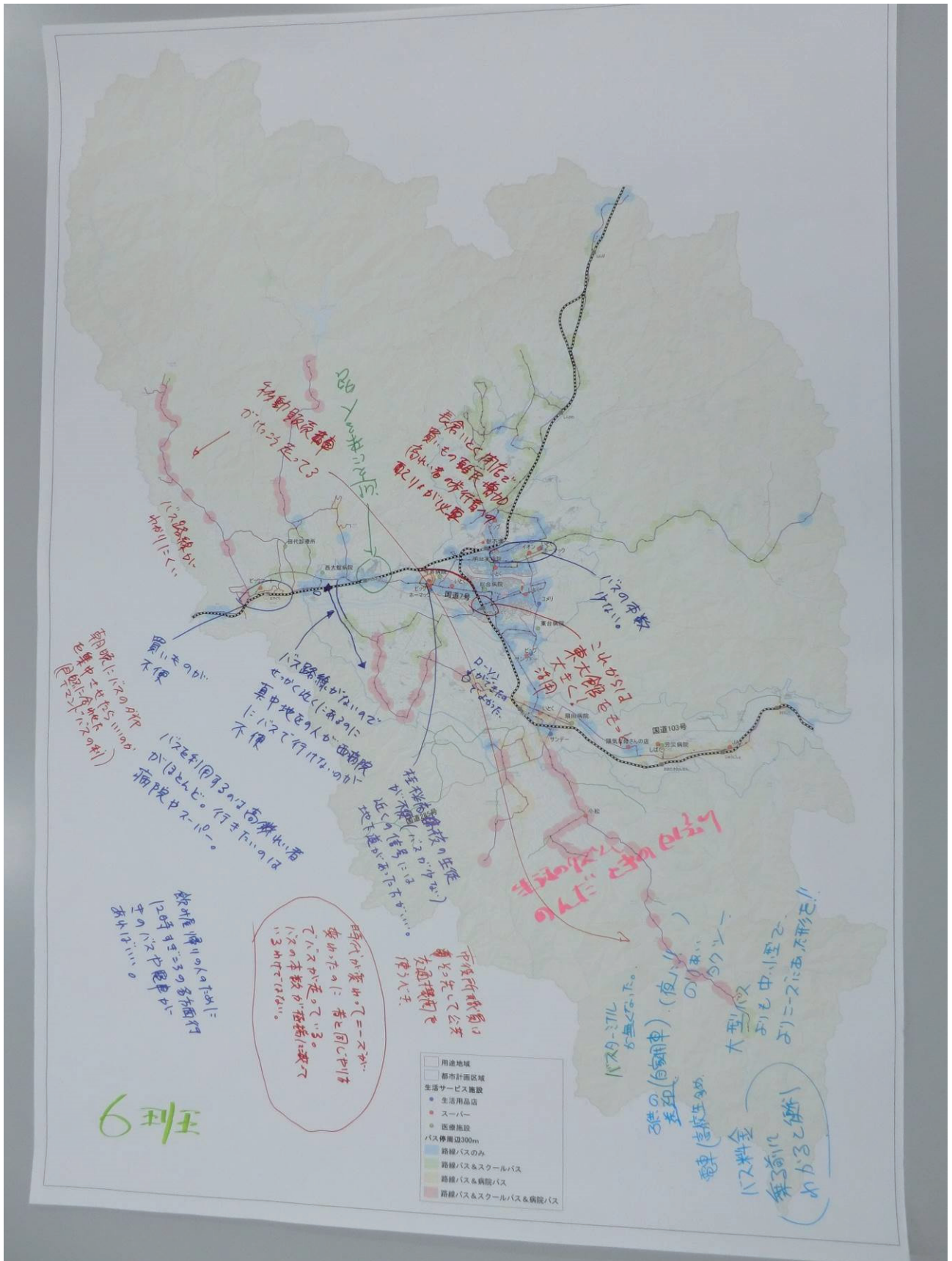
・意見を書き込んだ模造紙（4班）



・意見を書き込んだ模造紙(5班)



・意見を書き込んだ模造紙（6班）



第2回 ワンだフル！おおだて（大館市市民ワークショップ）

日時：2018（平成30）年2月1日（木） 18：30～20：30

場所：中央公民館

◆テーマ

「自分の暮らす地域の特徴を知り、目指す姿を考えよう！」

目的) ・自分の暮らす地域について、地域内外から見た特徴を整理し、これから地域が目指すべき姿を共有する。

◆次第

- | | |
|-------------|---|
| 18：30～18：35 | 開会あいさつ
(大館市役所建設部都市計画課) |
| 18：35～19：20 | ワークショップ ラウンド1
～過去と現在～「2006（平成18）年度WSをふりかえり、地域の特徴を知る」 |
| 19：20～20：15 | ワークショップ ラウンド2
～未来～「地域が目指す姿を考える」 |
| 20：15～20：25 | 発表 |
| 20：25～20：30 | 閉会あいさつ
(大館市役所建設部都市計画課) |

- ・参加者総数 29名
- ・事務局 大館市役所：8名
協和コンサルタンツ：6名

◆ワークショップ愛称

市民ワークショップについて、より親しみやすく参加しやすい会とするため、ワークショップの愛称を募集しました。愛称について投票をいただき、「ワンだフル！おおだて」に決定しました。

◆開催記録

ワークショップ ラウンド1 (18:35~19:20)

～過去と現在～「2006(平成18)年度WSをふりかえり、地域の特徴を知る」

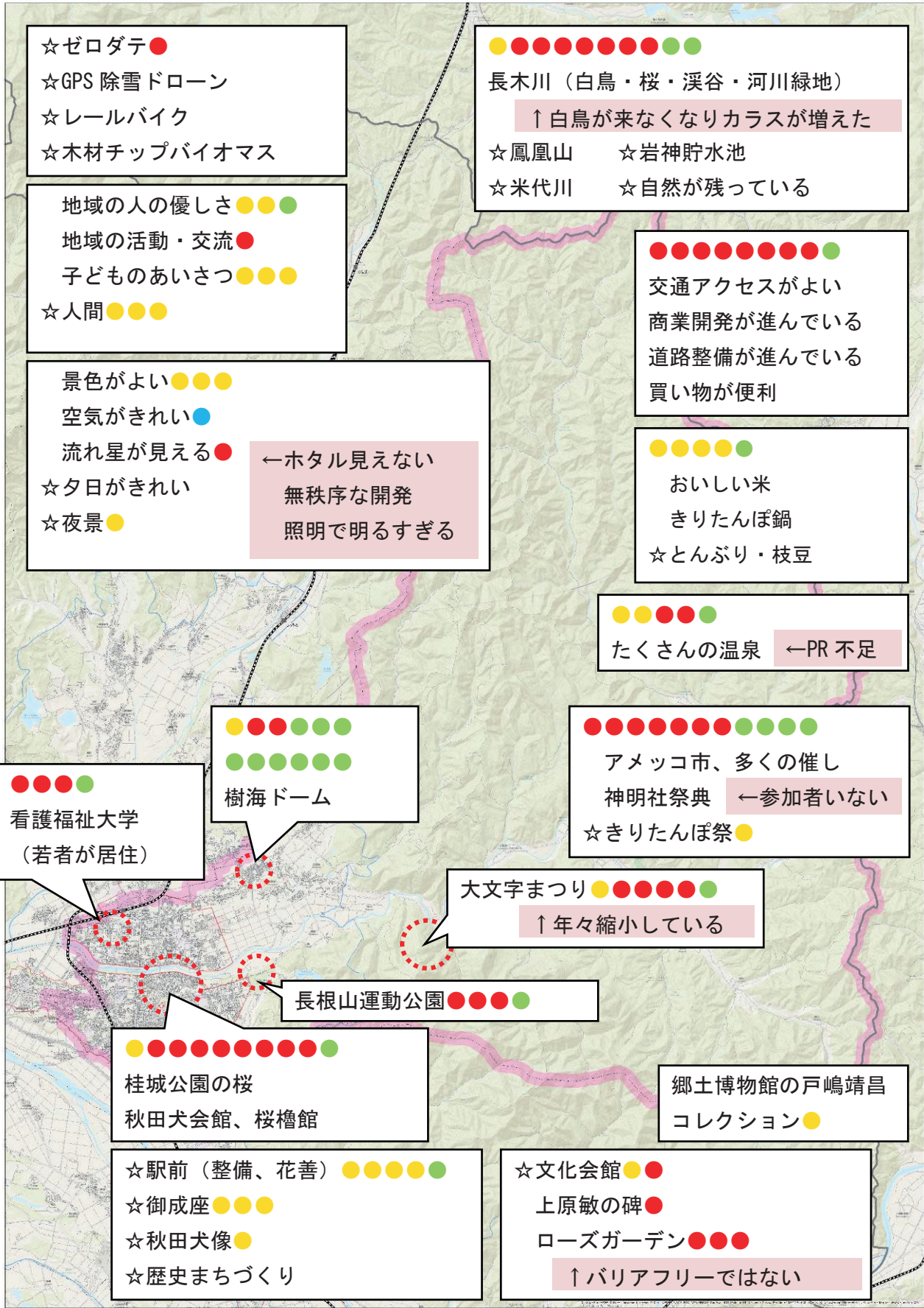
- ◇ 2006(平成18)年度に行ったワークショップの資料から
 - 今も輝いている地域の宝物(特徴)
 - 最近あまり元気がないと感じる宝物
 についてシールを貼った。新たに見つけた宝物がある場合はフセンに記入し、追加した。
- ◇ また、他の地域のメンバーから、
 - 他の地域から見て、輝いている宝物にシールを貼ってもらい、内容を共有した。

ワークショップで、特に意見が集まった宝物

	●今も輝く宝物	●最近元気がないと感じるもの	●他の地域から見た宝物
大館東地域	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい米やきりたんぼ鍋 ・とんぶり、枝豆 ・駅前整備、花善 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメッコ市や神明社祭典 ・長木川の自然 ・桂城公園や秋田犬会館 ・道路整備、商業開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹海ドーム ・アメッコ市や神明社祭典
大館西地域	<ul style="list-style-type: none"> ・羽州街道 ・二井田工業団地 ・おいしい米、農産物 ・神社や歴史的な名所 ・達子森温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の森 	<ul style="list-style-type: none"> ・二井田工業団地 ・温泉寺(安藤昌益の墓) ・忠犬ハチ公の生家
大館南地域	<ul style="list-style-type: none"> ・老犬神社 ・中山そば、なし畑 	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・陽気な母さんの店 ・中山そば、なし畑
大館北地域	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥潟会館 ・リサイクル産業 	<ul style="list-style-type: none"> ・十瀬野公園墓地の桜並木 ・花岡温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・日景温泉 ・長走風穴 ・リサイクル産業
比内地域	<ul style="list-style-type: none"> ・比内鶏、きりたんぼ、とんぶり ・田園風景 ・独鈷 大日神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・大葛温泉 ・大葛金山跡地・墓地 ・灯笼流し・盆踊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・比内鶏、きりたんぼ、とんぶり ・大葛温泉
田代地域	<ul style="list-style-type: none"> ・田代岳、たけのこ ・グリアス田代周辺 ・ロケット実験場 ・大鮎の里ふるさとまつり ・山田獅子踊り ・あいさつしてくれる中学生 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の風景 ・岩瀬川溪流、早口川 ・五色沼 ・けやき・ぶな・秋田杉 ・早口駅れんが油庫 ・小畑勇二郎記念館 	<ul style="list-style-type: none"> ・田代岳、たけのこ ・グリアス田代周辺

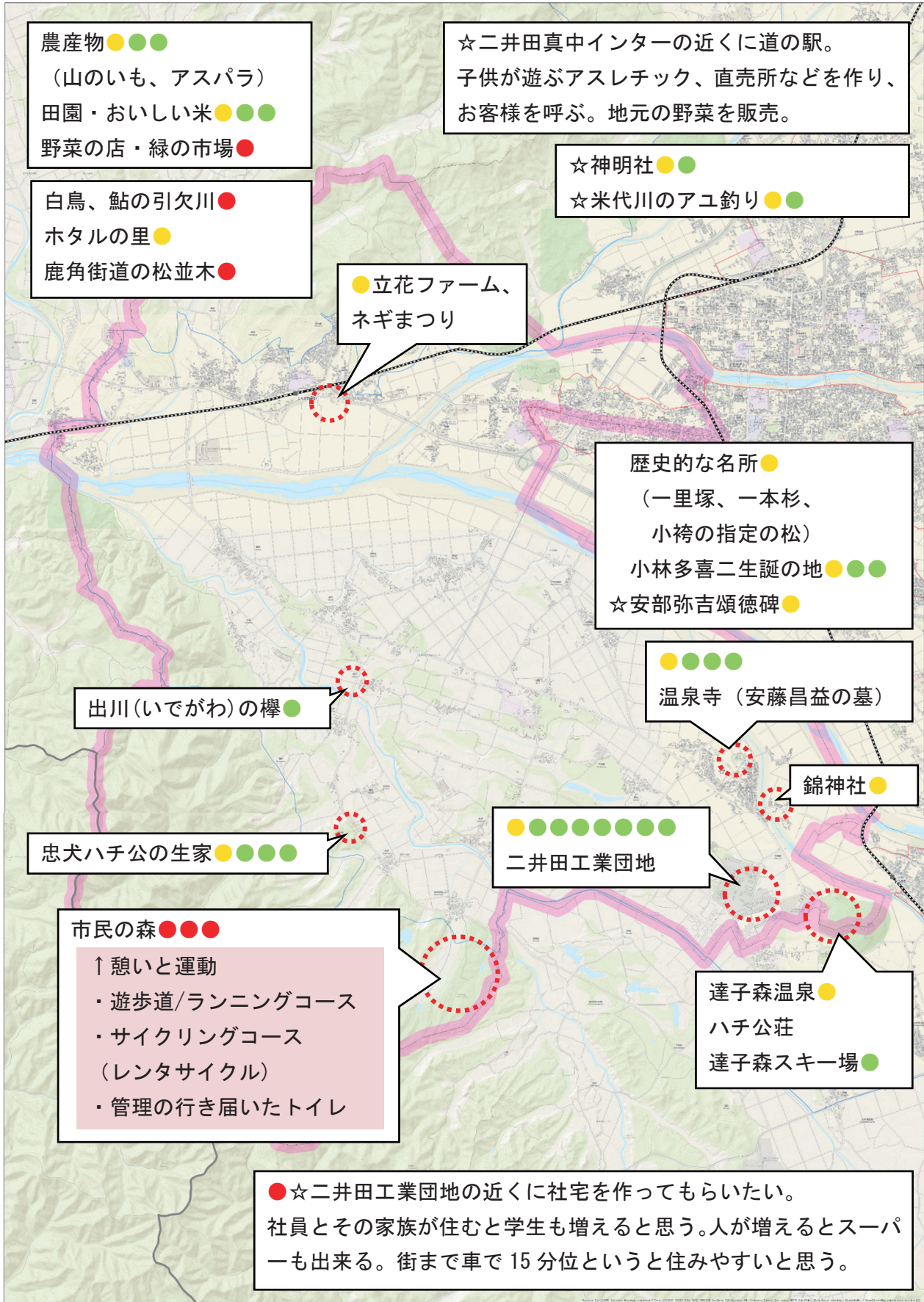
・大館東地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- : 他の地域から見た大館東の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



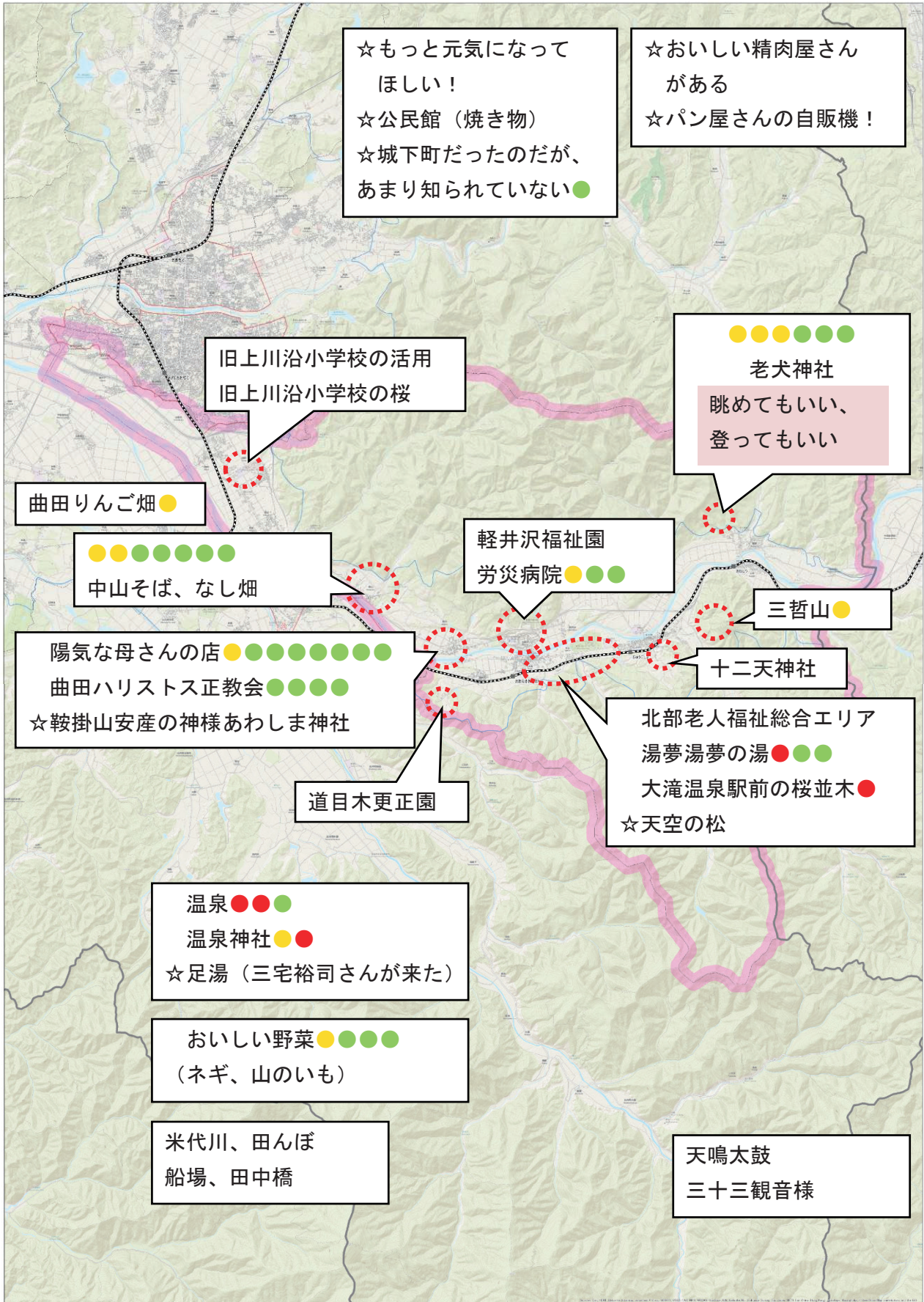
・大館西地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- (赤) : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- (緑) : 他の地域から見た大館西の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



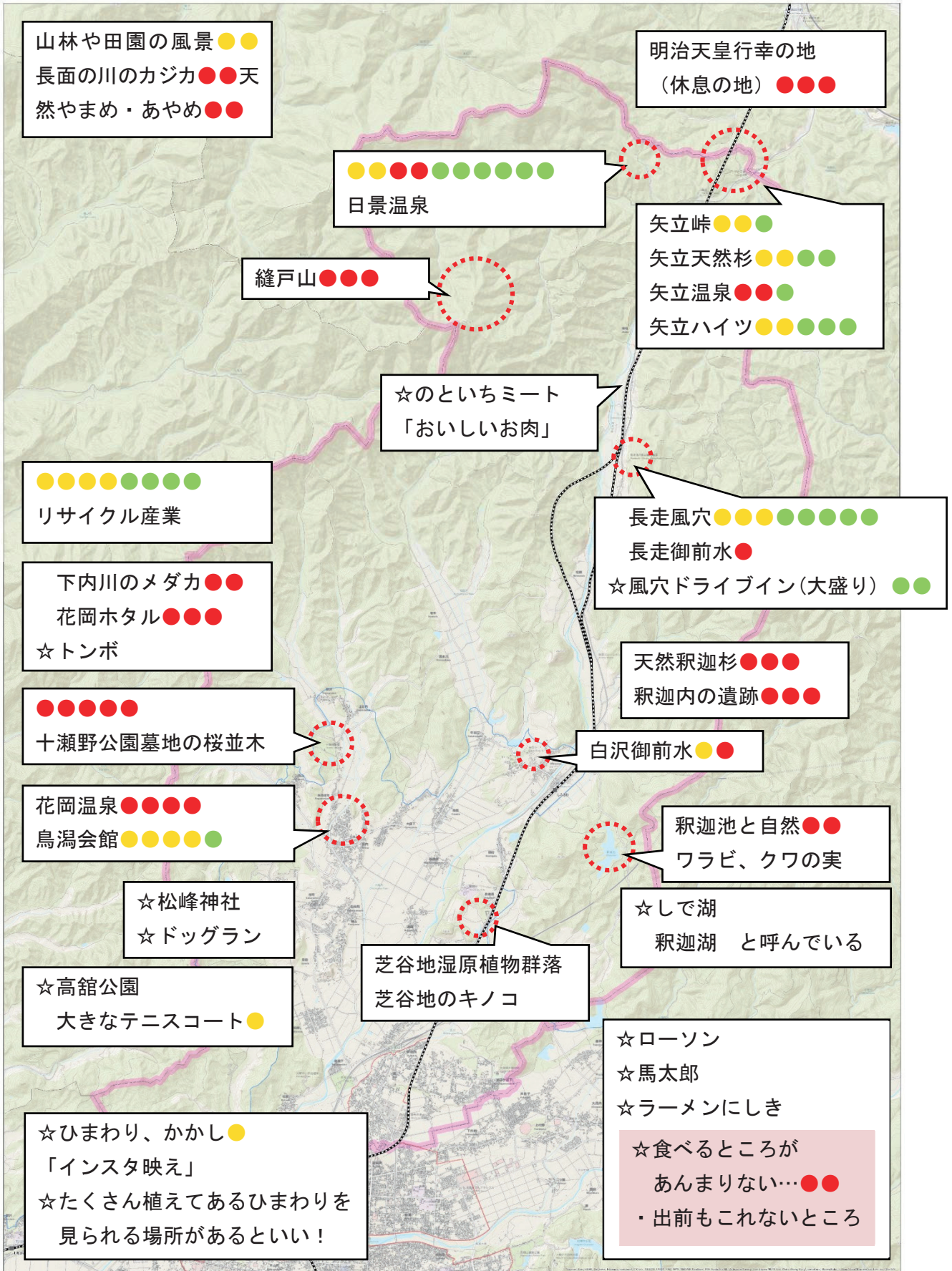
・大館南地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- : 他の地域から見た大館南の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



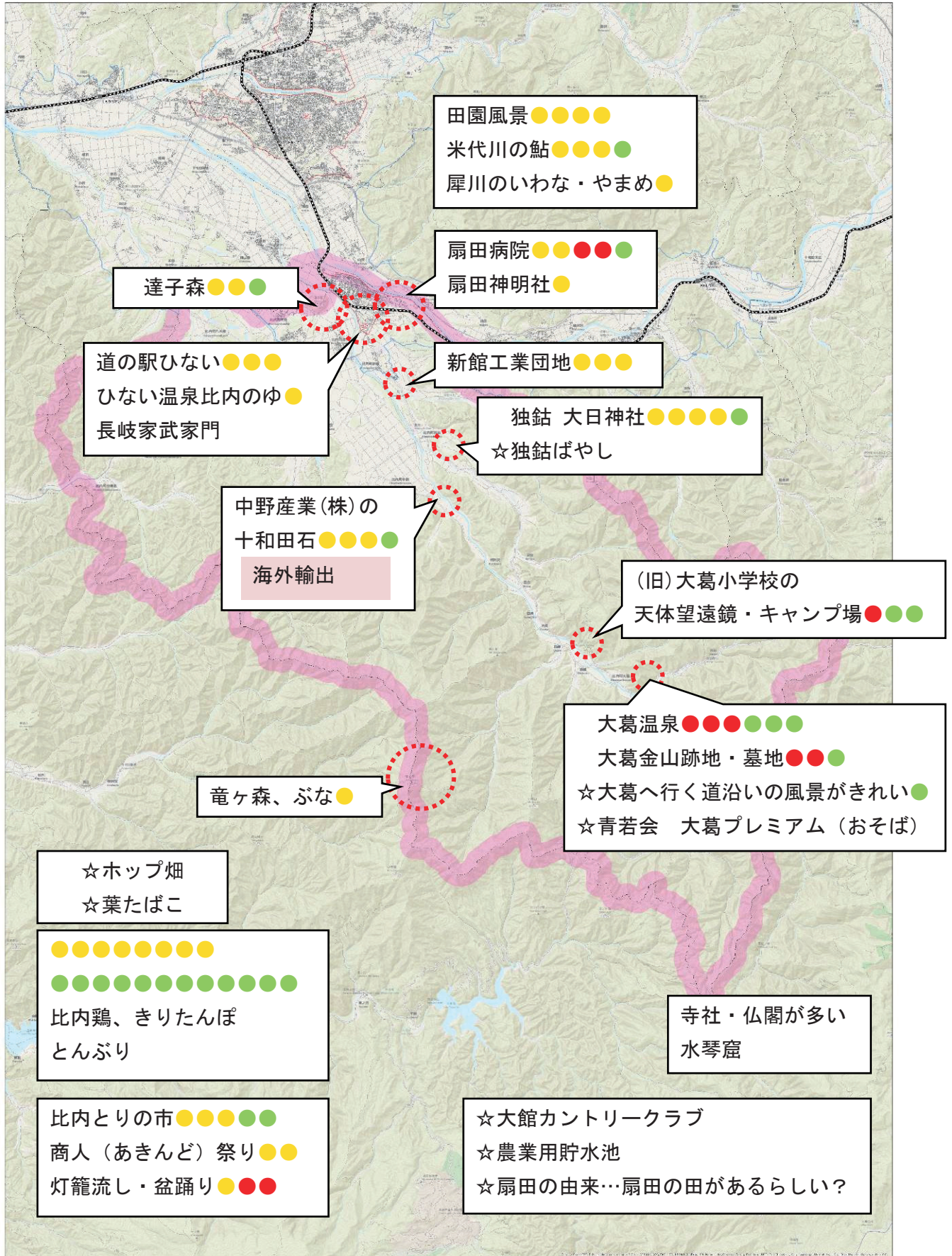
・大館北地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- : 他の地域から見た大館北の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



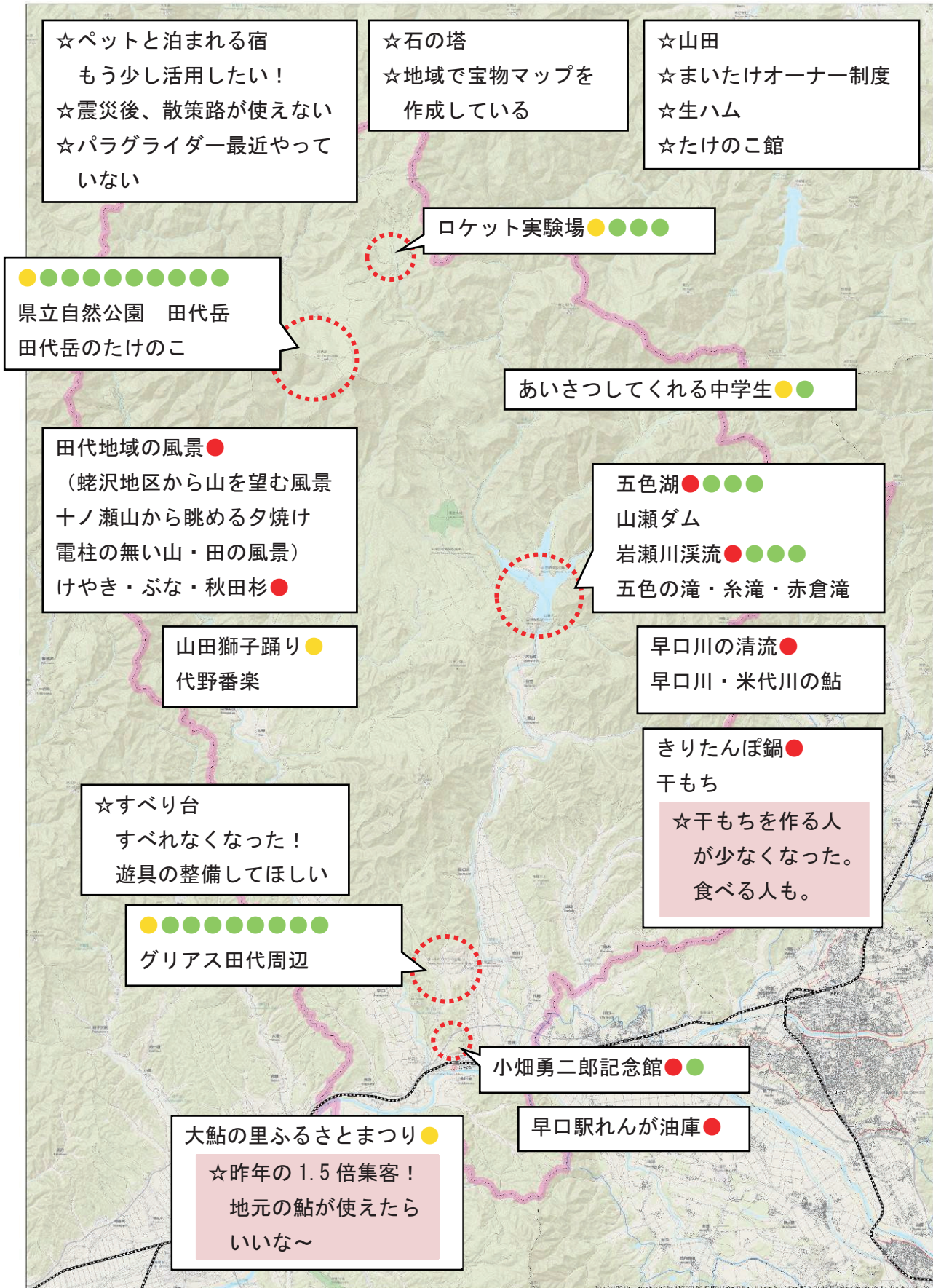
・比内地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- : 他の地域から見た比内の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



・田代地域の宝物マップ

- : 10年前のワークショップから変わらず、今も輝く宝物
- : 10年前と比べて、元気がないと感じるもの
- : 他の地域から見た田代の宝物
- ☆ : 今回のワークショップで新たに発見した宝物



ワークショップ ラウンド2 (19:20~20:15)

～未来～「地域の目指す姿を考える」

- ◇ 「10年後、子ども・夫婦・お年寄り等、地域の人々がこんな暮らしをしていたらいいな」という希望を自由に考え、「未来の暮らしカード」に記入する。
- ◇ これまでに整理した地域の宝物と、未来の暮らしカードをふまえて、地域がどんな姿を目指していけばいいか？というキーワードをフセンにまとめる。
- ◇ 集まったキーワードをもとに、地域のキャッチフレーズを考え、発表を行う。

～10年後の大館東地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・死ぬまで現役のおじいさん・おばあさんは、健康寿命を保っている暮らし。
 - ・健康でありたいおじいさん・おばあさんは、二人で楽しい時間を今迄以上に作れる暮らし。
 - ・健康で、自宅で暮らせるおじいさん・おばあさんは、単に生きるだけでなく、「健康に」暮らせる。徒歩圏内で基本的な生活のニーズが満たせる、地域内における情報交換が出来る（地域孤立支援）。お金の心配をせずに、必要なケア、医療が受けられる。遺産の処理方法がきちんと決まっている（持主不明の空き家を出させない！）
 - ・ノーマイカー暮らしのおじいさん・おばあさんは、遠くに行かず、近くのお店に行きやすい生活をしている。
 - ・元気に活動するおじいさん・おばあさんは、趣味や特技を活かし、地域の人々と世代を超えた関わりをもって毎日楽しく暮らしている！
-
- ・子育て夫婦は、市が子供を預かってくれる施設を用意しているので、妻も働き、自分の特性を生かして喜んでいる。
 - ・子育てがひと段落した夫婦は、自分たちの暮らしも充実し、楽しんでいる。コミュニケーションがとれる暮らし。
 - ・10年後の子育て夫婦は、子供の将来（教育・子育て）に希望を持つことができている。
 - ・子どもを産むことが許されるまちとして、高校卒業後は一旦市外に出るとしても、その後の子供の人生設計まできちんと考えられる子育て。保育・教育の充実（職場の低賃金、不安定雇用、就労を認めない!）、保育・教育組織と自発的に協力して子育てをする覚悟を持つ、子供は地域全体で見守る体制を作る。
 - ・子育てが楽しくできる夫婦は、学校、地域とのつながりを深めて、子育て、人間関係の悩みを減らせるコミュニケーションをとっていく。
-
- ・自宅介護を行う夫婦は、介護度3～4で、自宅のベッドで静かに読書やテレビを見る生活。定期的に24時間体制の医者や介護士、介護ヘルパーが訪問してくれるので、妻の介護の負担は少ない
 - ・多様な生き方を認め合える夫婦は、分断、排除を促す社会的な圧力を受けず、社会の一員を目指す。地域社会の一員として、ちゃんと政治、社会参加ができる家族を目指す。
 - ・心豊かな人生を送る夫婦が、色んなことを楽しみながら生きられるようになったらいい。

- ・生涯現役で人生を楽しむ働き手たちは、仕事も生活も趣味も充実した暮らし。老後の心配もなく、安定した生活を送れる。
- ・ボランティア精神のある働き手たち。仕事だけではまちを活性化できない！祭りやイベントなど、地元愛のある社員がいれば大きくなれる！
- ・10年後の働き手たち、ロボットが主体になっているかもしれない。
- ・オンもオフもバリバリな働き手たちは、いっぱい給料をもらって、休日は趣味を楽しむ暮らし！
- ・地元へ就職した、スポーツを楽しんでいる働き手たちは、会社の勤務も楽しく暮らしている。市はスポーツ施設を充実しているので、地域の仲間とスポーツを楽しんでいる。
- ・仕事で自分を表現する働き手たち、大館でも自分の可能性が実現できるようになっていればいい。
- ・チャレンジ出来る働き手たちは、諸条件に縛られず、チャレンジする意欲の有る人間には機会が与えられる体制や雰囲気づくり。賢い消費者・賢い市民・賢い労働者、長期の社会展望を持つ人間に。2025年以降の人口動態危機時に供える。

- ・地域内で生活のニーズを満たすことの出来る若者たちは、進行する人口減少社会に供える。地産地消の循環社会をイメージする。住まいや仕事に不自由しない。
- ・地元のエネルギーを作り上げる若者たちは、大館になにか足りないもの。こうすれば地元が良くなれるはず！
- ・発想の転換で、「ない」を「ある！」に変える若者たちは、どれだけ自分らしく生きられるか、自分の環境を楽しめる奇抜な発想と創造力で、地域で生きる。
- ・10年後の若者たちが、様々なことにチャレンジできる地域であればいい。
- ・10年後の若者たちが、食べて遊んで買い物ができる場所がいっぱいある暮らしだとよい。（弘前なんか行かなくていい！）
- ・若者たち全員が、地元就職できるような暮らし。

- ・地元へ戻り、田舎暮らしを楽しむ学生たちは、大学や他地域で学んだ事を大館で活かしている。自らも何か行動ができる！環境が整っている暮らし。
- ・地元へ就職しようとする学生たちは、市内へ自分の特性を生かせる企業が進出してきたので、転職を考えることができる暮らし。
- ・希望が持てるまちの学生たち。夢を持てる地域と、故郷が好きになる暮らし。
- ・市内でも生活へ方途を見出せる学生たち。市外へ流出した若者は殆ど帰って来ない市内でも生活の道は有るという受け入れ態勢を整える。Uターン組が就職出来るよう、年齢、性別、経歴にこだわらない人材活用を。
- ・10年後の学生たちにも、マナー・常識・エチケットを忘れないでほしい。

～10年後の大館西地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・仲間づくりをしながら楽しく暮らすおじいさん・おばあさんは、なんでも話し合いながら、地域の一人であることが「実感」出来る生活を送っている。
- ・定年後のおじいさん・おばあさんは、安心して心豊かに生きられる環境で暮らす。新しい関係が生まれる地域。チャレンジし放題、楽しそうなお年寄を子供達が見られるといい。
- ・孫も大きくなった70～80歳のおじいさん・おばあさんは、運転免許も返し、買い物はバスを利用。デイサービスやサークルなどに参加して、老後を楽しんでいる。
- ・免許を返納したおじいさん・おばあさんは、車を持っていたときと同じように、好きなときに（手厚い割引きなどにより）バス、タクシーを使って出掛けられる暮らしをしている。
- ・健康で楽しく働くおじいさん・おばあさんは、体力に合わせて、自然に囲まれた地域で農作業をしている。

- ・なんでも話し合う子育て夫婦は、お互いに頑張れる暮らし。
- ・生まれたばかりの子がいる夫婦は、子育てがしやすい暮らし。子育て休暇がきちんととれる（第二子、第三子と考えられる）、職場に復帰できる、在宅ワークなどの選択が出来る環境にある。
- ・小学生、保育園児のいる夫婦は、共働き夫婦であっても、近所に頼める暮らし。親や親戚がいて、安心して働ける。
- ・保育園児、小学生の子供を持つ夫婦は、人数が少ないながらも近くに学校があり、地域の人との交流もたくさんあり、相談事など支えてもらえる暮らし。
- ・生活に余裕のある子育て夫婦。学費や、医療費、など子育てにお金がかかるが、お金の面で心配事が減ると子供を作るのに不安が少なくなるのかな？少子化問題。

- ・目的を持つ夫婦は、二人で喜びをわけあう暮らし。
- ・他県から伴侶を得た夫婦は、自分達も満足できる暮らし。親・兄弟・友達を呼びたくなる（観光、就職、移住、結婚 等々）地域であってほしい。
- ・退職した専業農家の夫婦は、農業に専念して、そこそこの安定した暮らし。
- ・都会から引っ越してきた夫婦は、今までと大差ない給料に加え、休日は、温泉、散歩コースの公園。今まで以上にのんびりできる暮らし。
- ・子育てが終了した夫婦は、子供達が独立し夫婦で農作業しているかな？子供達にも子供が生まれているかもしれない暮らし。
- ・子育てが終わった夫婦は、休日は共通の趣味で笑って過ごす暮らし。

- ・IT、IoTが進んだ働き手たちは、人に出来る事が何か、自分の仕事が何かにつながっているのか、支え、支えられていることがより実感できる仕事にあふれていけばいいな。
- ・地域を愛する働き手たちが、大館大好きになれるような暮らし！
- ・大館を背負って立つ働き手たちは、自分の仕事にやりがいを持ち、自分と家族のために働けている。
- ・二井田工業団地の働き手たちは、住みやすい地区と評判が広まり、会社が増える。
- ・二井田工業団地に勤める働き手たちは、近くにアパート、ショッピングモールがあり、出勤の時間が短くて済み、娯楽も近くで済む暮らし！
- ・大館生まれの若者が、働き手として地元に残って地域を支える。
- ・10年後の働き手たちは、担い手である。

- ・結婚して、子供のことも考えられるようになった若者たちは、自分の子供から好かれる親になってほしい。
 - ・大館を好きになる若者たちは、空気もよく、人もあたたかく人と分かり合い、人口が増える暮らし。
 - ・大館を離れた若者たちは、ふるさと納税や各種クラウドファンディング等、何らかの形で出身地を応援してかかわっているといいな。将来的には“帰りたい”、大館で“これをしたい”という思いと力を持ってきて欲しい。
 - ・都会から引っ越してきた、帰ってきた若者たちは、やりたい仕事につけ、充実した暮らし！
 - ・職場選びに困らない若者たち。大館でも家族を養っていける給料がもらえる？今はあまり高くないと思う。（県外流出の原因）
 - ・大館で暮らす若者たちは、仲間とスポーツで汗を流し、健康に過ごす暮らし。
-
- ・将来を考え始める学生たちは、大館市でいろいろな仕事の情報があってやりたい仕事を選べる。未来に夢が広がる暮らし。
 - ・地元就職を考える学生たちは、大館のよさを知り、ネットなども利用して、大館に他の地域から呼び込む様な、若者を増やそうと協力しあう。
 - ・地元就職を考える学生たちは、さまざまな地元企業に働く先輩（OB、OG）からの話を聞けるチャンスがある。見学、体験などの充実。地元企業について知れる！身近に感じられる暮らし！
 - ・地元へ就職したい学生たちは、得意な分野で働き、休日は山登りでリフレッシュできる暮らし。
 - ・大館の大学や、学校専門学校で学ぶ学生たち、若者がたくさんいるとまちが元気に！
 - ・夢を持つ学生たちは、夢達成、バンザイが出来るように！
 - ・都会に出たい若者たちは、大館で育ったことを誇れるように。

～10年後の大館南地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・セカンドライフが充実しているおじいさん・おばあさんは、退職後に「趣味」を作れる、楽しめる暮らし。場所の提供（公民館、レンタルスペース、市民農園など）、プラン、アイデアの提案（・市民活動センターや、公民館、スーパー等で、サークルの案内があれば嬉しい）。
- ・免許を返納したおじいさん・おばあさんは、バス、タクシー、電車などの交通インフラ（住民が行う輸送サービスなど）が行き届いて、快適に買い物したり、病院に行きやすくなる。インターネットを使いこなして、地元をPRする高齢者Youtuberに！
- ・老い知らず！のおじいさん・おばあさんは、毎日の温泉でますます元気に。労災病院ピンチ！？
- ・野菜を作っているおじいさん・おばあさんは、山のいもを食べて、より元気に。クリスマスにはお肉屋さんのお肉を食べる暮らし。

- ・拡大家族・核家族などの子育て夫婦は、子育てのワンオペがなくなって、母（もしくは父）一人の負担が減る。姑問題との適度な距離を保てる暮らし。
- ・いろいろと大変で忙しい子育て夫婦は、アトピーのひどい子供がいるけれど、地元のおじいちゃん、おばあちゃんといっしょに暮らして温泉に入ったら治った！こっちに戻ってきて良かったあ。学校環境もいいね！
- ・夫、妻、地域と協力して子育てしている夫婦は、幼稚園、保育施設が利用しやすい環境（空き状況がすぐにわかればうれしい？）で暮らせるとよい。共働きの場合、託児サービスがある施設がたくさんあればよい。会社で産休、育休がとりやすいようにできればよい。
- ・今、他の所に住んでいる子育て夫婦も、10年後には公民館で3人一緒に太極拳！

- ・共働きの夫婦は、お互いに家事をこなして生活のプロフェッショナルに！仕事の相談をしやすい関係性を保てる暮らし。
- ・我が家が一番！！と言える夫婦は、マイホーム購入、古民家リノベーションのため、補助金制度を活用できる暮らし。トラブル時に連絡、相談できるリストが欲しい。
- ・最近結婚した夫婦は、鞍掛山に登って元気な子供をつくる暮らし。
- ・10年後、自分が生まれ育った地で結婚生活を送りたいと考える人が増えてくれたら…

- ・働き手たちは、休日は温泉に入って、より元気に働ける暮らし。
- ・地元企業などに勤めたり、個人事業主や、趣味を仕事にしたい働き手たちは、培ったスキルの専門性をさらに高めることで仕事が増えて、県外から仕事をもらうようになる。作った商品（サービス）を買いに観光客を集客できる暮らし。
- ・働くモチベーションを維持できる働き手たちは、コンプライアンスチェックを定期的にする会社で働く暮らし。セクハラ、モラハラも敏感に。昇給、有休、働き手の目線になってほしい。
- ・公共交通機関が整った働き手たちは、電車・バスの利用者が増え、通勤時間も有効利用。残業はなくなり、早く終わって一杯！10時の終バスで帰宅。明日もがんばろう！という働き方が増える。

- ・ 県外にいる大館出身の若者たちが、第二の陽気な母さんの家をつくる。
- ・ 仕事以外の場所をみつきたい若者たちは、自分のまちに興味をもって、町内会や地域の行事に参加したり、企画したりする。趣味を生かした取り組みを外で行うことで、いろいろな人がかかわれるイベントを開く。市内外問わず、悩みを共有する仲間が増える。
- ・ 仕事を選ぶ可能性が沢山ある若者たちは、高校 or 大学の卒業後に、地元での就職の選択肢が沢山ある暮らし。「この会社に入りたい」「この仕事がしたい」、地元で働きたいと思う若者が、魅力を感じる選択肢が増えていく。
- ・ 地域の良さに気付いた若者たちは、「今のままじゃいかん」と気付き、地元に住んで市内へ就職。結果、地域に活気が生まれた暮らし！？

- ・ 県内に残る選択肢をもちたい学生たちは、地元企業への就職や、地元の資源を活かして起業するような人材に育っている。学校を卒業する前に、ファイナンシャルプランナーから指導を受けるなどして、人生設計を立てられる。自主的な活動に興味をもつ学生が増加。
- ・ 安全・安心に通学して、皆勤賞をもらえる学生たちは、学校へ行くのに「障害」「妨げ」となる要素の少ない暮らしをしている。スクールバスの運行（僻地、遠方からの通学者のため）、道路の整備（歩道、自転車専用道路）、地域パトロール隊が見回り（夜道での恐怖を和らげてほしい）。
- ・ 徐々に地域へ戻ってくる人、定着する人が増え、学校のクラスも増えた。友達の数も増え、毎日の学校が楽しいな、ずっとここに住んでいたいな…と考え始める学生たち。
- ・ 10年後に学んでいる学生たちは、お肉屋さんの肉を食べて元気に！病院など地元で働ける場所に就職できる暮らし。

～10年後の大館北地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・元気なおじいさん・おばあさんは、景色がよくて、歩道が整備された毎日歩きたくなるようなまちに暮らしている。
- ・元気なおじいさん・おばあさんは、充実した暮らしで、畑や庭づくり、サークル活動などピンピンコロリを目指す生活。
- ・元気なおじいさん・おばあさんは、自助・共助で生きがいをもつ暮らし。
- ・かかしをつくるおじいさん・おばあさんは、今年のテーマは「〇〇！」まーたインスタのフォロワーが増えちゃうぜ♪（そんなイケてるシニアがいたらいいな♡）
- ・活発なおじいさん・おばあさんは、元気に出歩く暮らしをしている。

- ・幸せそうな子育て夫婦は、おじいちゃん、おばあちゃんにも育児に楽しく協力してもらいやすいまちに暮らしている。
- ・子だくさんの子育て夫婦は、小中学校にはスクールバスで通学。この学区に住みたい人が移住してきて、にぎやかなまちに。
- ・3世帯で暮らす子育て夫婦は、家族で助け合う暮らし。
- ・自然いっぱいの環境で暮らしたい子育て夫婦は、水がきれいで安心した暮らし。ひまわり畑に遊びに行こう！仲間とテニスがたくさんできる！
- ・子育て夫婦は、大館（田舎）で安心できる子育てをしている。
- ・子育てが大変な夫婦は、近所で見守る暮らし。

- ・新婚ホヤホヤの夫婦は、マイホーム、マイカーの購入、大家族など、出費が多くても暮らしやすいまちで暮らしている。
- ・いつも笑顔の夫婦は、ゆとりのある生活、地域の人々とも交流し楽しい暮らしをしている。
- ・移住してきた夫婦は、温泉にいつでも行ける生活にあこがれてやって来ました！うちのおふろも源泉です！
- ・3世代同居の夫婦は、おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさんそして子供と一緒に暮らしている。

- ・バリバリ働く働き手たちは、家庭と仕事の両立ができる、ワークライフバランスのとれたまちで暮らしている。
- ・仕事やお金に満足している働き手たちは、それぞれが満足する仕事をして、労働に見合う収入を得られる。ワークライフバランスが良い暮らし。
- ・リーダーとなる働き手たちは、地域のリーダーにもなって活性化に協力する。
- ・10年後の働き手たちは、自慢の肉をみんな食べにきてねー！おいしいお魚を釣って、焼いて食べてみませんかー？と、美味しいご飯をふるまう暮らし。
- ・10年後の働き手たちは、東京に行かなくても、東京の仕事が地方でできる暮らし。

- ・働きざかりの若者たちは、職業選択の幅が広い、未来の選択に幅があるまちで暮らしている。
- ・充実した生活を送る若者たちは、表情が明るく、仕事や遊び、勉強にそれぞれ打ち込む物があり、未来に希望を持っている。
- ・結婚しない若者たちは、若者たちの交流の場（サークル等）を多くつくる。
- ・大館が大好きな若者たちは、おいしいものがたくさんあって嬉しいなあ、飲み屋が近くにある、みんなと集まりやすいなあと感じながら暮らしている。
- ・大館大好きな若者たちは、たくさんイベントがあって、遊ぶ場所がたくさんと感じている。（仕事も遊びも大館）

- ・部活等の青春を謳歌する学生たちは、部活、勉強に励みやすい環境で暮らしている。
- ・地域でたくさん見かける学生たち。地域の行事にもたくさん参加、よく学びよく遊べる子供が増えるといいな。
- ・地元で働く学生たちは、大館の企業・起業でガンバっている。
- ・地域に遊び場がある学生たちは、〇〇に放課後集合ね！買い物もしやすいね！ずっとここで暮らしたいな、と思いながら暮らしている。
- ・一度は進学で県外へ出る学生たちも、また戻ってきて働く暮らし。

～10年後の比内地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・ 自宅で暮らすおじいさん・おばあさんが、歩いて通える商店街で日々の暮らしに必要な買い物ができる暮らし。お店側も、電話注文や配達など積極的に！
 - ・ 今、孤独を感じるおじいさん・おばあさんも、10年後は、近所の若者が老世帯を気にかけてくれるように。困ったことがあったら相談にのってくれる、安心した生活ができる暮らし。
 - ・ 比内地域で庭と畑づくりをするおじいさん・おばあさんが、買い物、散歩、家族の食事づくりができる暮らし。
- ・ 比内地域で子育てを楽しむ子育て夫婦は、子育て、食事を楽しめる暮らし。仕事や職場と両立し、遊べる暮らしをしている。
 - ・ 安心、安全、ゆとりがある子育て夫婦は、食の安全を守る暮らし。地域の見守りや待機児童0のまちで、一人一人の子供を手あつくみられる。
- ・ 私達夫婦は、小さな商店を守る主人、小さな会社を支える私として、地域の活動に積極的に参加しながら、後退することなく扇田の活性化にがんばる暮らし。
 - ・ 比内地域で安全な食材づくりをする夫婦は、家族、老若男女、三世代、食卓を囲む地域づくりの暮らし。
 - ・ 家業を継承する夫婦は、みんなが地域に関心をもって、先祖代々、地域の伝統と比内ブランドをみんなで守りぬく暮らし。
- ・ 30～40代の働き手たちは、自分達より上の世代、下の世代をつなぐパイプとして働く暮らし。
- ・ 比内から巣立つ学生たちには、高校、大学と比内から出て経験したことを、できるなら地域に戻って働いて役立ててもらいたい。
 - ・ 比内地域で仕事のスキルアップをする学生たちは、さまざまな仕事に関心を持って、好きな仕事にチャレンジし、選べる仕事がある暮らし。

～10年後の田代地域、まちのみんなはどんな暮らしをしている？～

- ・ おじいさん・おばあさんが、いつでも行動できる交通がある暮らし。
 - ・ おじいさん・おばあさんは、車の運転ができなくても病院通いに苦労せず、（バス等）地元の特産品を買える場所がある暮らしをしている。
 - ・ 暮らしを楽しむおじいさん・おばあさんは、自動運転でバス停まで行き、そこからバスで街中へ。病院も買い物も楽々できる暮らしをしている。
 - ・ 元気で健康なおじいさん・おばあさんは、地元の食材で健康で長生きし、若者と仲良く生活できる。
- ・ 子育て夫婦は、地域の人々と子育てができる暮らし。
 - ・ みんなで子育てをする夫婦は、地域の施設へみんなが子供を連れて集まっておしゃべりしたり子供同士遊んだりできる暮らしをしている。
- ・ 共働きをしている夫婦は、週末はスポーツをしたり、山や川へと自然を満喫する暮らし。
- ・ 新しい企業の働き手たちは、地元で働く人がいる暮らし。
 - ・ 地元で働く働き手たちは、バイオマス、蓄電設備など、エネルギー関連産業、新しい企業で働ける暮らし！地元の資源、森林資源を活用する・
 - ・ 農業をやっている働き手たちは、農産物を使って六次産業化を進め、おにぎりなどもうかる仕組みをつくって暮らしている。
 - ・ 地元でものづくりをしている働き手たちは、ここにしかない技術、各分野の得意なことをPR。そこで働きたいと思う企業で働く暮らし。
- ・ 若者たちは、農林業を中心に働く暮らし。
 - ・ 地元でバリバリ働く若者たちは、在宅でも仕事ができ、必要な時だけ東京の本社へ行く新しい働き方をしている！
 - ・ この地で暮らす若者たちは、安定した仕事をして、結婚後も休日には自然を楽しめる。
 - ・ 働きがいのある若者たちについて、新しい企業が地元ででき、世界に通用する商品・他 開発が進み、若者の職場が多くなる。生活も安定する。
- ・ 地元へ帰ってきたい学生たちは、一度は県外へ出ても、地元へ戻って起業！
 - ・ 学生たちは、ネットワークを通じて世界の情報を得つつ、環境の良い中で学習し、自分の未来を考えることができる暮らし。
 - ・ 学生たちが、中心部から離れても便利な通学ができる暮らし。
 - ・ 地元で働こうと思う学生たちには、地元の企業に若い人が多く働く会社がある。地元で発信する会社に勤める暮らし。

地域のキャッチフレーズ発表（20：15～20：25）

大館東地域	<p>「夢 チャレンジ おおだて ～みんなで〇〇な大館を作ろう～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇に入るのは、「充実した」「（いろんな意味で）健康な」など。 ・キーワードは、楽しむこと、地元に戻る！ということ。 ・自分の生活をどうしたいか？を考える。
大館西地域	<p>「笑顔が生まれる地域社会」</p> <p>「若者から、大館のよさを全国発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼも多く、二井田工業団地では若い人がたくさん働いている。農業・工業の良さを、地域から全国へ発信して、若者を呼び込みたい。 ・高速道路もあるし、道の駅、アスレチックなどがあるといいな。
大館南地域	<p>「私のホームタウンみつけた、フルーツロードが帰り道」</p> <p>「温泉から世界発信 ユーチューブで配信」</p> <p>「これが私の好きな〇〇です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道103号（フルーツロード）を通ると、陽気な母さんの店、神社などがあり、自分のホームタウンと感ずることができる。 ・温泉や十二所の歴史を世界に発信していきたい。 ・私の好きな〇〇は、あえて空欄とすることで、それぞれが好きなものを見つけてもらいたいと考えている。
大館北地域	<p>「多世代が気軽に交流できる住みよいまち 大館北地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりでインスタ映え！ ・ピンピンコロリ、笑顔でいきいき、高齢者を含む誰もが気軽に交流しながら暮らせる住みよい地域にしたい。 ・公民館で飲み会等、楽しく交流。
比内地域	<p>「確立したブランドと共に いろんな事が超（Super）ちょうどいいまち、比内」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比内は、暮らしが自立している地域だという意見が多かった。 ・比内鶏のほかに、ホップ、葉たばこづくりを進めている。地域内外からみても、しっかりと確立された比内ブランドを、これからも活かしていきたい。
田代地域	<p>「自然の恵みとともに、多世代が住みよい地域づくり（仮）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な世代が、ともに輝ける地域にしていきたい。 ・キーワードは、六次産業化など自然の恵みを活用・PR、地元でも働ける環境づくり、地域の文化を受け継ぐ、若者と高齢者の交流、自動運転など。

4-3 第3回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」

第3回 ワンだフル！おおだて（大館市市民ワークショップ）

日 時：2018（平成30）年5月15日（火） 18：30～20：30

場 所：大館市立中央公民館

◆テーマ

「地域と地域のつながりについて考えよう！」

目的) ・自分の暮らす地域について、地域内外から見た特徴を整理し、これから地域が目指すべき姿を共有する。

◆次 第

18：30～18：32	開会あいさつ (大館市役所建設部都市計画課)
18：32～18：45	WSの概要説明（目的と前回までのふりかえり）
18：45～19：10	ワークショップ ラウンド1 ～これからも住み続けるために～「大館市に必要な機能は何だろう？」
19：10～19：20	ワークショップ ラウンド2 ～〇〇にあったらいいな～「その機能はどこにあったら便利だろう？」
19：20～20：15	ワークショップ ラウンド3 ～一緒に出来ること探し～「地域と交流してアイデアを出し合おう」
20：15～20：28	発表
20：28～20：30	閉会あいさつ (大館市役所建設部都市計画課)

- ・参加者総数 26名
- ・事務局 大館市役所：8名
協和コンサルタンツ：7名

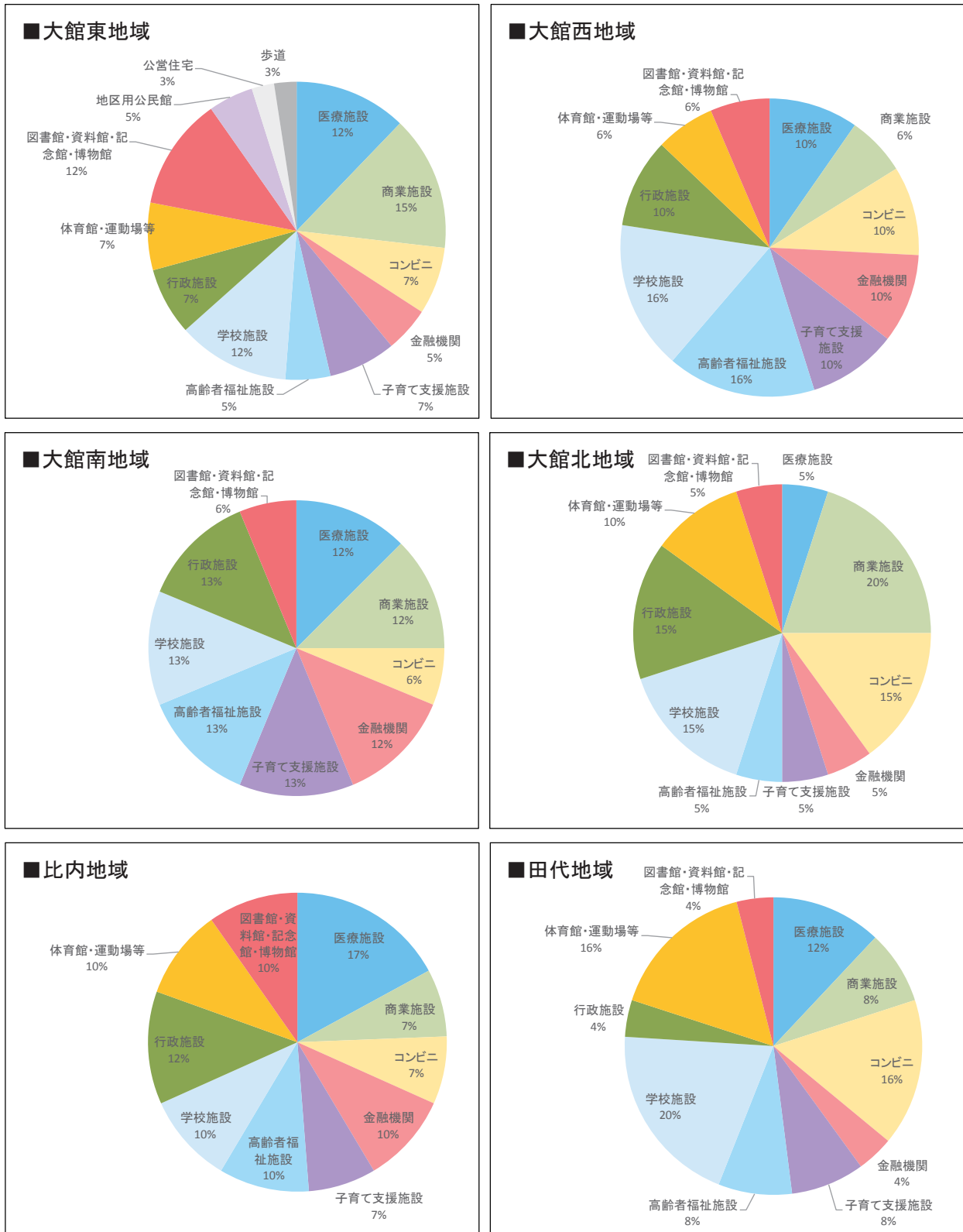
◆開催記録

ワークショップ ラウンド1 (18:45~19:10)

～これからも住み続けるために～「大館市に必要な機能は何だろう？」

◇ 自分の地域にある施設や機能を再確認し、大館で・今の地域で10年後も20年後も暮らし続けていくために、必要な施設や機能を整理する。そして、特に重要と考える機能や施設に●にシールを貼り、内容を共有した。

【地域別必要な施設や維持していきたい機能】



ワークショップ ラウンド2 (19:20~19:20)

～〇〇にあつたらいいな～「その機能はどこにあつたら便利だろう？」

- ☆ 大館市で・今の地域で快適に住み続けていくために、あらたに欲しい施設や機能を考える。
そして、それがまちなか・自分の地域どちらに必要なものかを考える。

■大館東地域

「自分の地域」にあつたらいいと思う機能や取り組み

- 樹木葬ができる所
- 地区コミュニティ（町内会を集合した地域）
- ドッグラン
- 子どもたちと高齢者がふれあう機会
- 図書館の連携サービス
- 近くで日用品を手に入れられる
- 各住宅から徒歩圏内に小売店（日用生活品）
- 地域産業

「まちなか」にあつたらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 若者が集まれるところ
- 美術館・地区公民館（東地区には中央公民館がない）
- 室内プール場（大会もできる）
- 中心市街地に人が集まる所 複合施設
- 公営住宅 賃貸アパート（市街地限定）
- わらべ館（子供が集まる場所）（親と子の交流）
- 飲食店がほしい
- 観光客のために土産スペースが欲しい
- 働き口
- まともな歩道
- 自転車専用道路

■大館西地域

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 二井田・真中インターの所に道の駅・子供の遊具、野菜の直売所
- 町内で支え合う場所（グループホーム）
- シニアに優しい広い道
- 子供から高齢者まで誰でも集まってゆっくりできる場所
- 誰もが簡単に借りれるスペース（6人以上）
- 運転免許返納後の買い物、通院などの交通機関
- スーパーができることにより、子供が増える
- 子供を自由に遊ばせられる場所
- 困った時に相談できる場所
- 遅くまで入れる温泉施設（のんびり出来る）
- 散歩しながら寄ってお茶を飲める場所
- 白鳥の居場所

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 郷土歴史館（歴史を伝える場所）・観光客を集める多喜二生誕の地
- 誰もが簡単に借りれるスペース（6人以上）
- 買い物を楽しめるショッピングロード
- 若者の遊び場（スケボー等）
- 秋田犬とふれあえる
- 遅くまで入れる温泉施設（のんびり出来る）
- おいしいものがみんなで食べられる場所

■大館南地域

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 発達した公共交通機関
- 簡易郵便局
- 町内の人どうしてふれあえる場（閉じこもり予防）
- 飲食店
- 設備が整ったスキー場
- 災害時の助け合い（みんなで防災話し合い）足の不自由な方もいるので。
- ATM（ゆうちょ、秋田、北都、JA）
- 買物、送迎バス
- （生活・観光）情報を収集できる場所 Wi-Fi が使えるとよい
- 喫茶店
- スポーツジムのなもの（エリアにあれば・・・）
- 本屋

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 民宿（観光目的以外の人も気軽に泊まるとよい）
- 駅ビル
- 健全で賑やかな繁華街
- タクシー会社、台数
- リサイクルショップ 福祉バンク
- 家族で楽しめるレジャー施設（娯楽）
- 買物、送迎バス

■大館北地域

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- プール施設（温水）
- 雪の相談、助け合いができる
- 安全にウォーキングやランニングできる場所
- 温泉活用温水プール（観光も考える）
- 室内温水プール 競技用サブプール
- プロスポーツチーム
- 子供達向け（ある程度 強い 専門的）スポーツチーム練習場所
- 産直コーナー、道の駅
- 弘前に負けないなにか。人？（関西っぽい）
- ポケットパーク（みんなで作れる畑や花壇）
- リラックスできる公園
- 中学生の防災活動
- まともな歩道（冬でも！！）歩道がつぶれる
- 交通網コミュバス

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 専門性のある病院 産婦人科 リハビリセンター
- 専門性の高い病院
- 夜遅くまで使える多目的ホール 勉強、おしゃべり、会議など
- 習い事ができる
- 来訪者が住民と気軽にお話できるようなところ
- 車を使わない夜の遊び場
- フードコート（行ってからなにを食べるか選べる）
- 大規模なイベントができる施設
- イベント、フェス
- 体験の場（泊まるように）
- 病院
- 産婦人科病院
- 総合診療科のある病院
- 大館ですべて出来る病院（他市へ行かない）

■比内地域

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 自然をながめる展望台
- 将来を語る場所
- 市民運動会に変わる交わりの場
- 達子森遊歩道 山、丘、川 周遊
- 市民の森の整備発展
- 小さくていいので文化ホール
- まちなか博物館 カフェ
- 町の中になにがあるのかを知らせる場所

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- ミニコンサートホール
- 美術館
- まちなか博物館 カフェ
- 知らせる工夫が必要
- 市民の交わりをうながす広報

■田代地域

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 子供達、家族で安心して遊べる場所、イベント
- イベントを開催できる広場、施設
- バスの待ち時間を楽しく休める場所。無料。
- 安価な交通手段。ドアからドア 高齢者
- 免許返納後の支援があればいいな～ 安価での送迎、買物ツアー等
- 市の取り組みでいろんなスポーツ大会を企画し、年代関係なく参加出来たらな
- 気軽にスポーツ（フットサル、3 on 3 など）ができる施設
- 便利な位置に「駅」
- 小さな子供達と高齢者のふれあいの場があればいいな～
- 高齢者でも楽しめる場所、集まれる場所
- 年を取っても家から出て楽しめる場所 認知症防止
- 子供が安心して遊べるところ
- 気軽に医療相談が出来る仕組み
- バス時刻表のアプリ（乗り継ぎ）
- （土産物など）特産物が集まっていて、買いやすい所にある
- 観光相談所（山の案内含め）各駅にあったらいい
- 遠方から来た人を案内出来る観光施設
- 駅のまわりに高校生が入れるようなお店があったらいい

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組み（●はイチ押し）

- 市民が気軽に泳げるプール
- 市営のフィットネスクラブ
- 大館の伝統行事を学べる所、機会を！！
- 新幹線の駅
- 著名なアーティストが呼べるライブ施設
- 大型商業施設 大館に残り、働ける場所
- 人気ブランドのモノが買える商業施設
- おいしいスイーツを提供するカフェ
- 地場産農産物がおいしく食べられる所
- 他県にいかなくとも買えるショッピングセンター（モール）あったらなー
- 子育ての総合施設
- 遠方から来た人を案内出来る観光施設

ワークショップ ラウンド3 (19:20~20:15)

～一緒に出来ること探し～「地域と交流してアイデアを出し合おう」

- ◇ 他の地域と交流してアイデアを広げ、実現できそうなもの、地域同士で協力して進められそうなものについて整理する。
- ◇ 集まったアイデアをつなぎ、地域のキャッチフレーズを考え、発表を行う。

「まちなか」にあったらいいと思う機能や取り組みの実現につながるアイデア

秋田犬とふれあえる	⇒日本一のドッグラン施設を。(田代)
美術館	⇒郷土の美術家の作品展示だけでなく、市民も気軽に展示ができれば良い(大館南)
飲食店がほしい	⇒夜に開いている飲食店が少ない(比内)
	⇒うらやましい。北はないよー(大館北)
まともな歩道	⇒市内はいい方です(大館北)
公営住宅 賃貸アパート (市街地限定)	⇒夏だけでも北地区に住む(大館北)
リサイクルショップ 福祉バンク	⇒比内と十二所では一緒にできることの可能性があるはず(比内)
家族で楽しめるレジャー施設(娯楽)	⇒大滝温泉の活用(温水プールトムトムのような・・・) (大館北)
まちなか博物館 カフェ	⇒まちなかにあれば行きたい(大館南)
市営のフィットネスクラブ	⇒プール屋内 サブプールもあるとよい(大館北)
	⇒冬運動する場所欲しいですよね!(大館北)

「自分の地域」にあったらいいと思う機能や取り組みの実現につながるアイデア

大館西	スーパーができることにより、子供が増える	⇒企業を呼ぶなら地元の企業を！（地区なし） ⇒社員や周辺地域のために、スーパー誘致（地区なし）
大館西	二井田・真中インターの所に道の駅 子供の遊具、野菜の直売所	⇒立花地域にもぜひ！田代の農産物もぜひ！（田代） ⇒田代地区の名産物もおいてほしい 近くにJAの選別所がある。 近い！！（地区なし）
大館西	町内で支え合う場所 （グループホーム）	⇒子供が小さくて出歩けない人もいる（地区なし）
大館南	（生活・観光）情報を収集できる場所 Wi-Fiが使えるとよい	⇒一緒にやりたいな！（比内）
大館南	喫茶店	⇒一緒にやりたいな！（比内）
比内	達子森遊歩道 山、丘、川 周遊	⇒公園、確かに必要！（大館東） ⇒トレッキングコースが整備されたらぜひ行きたい（大館南）
比内	将来を語る場所	⇒参加すると楽しい（大館南）
比内	市民運動会に変わる交わりの場	⇒どこも集いの場は必要と思います。（大館南） ⇒わらべ館のように子供が集まって遊ぶ場。（フリーで！）（大館東）
田代	子供達、家族で安心して遊べる場所、イベント	⇒田舎館村 道の駅のような ・アスレチック ・直売所 ・週末はフリマ あるとイイネ！（大館西） ⇒大きめの直売所があるとイイネ！（大館西）
田代	子供が安心して遊べる場所	⇒高齢者でも、離れたところの人もみんなゆっくりできるといいな！（大館西）
田代	バス時刻表のアプリ（乗り継ぎ）	⇒アプリの使い方を教えてくれる人、場（大館西）
田代	安価な交通手段。ドアからドア 高齢者	⇒交通に困ってるみたいですね。（大館北）

地域に欲しい機能・あったら良い取り組みについて発表（20：15～20：28）	
大館東地域	全体として、「常に集まることができる」という考え。
大館西地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ニプロ(株)や工業団地、下川沿駅など、ほとんどの施設が揃っているが、その施設を将来なくさないために人口減少を食い止める必要がある ・ＩＣを活用し、地域での地産地消を目指す。 ・シニアと、若者の定着を目指す。 ・観光資源をもっと活用する。安藤昌益の墓などあるが、今は点の状態だ。点を線で結んで、面にしていきたい。 ・人口減少を食い止める地域社会へしていきたい。
大館南地域	<ul style="list-style-type: none"> ・あったらいいなと思うものはあるが、移動の足がない。 ・買い物のための送迎バス、コミュニティバスが要る。今の運行本数は少なく、市民の足を確保することが重要。 ・他の地域とのつながりについては、比内地域が近く、喫茶店を情報発信・収集できる場所として活用したいという意見が出された。比内の産直に隣接する情報スペースを充実させてはどうか？ ・比内地域とは車で行き来できるので、「どういった機能が必要か?」、「どうやっていけばいいか?」をこれからも一緒に話し合っていきたい。
大館北地域	<ul style="list-style-type: none"> ・室内温水プールと総合施設ができる予定なので、みなさんぜひ来てください。 ・除排雪をしっかりと、雪捨て場があるといいなと感じている。 ・他の地域と比べて、子どもや高齢者に関する意見が出てこなかった。つまり恵まれていることなのかな、と思っている。
比内地域	<ul style="list-style-type: none"> ・「語ろう、ワクワク未来！」 ・自然や娯楽を作り上げる、構築するのは自分たち人間である。 ・少ない人数だとアイデアも少なく、もっと話し合う人数を増やしたい。情報発信して、集まった人たちが未来を語る場だよ、来れば楽しいんだよ、ということを知ってほしい。 ・このような場所を開催して、それを継続することが大切。 ・今は、誰かが何かをやってくれる時代ではない。自分たちでやっていくことが必要。
田代地域	<ul style="list-style-type: none"> ・田代地域は、一本の公共交通で移動することが難しい地域。 ・子どもやお年寄りが安心して利用できるコミュニティバスが必要。 ・子どもが利用できる遊び場が要る。 ・大館から近隣市町村に「出かける」ではなく、近隣市町村から大館に「やって来る」目的となるものがあまりないと思う。 ・他地域から来たく目玉施策を一つでもつくっていきたい。

第4回 ワンだフル！おおだて（大館市市民ワークショップ）

日時：2018（平成30）年8月4日（土） 13：00～15：30

場所：大館市立中央公民館

◆テーマ

「地域で実現してみたいことを考えよう！」

目的) ・ 『ふるさとキャリア教育』の講演による各地域の取り組みを踏まえて、未来の暮らしにつながるのアイデアを考える。

◆次第

13：00～13：05 開会あいさつ

（大館市役所建設部都市計画課）

13：05～14：00 『大館ふるさとキャリア教育』の講演

14：30～15：20 ワークショップ

～地域で実現してみたいこと～

（第5回『みんなで進めるまちづくり』の発表に向け、これまでに出されたアイデアや地域で実現したいことのまとめ）

15：20～15：25 閉会あいさつ

（大館市役所建設部都市計画課）

・参加者総数 26名

・事務局 大館市役所：8名

協和コンサルタンツ：5名

◆開催記録

◇ 『ふるさとキャリア教育』の講演による各地域の取り組みを踏まえ、これまでに出されたアイデアや地域で実現したいことをまとめ、第5回『みんなで進めるまちづくり』の発表に向け、発表会の資料作成を行いました。

◇ 第5回では、引き続きアイデア交換・発表資料のまとめ（約1時間）を行います。


◆発表資料（第4回までの発表資料作成状況）

大館東地域

『大館東地域』で実現してみたい取り組み

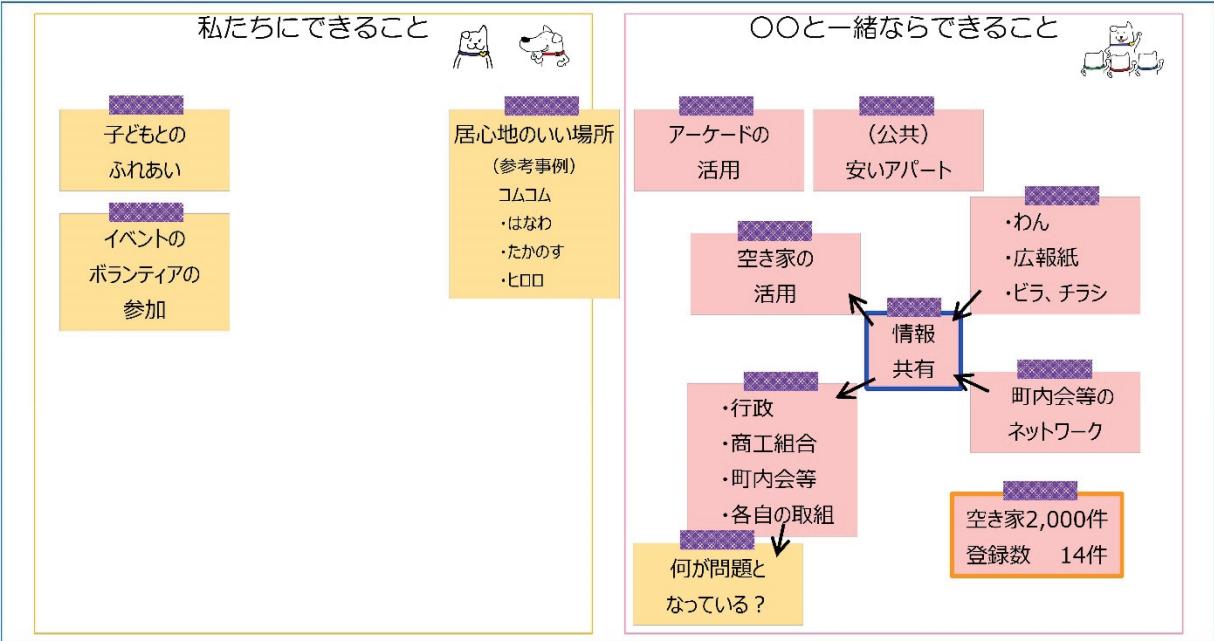
『大館東地域』のキャッチフレーズ

夢チャレンジおおだて ～みんなが集う大館をつくろう～

実現したい取り組み 

正札跡地活用！！ 正札 常に集まる場所

実現するためにできること



感想やアイデア  

Blank area for comments and ideas.

『大館西地域』で実現してみたい取り組み

『大館西地域』のキャッチフレーズ



農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域 ～大館のよさを全国発信～

実現したい取り組み



地域ごとの特色を出した拠点づくり 二井田・真中・下川沿それぞれに

実現するためにできること

私たちにできること 			〇〇と一緒にできること 		
各地区に子どもと親が遊びに行ける場所をつくる	ブルーベリー、アスパラ、豆、ネギなどの収穫体験	地区の特色を発信する	小学校と一緒に農産物の収穫	企業（工業団地）と連携して地区のPR	ニプロと一緒に夏祭りなど交流・連携
地区ごとのお茶会（婦人会・老人クラブの協力）	何人かのリーダーをつかってみんなを集められるようにする	地元の良さをPRする！！	工業団地でとれたての野菜を売る	羽州街道に来る人たちに農協と連携して出店を	
歴史を生かした町づくり	楽しくできる企画を考える	地域みんなが連携して盛り上げる	行政の協力でもっと看板を作ってPRする	小林多喜二の生誕地への案内をつくる（駅からつながるようにもっと看板を）	ここはすごい！と思えるような宣伝、整備
		地区の特色を出した町づくり歴史など			

感想やアイデア




大館南地域

『大館南地域』で実現してみたい取り組み



『大館南地域』のキャッチフレーズ

私たちのホームタウン！ 大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう

実現したい取り組み 

北部シルバーエリアを拠点に にぎわいづくり

実現するためにできること

私たちにできること 			〇〇と一緒にできること 		
サロン 周知 声かけ大事	歴史の 説明ができる	まちあるきで 魅力発見！！	学校（子どもハロー ワーク）で 地域歴史案内 歴史の 説明ができる	公共バス利用で 観光！ 買い物→ ウォーキング→温泉	バスを エリア（県）と 一緒に 使いたおす

感想やアイデア  

『大館北地域』で実現してみたい取り組み

『大館北地域』のキャッチフレーズ

多世代が気軽に交流できる住みよいまち 大館北地域

実現したい取り組み



地域通貨で 知らない相手とも つながり合える 地域づくり

実現するためにできること

私たちにできること



話し相手	書類づくり	行政手続き 相談相手
運営	ペットのお世話	子どもの相手

〇〇と一緒にならできること



送り迎え	子もり	草かり
ガイド	除雪	見守り
店番		

感想やアイデア




比内地域

『比内地域』で実現してみたい取り組み

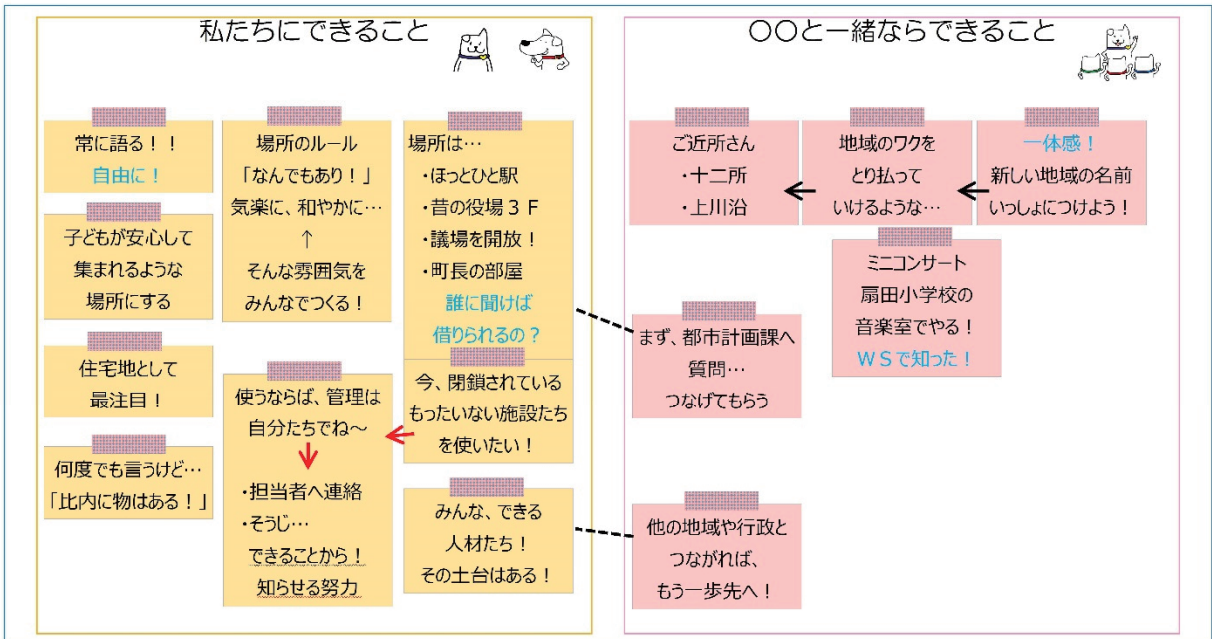
『比内地域』のキャッチフレーズ

**確立したブランドと共に！
ちょうどよく暮らし、人とつながるまち 比内**

実現したい取り組み 

**他地域との交流をしながら、知れる！
大館の未来を語れる！場所づくり**

実現するためにできること




感想やアイデア  

『田代地域』で実現してみたい取り組み

『田代地域』のキャッチフレーズ

自然の恵みとともに、 多世代が輝く住みよい地域づくり


実現したい取り組み 

田代岳・早口・山瀬両ダムと 早口駅中心部を巡る観光コースを作ろう！！

実現するためにできること

私たちにできること 

- 各部落からの情報集め！！
・いい所
・危険場所等
- 周遊コースの確認
- 四季おりおりの景観調査
- 現在のダムの建物の活用方法を考えよう
- 各場所のおいしい食べ物、その食べ物、食べ方等
- 田代岳登山道の整備
- 十の瀬山のハングライダーの復活
- 青森相馬村へのコース整備
- 観光バスの通れる道路

〇〇と一緒にできること 

- 小中学生に体験してもらう
- 行政に協力してもらいPRしてもらう
DVD作成等
- 各町内毎に良い所を提供してもらう
(話し合い)
- 田代地区企業の参加

感想やアイデア 

Blank area for writing感想やアイデア

4-5 第5回市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」

第5回 ワンだフル！おおだて（大館市市民ワークショップ）

日 時：2018（平成30）年11月10日（土） 13：00～17：30

場 所：大館市立中央公民館

◆テーマ

「実現のために意識することを考えよう！！」

- 目的）・『ふるさとキャリア教育』の講演による各地域の取り組みを踏まえた各地域のアイデアを整理しよう。
- ・市民ワークショップとの合同発表会を行い、各地域のアイデアを未来につなげよう。

◆次 第

13：00～13：05	開会あいさつ（大館市役所建設部都市計画課）
13：05～13：15	本日の流れ
13：15～14：15	ワークショップ ～地域で実現してみたいこと～ 前回のふりかえり・他の地域とアイデア交換・資料のまとめ
14：30～17：25	まちづくりワークショップと合同の発表会
17：25～17：30	閉会あいさつ（大館市役所建設部都市計画課）

- ・参加者総数 13名
- ・事務局 大 館 市 役 所：9名
協和コンサルタンツ：6名

◆開催記録

- ◇ 第4回に開催した『ふるさとキャリア教育』の講演による各地域の取り組みを踏まえ、これまでに
出されたアイデアや地域で実現したいことをまとめ、『みんなで進めるまちづくり』の発表に向
け、発表会の資料作成を行いました。
- ◇ 発表会は、『まちづくりワークショップ』と合同で行い、最後は『まちづくりワークショップ』の
コーディネーターから総括していただきました。

『大館東地域』で実現してみたい取り組み

『大館東地域』のキャッチフレーズ

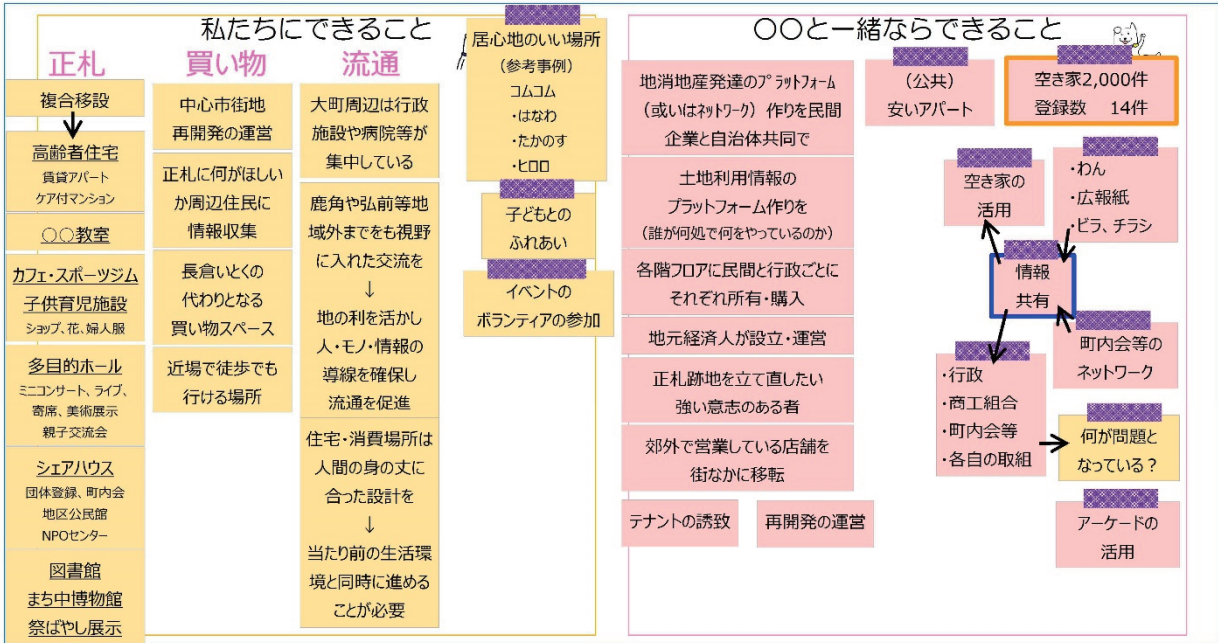
夢 チャレンジおおだて ～みんなが集う大館をつくろう～

実現したい取り組み



正札跡地活用！！ 正札 常に集まる場所

実現するためにできること



感想やアイデア




集まる場所を充実さ せるために同じ志をも つ人と検討をかさねて いきましょう！	おいしい「食」の イベントを考えると 人が集まります。	秋田犬と交流できる 場所	中心地の活気を 取り戻してもらいた いです！	ステージありの公園 NYのパーク のような 歴史町に合う外観だ けど中身は近代的 (ワイファイ！) (ハードは古く、ソフト はNew！)	・憩いの場 ・スポーツ(ジム) ・ウォーキング ・お茶ができる ・お風呂
--	-----------------------------------	-----------------	------------------------------	---	--

大館西地域

『大館西地域』で実現してみたい取り組み



『大館西地域』のキャッチフレーズ

農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域 ～大館のよさを全国発信～

実現したい取り組み 

地域ごとの特色を出した拠点づくり 二井田・真中・下川沿それぞれに

実現するためにできること

私たちにできること 			〇〇と一緒にできること 		
各地区に子どもと親が遊びに行ける場所をつくる	ブルーベリー、アスパラ、豆、ネギなどの収穫体験	地区の特色を発信する	小学校と一緒に農産物の収穫	企業（工業団地）と連携して地区のPR	ニプロと一緒に夏祭りなど交流・連携
地区ごとのお茶会（婦人会・老人クラブの協力）	何人かのリーダーをつくってみんなを集められるようにする	地元の良さをPRする！！	工業団地でとれたての野菜を売る	羽州街道に来る人たちに農協と連携して出店を	行政の協力でもっと看板を作ってPRする
歴史を生かした町づくり	楽しくできる企画を考える	地域のみんなが連携して盛り上げる	ここはすごい！と思えるような宣伝、整備	行政 提案 二井田真中IC道の駅 子供遊具 野菜直売所、プリマ	地元で採れた野菜を使ったレストラン 腕のいいシェフを呼ぶ
		地区の特色を出した町づくり 歴史など	小林多喜二の生誕地への案内をつくる (駅からつながるように もっと看板を)		

感想やアイデア 

ハチ実家 お寺スポット	通勤に歩けるようになった場所	多喜二 もっとプッシュ！ アクチュアルな 宣伝資源です
		●●事件についての 啓蒙施設と リンクしても良いかも？

『大館南地域』で実現してみたい取り組み

『大館南地域』のキャッチフレーズ

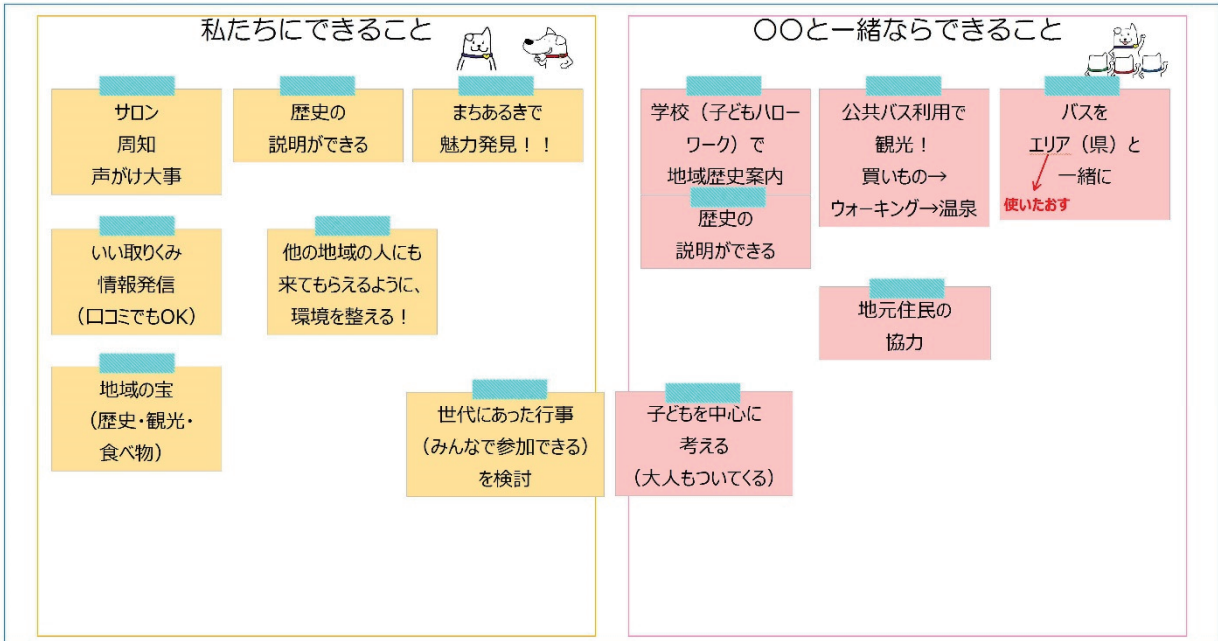
私たちのホームタウン！ 大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう

実現したい取り組み

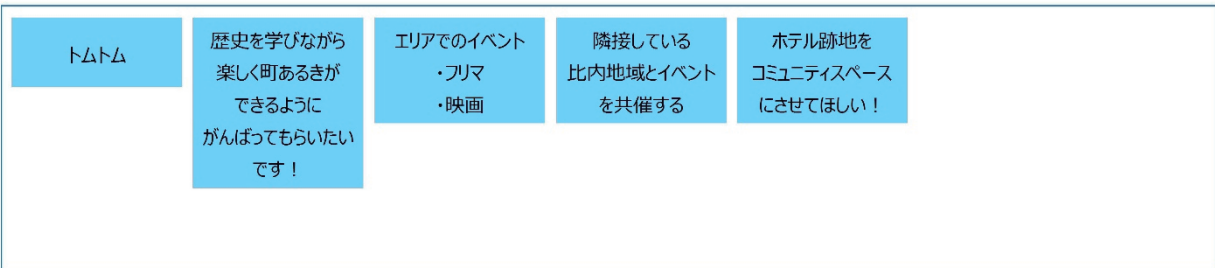


北部シルバーエリアを拠点に にぎわいづくり

実現するためにできること



感想やアイデア



大館北地域

『大館北地域』で実現してみたい取り組み

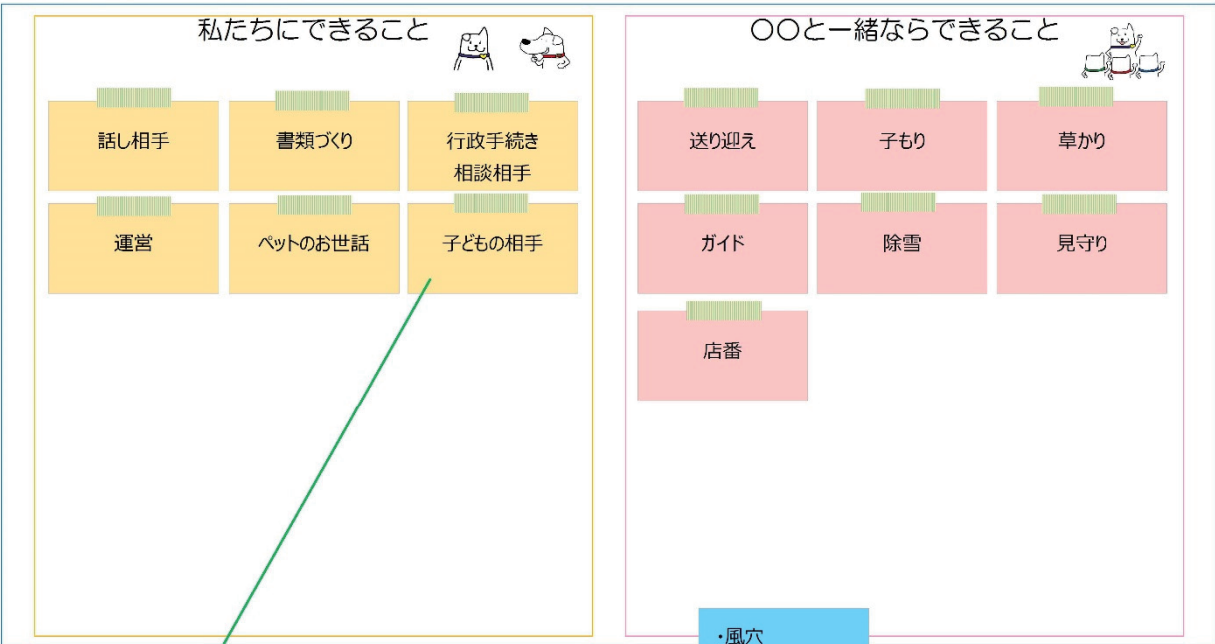
『大館北地域』のキャッチフレーズ

多世代が気軽に交流できる住みよいまち 大館北地域

実現したい取り組み 

地域通貨で 知らない相手とも つながり合える 地域づくり


実現するためにできること



- ・風穴
- ・湿地帯含む公園 (ゴルフあり)

感想やアイデア  


感想やアイデア

- 矢立登山道整備 (アクセスが悪過ぎる)
- 地域通貨のイメージ 
- ぜひ福祉に
- 地域通貨いいです！ 事例をつくっていきましょう。
- 地域通貨はいいですね！ みんながつながって助け合える地域になればいいなと思います

『比内地域』で実現してみたい取り組み

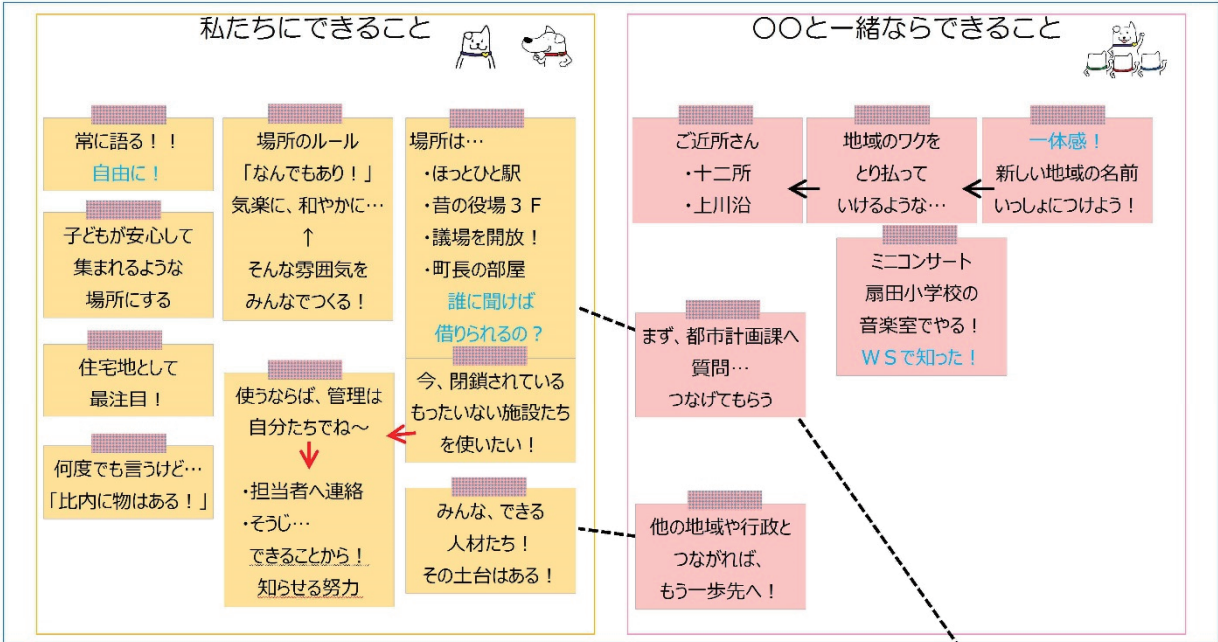
『比内地域』のキャッチフレーズ


確立したブランドと共に！ ちょうどよく暮らし、人とつながるまち 比内

実現したい取り組み 

他地域との交流をしながら、知れる！ 大館の未来を語れる！場所づくり

実現するためにできること



感想やアイデア 

妊婦にやさしい町づくり ↳ このレベルに合わせれば、 お年寄にもやさしい	ほっとひと駅いいですね！ さらなる活性化を！！	ハーヴガーデン 前においしいパスタやさんがいました。 パスタやさんがあっていいな	英語学習 国内留学(短期・長期) インターナショナルの ⑤休中の受け入れなど	古民家 シェアハウス 外国人の家守	比内総合支所の生活相談に 相談すればきっと可能 見られる意識を持つ →農家 田んぼアートのな
作物をアートに！ ・どんぶり ・鶏の放し飼いで 隣にフナリ的な	日本酒のワイナリー的なもの 酒蔵 昔、扇田に沢山あった	達子森運動場 +ハチ公温泉 [合宿所] 和光 ・ラビー ・YOGA 外から呼ぶ	比内(昔)の事 方々に聞く →Newアイデア ハードは古く(歴史的) ソフトはNew(Wifiなど)	長岡のお城ブランド化する 他のものにつなげる 扇田大町(宿場町)再現 間口狭く奥にのびる家のつくり 見学ツアー	日本のピラミッド 達子森 パワースポット
正札につくるよ 語る場を！	温泉も あるよ！	都会に比べて 値段が安い			ウォーターフロント 米代川

田代地域

『田代地域』で実現してみたい取り組み

『田代地域』のキャッチフレーズ



自然の恵みとともに、 多世代が輝く住みよい地域づくり

実現したい取り組み



田代岳・早口・山瀬両ダムと 早口駅中心部を巡る観光コースを作ろう！！

実現するためにできること

私たちにできること 			〇〇と一緒にできること 		
各部落からの 情報集め！！ ・いい所 ・危険場所等	周遊コースの 確認	四季おりおりの 景観調査	小中学生に 体験してもら	行政に協力してもら いPRしてもら DVD作成等	各町内毎に 良い所を 提供してもら (話し合い)
現在のダムの 建物の活用方法を 考えよう	各場所の おいしい食べ物 その食べ物、 食べ方等	田代岳登山道の 整備	田代地区 企業の参加		
観光バスの 通れる道路	青森相馬村への コース整備	十の瀬山の ハングライダーの 復活 安全！			
各地区の売り！ 野菜、おもち・・・ 立ち寄って楽しんで もらう場づくり	田代岳の 高山植物を もっと知ろう。				

感想やアイデア



田代三山はとにかく アクセスが悪い 岩瀬線だけでなく 総合的な観光用の アクセス路整備を	上荒沢口まで道路 維持した観光 自然、コップラと いっしょに	ハングライダー おもしろそうです！ やってみたい！！
--	---	----------------------------------

【資料編】

第5章

目標指標及び
効果指標の設定根拠

目標指標及び効果指標の設定根拠

5-1 方針1 まちの賑わいと交流を促進する拠点づくり

○目標 御成町及び大町の平日歩行者数の維持（商工会議所調査）

■目標指標

利便性の高い拠点の整備やまちなかの遊休不動産の利活用により、中心部の歩行者数の維持を目指します。

目標指標	現況値 2017(平成 29)年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
御成町及び大町の 平日歩行者数	1,638 人/日	1,600 人/日以上	1,600 人/日以上

■現況値

年	平日歩行者数
2013（平成 25）年	1,998 人
2014（平成 26）年	1,622 人
2015（平成 27）年	993 人
2016（平成 28）年	1,724 人
2017（平成 29）年	1,638 人

2013（平成 25）～2017（平成 29）年の5年間の数値を見ると、993～1,998 人の間で増減している状況となっています。

■指標の設定根拠

市全体として人口が減少していくことを考慮すると、歩行者数も減少することが予測されるため、居住誘導区域内での人口密度維持という目標設定と整合を図り、維持とすることが適正であると考えられます。

そのため、5年間平均の1,600 人を維持することを目標とします。

○効果 平均地価の下落の改善（国土交通省 地価公示）

■効果指標

都市機能誘導区域に誘導施設の立地が進むことにより、地価の下落を抑制し、平均地価の変動率が改善されることを目指します。

効果指標	現況値 2017(平成 29) 年	中間目標値 2027 年	目標値 2037 年
平均地価変動率（5年）	-21.3%	-10.9%	-5.6%

■現況値

	1	2	3	4	5	平均値 (1~4)	5年前からの 下落率 (1~4)	5年前からの 下落率の増減 (1~4)
	大館1 中道 一丁目	大館2 字三ノ丸	大館5-2 御成町 二丁目	大館5-1 字大町	大館5-4 御成町 三丁目			
1997(平成9)年	60,000	42,500	121,000	215,000		109,625	-	-
1998(平成10)年	60,000	42,500	121,000	210,000		108,375	-	-
1999(平成11)年	60,000	42,500	118,000	201,000		105,375	-	-
2000(平成12)年	60,000	42,500	112,000	191,000		101,375	-	-
2001(平成13)年	60,000	42,500	105,000	172,000		94,875	-	-
2002(平成14)年	58,000	42,000	95,000	135,000		82,500	24.7%	-
2003(平成15)年	55,000	41,000	86,000	110,000		73,000		-
2004(平成16)年	52,000	39,000	75,000	88,000		63,500	56.7%	-
2005(平成17)年	49,000	37,000	66,000	75,000		56,750		-
2006(平成18)年	46,500	36,000	56,000	65,000		50,875		-
2007(平成19)年	44,500	35,200	49,000	58,500		46,800	43.3%	18.5%
2008(平成20)年	42,000	34,400	45,000	53,000		43,600		-
2009(平成21)年	39,000	33,000	41,000	48,000		40,250		-
2010(平成22)年	35,800	31,500	38,000	44,000		37,325	68.2%	-
2011(平成23)年	33,200	30,000	36,000	41,000		35,050		-
2012(平成24)年	30,800	28,200	34,000	38,400		32,850	29.8%	-13.5%
2013(平成25)年	29,000	26,700	32,000	35,600		30,825		-
2014(平成26)年	27,900	25,500	30,200	32,900		29,125		-
2015(平成27)年	27,000	24,500	29,200	30,500		27,800		-
2016(平成28)年	26,400	23,500	28,700	28,400		26,750		-
2017(平成29)年	26,000	22,700	28,200	26,500	33,000	25,850	21.3%	-8.5%
2018(平成30)年	25,700	22,200	27,500	25,200	32,700	25,150		-
2019(平成31)年								
2020年								
2021年								
2022年						21,912	15.2%	
2023年								
2024年								
2025年								
2026年								
2027年						19,526	10.9%	
2028年								
2029年								
2030年								
2031年								
2032年						18,006	7.8%	
2033年								
2034年								
2035年								
2036年								
2037年						17,004	5.6%	

■指標の設定根拠

上記のとおり、2007（平成 19）年から 2012（平成 24）年までの 5 年の下落率をみると、2012（平成 24）年は、5 年前の 2007（平成 19）年の約 71.4%となっています。

目標を「下落率の改善」としていることから、指標を基に算出した結果の 71.4%を目標値とし、目標値以下となる改善を目指します。

5-2 方針2 多世代が活躍できる場づくり

○目標 都市機能誘導区域内の新規創業件数の増加（市資料）

■目標指標

既存施設を活用し、民間事業者の誘致や、創業支援事業等を進めることで、都市機能誘導区域内の新規創業件数の増加を目指します。

目標指標	現況値 2017(平成29)年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
都市機能誘導区域内の新規創業件数	3件/年	5件/年	7件/年

■現況値

年	新規創業件数
2016(平成28)年	4件(市全域8件)
2017(平成29)年	3件(市全域5件)

■指標の設定根拠

総合戦略では、新規創業件数の目標について、2014(平成26)年を6件(市全域)、2019(平成31)年を8件(市全域)と設定しています。

実績値では、約半数以上が都市機能誘導区域内で創業している状況です。

この状況を総合戦略の目標に合わせると、都市機能誘導区域内では、5年で1件ずつの増加であると考えることが出来ます。

そのため10年後は2件増加の5件、20年後はさらに2件増加の7件を目標とします。

○効果 高校生の市内就職率の向上（各高校資料）

■効果指標

市内の就職先の受け皿の確保により、高校生の市内就職率が向上していることを確認します。

効果指標	現況値 2017(平成29)年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
高校生の市内就職率	52.3%	55.2%	58.2%

■現況値

年	高校生の市内就職率
2017(平成29)年	52.3%

■指標の設定根拠

総合戦略では2019(平成31)年の秋田県内就職希望率を2014(平成26)年の61.6%から約1.055倍の65%を目標としています。

ただし、上記の割合は、秋田県内就職希望率であることから、市内就職率と同等に扱うことはできないため、上記の1.055倍を目標の伸び率とします。

10年後は、現況の1.055倍の55.2%、20年後は、さらに1.055倍の58.2%とします。

○効果 シニア層（55歳以上）の就業率の向上（国勢調査 労働力人口）

■効果指標

市内の雇用の受け皿の確保により、シニア層（55歳以上）の就業率が増加していることを確認します。なお、国勢調査の結果を用いるため、現況値は2015（平成27）年、中間目標値は2025年、目標値は2035年の数値で達成状況を確認します。

効果指標	現況値 2017（平成29）年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
シニア層（55歳以上）の 就業率	34.3%	34.6%	34.9%

■現況値

年	シニア層（55歳以上）の就業率
2000（平成12）年	33.7%
2005（平成17）年	34.0%
2010（平成22）年	32.5%
2015（平成27）年	34.3%

■指標の設定根拠

2010（平成22）年には一旦減少がみられましたが、2015（平成27）年には、10年前を0.3ポイント上回りました。今後は、高齢者の増加や定年の引き上げも想定され、さらなる増加が想定されます。

そのため、10年後、20年後ともに0.3ポイントの増加を目標とします。なお、高齢者活躍支援協議会では、相談会等の対象を高齢者ではなく、シニア層（55歳以上）としているため、シニア層を効果のターゲットとしています。

5-3 方針3 安心して住み続けられる環境づくり

○目標 居住誘導区域内人口密度の維持（国勢調査人口等基本集計）

■目標指標

居住地としての魅力を高めることにより、住み替えやAターン者の居住の誘導のほか、流出人口が抑制されることで、居住誘導区域内の人口密度が維持されていることを確認します。なお、国勢調査の結果を用いるため、現況値は2015（平成27）年、中間目標値は2025年、目標値は2035年の数値で達成状況を確認します。

目標指標	現況値 2017（平成29）年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
居住誘導区域内人口密度	32人/ha	32人/ha	32人/ha

■現況値

人口密度を維持するためには、居住誘導区域内へ3,887人の誘導が必要となります。

人口ビジョンでは、20年後の人口について、社人研の推計値に対し、約2,700人上回ることを想定しています。

■指標の設定根拠

2010（平成22）年から2015（平成27）年の人口推移を見ると、居住誘導区域内での人口減少はほぼ見られないことから、施策による誘導も可能と考えられます。

そのため、人口密度の維持を目標とします。

○目標 市内循環バス（ハチ公号）及び地域間幹線系統バスの平均乗車密度の維持（路線バス運行実績）

■目標指標

交通結節点における待合環境の整備や分かりやすい運行情報・乗継ぎ情報の提供等により、公共交通の利便性を向上させることで、市内循環バス（ハチ公号）及び地域間幹線系統バスの平均乗車密度の維持を目指します。

目標指標	現況値 2017（平成29）年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
路線バス平均乗車密度の維持	2.7人	2.7人	2.7人

■現況値

年	路線バス平均乗車密度
2016（平成28）年	2.4人
2017（平成29）年	2.7人

■指標の設定根拠

地域公共交通網形成計画と整合を図り、市内を運行する路線バスの平均乗車密度（バスの利用状況を表す理論値で、バス路線の起点から終点までの1運行の1台当たりの平均乗客数を示す算定値）を平成39（2027）年度は、全系統平均で2.7人を維持することを目標とします。

○効果 公共交通を含む暮らしやすさの総合満足度の向上（市民アンケート）

■効果指標

人口密度の維持により都市機能が維持・誘導されることで、公共交通の利便性を含む市内全体の市民の暮らしやすさの満足度が向上していることを確認します。

効果指標	現況値 2017(平成 29)年	中間目標値 2027年	目標値 2037年
暮らしやすさの 総合満足度	18.5%	19.8%	22.0%

■現況値

年	満足	どちらともいえない
2007(平成 19)年	22.0%	55.8%
2017(平成 29)年	18.5%	57.1%

■指標の設定根拠

都市再興基本計画では、中心部だけではなく、市全体の暮らしやすさの向上を目指しています。そのため、10年後は、10年前からの「どちらともいえない」の増加分（1.3%）を「満足」とすることを目標とします。さらに20年後は10年前の満足と同等の数値を目標とします。p

大館市都市再興基本計画 【資料編】

発行年 : 2019 (平成31) 年3月

発行者 : 大館市

編集 : 建設部都市計画課都市整備係